



TOHOKU
UNIVERSITY



Pathways to Academic English

Pathways to Academic English



Tohoku University

Pathways to Academic English

Tohoku University

ようこそ Academic English の世界へ

大学に入って、初めての英語の授業で何を学んでいったらいいのか戸惑うこともあるかもしれません。高校までは言葉を学ぶ際に必要な能力として、読む、書く、聞く、話すといった技能を、教科書であったり、仲間との会話練習であったり、いろいろな方法で学んできたことと思います。「英語を使って外国人と話せるようになった。聞き取れたし、自分の英語を分かってもらえた。」という実感を持ったとき、英語が出来るようになったと感じることでしょう。

大学で学んで欲しい英語は、もう少し進んだところにあります。Academic English Skill（知的英語力）を身につけてください。難しいことではなく、自分が伝えたいことが正しく、論理的に相手に伝えられる力です。日本語で文章を書くとき、文章の構造を無視して思いつくままに書いたり話したりしては、何を伝えたいのか分かりませんね。英語の文章でも主題があり、パラグラフごとにメッセージがあり、手順書に従ってものを作って行くように文章を紡いでいきます。

本書は、大学で英語を学び始める学生の皆さんに、Academic English Skillとして身につけて欲しいことのほんの一端をご紹介します。ディスカッションやプレゼンテーションを行うときに、何を注意したらいいのか、困ったときにはどうしたらいいのか、どういった表現で説明をしたらいいのか、いろいろな場面で手助けとなる表現を紹介しています。そして皆さんが本格的に英語論文を読んだり書いたりする際に、守るべきスタイルや、表現の仕方など論理的な英語文章とその構造について紹介をしています。

学術論文で使われる英語表現は、小説や物語で使われる情緒的で文学的な表現ではなく、正確な論理立てと、著者の意思を誤解なく伝わるような表現が使われます。慣れてしまえば読みやすい英語なのですが、間違った文法や適切でない語彙、曖昧な文章構成では正しく伝わりません。

考えてみると、いろいろな場所で全く違う言葉話を話していてもお互いに意思が通じ合える、というのは不思議な気がします。言葉が持つ魅力（魔力かもしれません）を感じつつ、大学での英語学習に励んでください。

東北大学 高度教養教育・学生支援機構
言語・文化教育センター長
安藤 晃

目次

第1章 発音・リスニングのコツをつかむ	015
1 連結	015
1A 子音+母音	015
1B 母音+母音	016
1C 子音+子音（同じ子音が続く時）	016
2 弱音	017
2A あいまい母音 schwa	017
2B 弱い子音	017
(1) /t/+ 子音、/d/+ 子音で、/t//d/ が弱くなる	018
(2) 弱い and	018
(3) /h/ の消滅あるいは弱音化	019
3 強・弱のメリハリ	019
3A センテンスでの強弱	019
3B 複合名詞	020
4 意味のかたまり	021
5 規則動詞過去形	021
5A /əd/ と発音する規則動詞	021
5B /d/ と発音する規則動詞	022
5C /t/ と発音する規則動詞	022
 第2章 ディスカッションを楽しむ	 023
1 ヘルプを求める	023
1A 定義・意図をはっきりさせてもらう	023
1B 繰り返してもらおう	024
1C 単語が出てこないとき	024
2 聞き上手になる	025
2A クイック・リスポンズ	025
2B 質問をすることで関心を示す	026

2C 意見を求める	026
3 意見を述べる	027
3A 意見を述べる時の基本形	027
3B 相手の意見に理解を示しながら持論を述べる	028
3C とくに異論・こだわりがないとき	029
4 議論の場をコントロールする	030
4A 相手の話に割りこむ	030
4B 介入をさえぎる	030
4C 時間をかせぐ	031
5 円滑な議論をめざす	032
5A 自分の発言が理解されたか確認する	032
5B 相手の発言を理解できているか確認する	033
5C 自分の発言の意図を明確にする	033

第3章 プレゼンテーション本番に備える 034

1 プレゼンテーションの構成	034
2 イントロダクションで述べること	034
2A 挨拶	034
2B 名前と所属	034
2C タイトル・テーマ	034
2D プレゼンの目的	035
2E プレゼンの構成を説明する	035
3 本論の流れ	035
3A 本論を開始する（最初のセクションを始める）	035
3B 本論中で、次のセクションに進む	035
3C 自分のトピックの重要性を力説する	036
3D 先行研究について述べる	036
(1) ざくっとした紹介をする	036
(2) 先行研究を分析する	036
3E 使用したデータ、資料、器具、ソフトウェアなど	038
3F 「後で述べます」と伝える	038

3G 既に述べた部分に戻る	038
3H パワーポイント	038
(1) スライドを見てもらう	039
(2) 図表を説明する	039
(3) 図表の意義を強調する	040
3I 因果関係を説明する	040
3J 分類する	041
3K 定義する	041
3L 大事な点を強調する	041
3M 単純化して言う	042
3N 主張を明確に述べる	042
3O 比較する	042
(1) 違いを言う	042
(2) 類似点を言う	043
3P データ・先行研究を引用する	043
3Q 例を挙げる	044
3R 利点（不利な点）を述べる	044
3S 理由を述べる	044
4 結論で述べること	045
4A 結論に移ったことを知らせる	045
4B 研究結果（意義）を再度述べる	045
4C プレゼンを終える	045
5 質疑応答を乗り切る	046
5A 質問を受け付ける	046
5B 質問に対するクイック・レスポンス	046
5C 答えが長くなってしまったときの終わり方	046
5D 質問の意図が理解できないとき	046
5E 質問内容を確認したいとき	047
5F 自分の範囲外の質問を受けたとき	047
5G 質疑応答が終わったとき	047

6 臨機応変な対応	048
6A 配付資料にスペルミスなどがあった場合	048
6B 聴衆が理解していないと思ったとき	048
6C ハンドアウトを配る	048
聴衆を退屈させる最悪のプレゼン、、、、	048
7 図表類の名称	048
7A 位置	048
7B 線の種類	049
7C グラフ、チャート	050

第4章 センテンス、パラグラフを書く 053

1 センテンスを書く	053
1A センテンスとは何か	053
1B 不完全なセンテンスを書いていませんか？	054
(1) センテンスの基本である主語、述部が欠落している	054
(2) 従属節だけではセンテンスにはならない	055
従属節を構成する接続詞(主節を必要とする)	056
(3) 副詞句、形容詞句、名詞句だけではセンテンスにはならない	056
(4) 節どうしの不完全な接続	057
センテンス内の形式統一(parallelism)	058
2 パラグラフを書く	059
2A パラグラフとは何か	059
paragraphは「段落」ではない	060
2B パラグラフの構成	060
3 パラグラフを書くための3つのルール	061
3A トピック・センテンスがパラグラフの行方を決定する	061
トピック・センテンスのコツ	062
3B トピックを統一する	062
3C センテンスのつながりを示す	063
(1) トピック・センテンスをサポートする	063
(2) キーワードを繰り返す	063
(3) つなぎ言葉でセンテンスどうしの関係を示す—	064

第5章 エッセイを書く

067

1 エッセイとは何か	067
2 エッセイ執筆の工程	067
2A スケジュールを立てる	067
2B テーマを決める	068
(1) 実現可能なテーマを選ぶ	068
(2) チャレンジングな問いかけをしよう	068
(3) テーマを考えるときの指針	069
2C 資料を集める、吟味する	070
(1) 資料を集める	070
(2) 吟味する	071
2D 主題を決定する	071
3 エッセイの種類	072
3A narrative essays	072
3B descriptive essays	072
descriptive essayの構成例	072
3C expository essays	073
帰納法 inductive method	073
演繹法 deductive method	073
(1) comparison & contrast	073
comparison & contrast essayの構成例	073
(2) cause and effect	074
cause and effect essayの構成例	074
(3) process analysis	074
process analysis essayの構成例	074
(4) classification essays	075
classification essayの構成例	075
3D argumentative/opinion essays	075
argumentative/opinion essayの構成例	075
4 文献をエッセイに組み入れる	076

4A パラフレーズ	076
(1) 類義語に置き換える	076
(2) センテンス構造を変える	077
(3) 節を句に変える	077
(4) 態を変える	078
(5) 品詞を変える	079
4B サマライズ	080
4C 引用として原文の言葉をそのまま使う	081
(1) " " で囲む	081
(2) 「引用が始まる」というシグナルを読者に与える	081
(3) 引用する価値がある場合にのみ引用する	082
(4) 引用する部分は限定的に	082
「パラフレーズ」「サマライズ」「引用」を示す動詞	083
5 剽窃（ひょうせつ）を避ける	084
5A 剽窃に抵触する行為	084
5B 剽窃に抵触しない行為	086
5C 剽窃を避けるには	087
(1) 読書ノートを作る際には原文を見てはいけない	087
(2) 読書ノートには必ず文献情報を書く	087
(3) パラフレーズ、サマライズの技術を高める	087

第6章 センテンスを読む 088

1 未知の語句を理解する	088
1A 専門用語の意味を知る	088
1B 文脈から未知の語句を推測する	089
未知の語句への対処法	089
1C 単語を分解して意味を推定する	089
(1) 接頭辞の例—	089
(2) 接尾辞（形容詞・名詞を作る）の例	090
(3) 接尾辞（動詞を作る）の例	091
(4) 語幹（roots）の例	091

1D 定義が示されているセンテンスを探す	091
2 対比構造を見つける	092
対比で使われる語	093
3 数量表現	093
増減を表す動詞	094
大きな変化を表す形容詞・副詞	094
小さな変化、ゆっくりした変化を表す形容詞・副詞	094
安定を表す形容詞・副詞	094
4 関係代名詞の省略	094
5 主語の名詞化	095
6 語彙を増やす	096
6A コロケーションを意識して語彙を増やす	096
6B フレーズを意識して語彙を増やす	097
フレーズの例	098
6C 句動詞を覚えよう	098
6D 「アカデミック・ワード・リスト」を覚えよう	100

第7章 パラグラフを読む 105

1 トピックをつかむ	105
2 メイン・アイデアを見つける	105
メイン・アイデアを特定するには	108
3 サポート部はメイン・アイデアを支える	109
サポート部で使われる表現	110
4 対比構造を見つける	112
対比を示す表現	113
5 原因・結果の関係を見つける	113
原因や理由を示す語	114
結果や影響を示す語	115
6 アイデアの継続に留意する	115
トピック、メイン・アイデアを継続する際に使われる語彙	116
7 著者の視点	117
8 速く読む	117
8A 重要語に集中する	118

8B メイン・アイデアを特定する	118
8C 読んでいる箇所をなぞってはいけない	118
8D 必要な情報をスキャンする	118
スキャンングのスキル	118

第8章 東北大学の英語学習リソース 119

1 附属図書館	119
1A 附属図書館本館グローバル学習室リーダーズコーナー	119
1B 附属図書館工学分館	119
2 情報教育基盤センター	120
2A ALC NetAcademy2	120
3 正課外の授業	120
3A Tohoku University English Academy (TEA)	120
3B Practical English Course	120
4 自主学習スペース（川内北キャンパス）	121
4A マルチメディア教育研究棟 1 階 学習支援センター	121
4B マルチメディア教育研究棟 2 階 /3 階 CALL 教室自習開放	121
5 その他	121

第9章 英語 4 技能習得のための学習法 122

1 リスニング強化法（中級者編）	122
1A ディクテーションに取り組む	122
1B 速読とシャドーイングの重要性	122
2 リスニング勉強法（上級者編）	123
2A 本場の音声に慣れよう	123
2B 海外のニュースサイトを活用しよう	123
リスニング勉強に役立つアプリ	125
NHK英語語学講座	125
2C 洋画視聴も場合によっては効果的	125
3 リーディング強化法	126
3A リーディングとリスニングの共通点	126

3B リーディング学習を継続する秘訣	127
3C リーディングを高める学習法（精読・速読・多読）	127
3D 多読で読み飛ばす力と語彙力の強化	127
3E 精読で英語を読む基礎体力をつけよう	128
3F 速読は実用的な「英語を読む」スキル	128
(1) 速読では、解らなくても読み返さない	128
(2) 速読では、文章を口に出して読まない	129
(3) 速読では、きちんと読み過ぎない	129
4 スピーキング力を上げる効果的な方法	129
4A 「伝えたい気持ち」になること	129
4B スピーキング力を上げる方法	129
4C 英単語がパッと出てくる「瞬発力」が必要	130
日本人的な正確さへのこだわりが邪魔をする？	130
5 ライティング向上の効果的な方法	131

第10章 各種英語試験の特徴 132

1 CEFR について	132
2 Cambridge English	133
3 実用英語技能検定	133
4 GTEC CBT	133
5 IELTS	133
6 TEAP	133
7 TOEFL iBT	134
8 TOEIC L&R/S&W	134

第11章 海外留学を目指そう 136

1 海外留学をする3つの意義	136
1A 自己修養	136
1B 人間関係	137
1C 将来のキャリア	137

2 海外留学の 3 つの心得	138
2A 留学目的	138
2B 情報収集	138
2C キャリア・プランニング	139
東北大学生のための主な海外留学プログラム	139

第 12 章 メディアを利用した英語学習 141

1 インターネット上のリソース	141
1A TED (Technology, Entertainment, Design)	141
1B YouTube	141
1C BBC Learning English	141
1D VOA Learning English	142
1E ESLPOD	142
2 テレビ放送、ラジオ放送	142
2A NHK	142
2B 民放	143

付録 アカデミック・ライティングで用いる句読点の使い方 144

1 . (ピリオド) period	144
1A センテンスを終える	144
1B 数字などを使い、列挙する	144
1C 省略形であることを示す	144
1D 引用などで、一部を省略する時	145
2 , (カンマ) comma	145
2A 連続した語句を分ける	145
2B 節を分ける	145
2C 従属節が先に来る場合	145
2D 文修飾語を使う場合	146
2E 語数の多いフレーズを、センテンスの主語に先行させるとき	146
2F 非制限的要素を挿入するとき	146

2G 対比を行う場合	147
2H その他	147
不必要なコンマ	147
3 ? (疑問符) question mark	148
4 ! (感嘆符) exclamation point	148
5 : (コロン) colon	149
5A センテンスの後に、リスト、引用、強調する語などを続ける	149
5B 2つめのセンテンスが1つめのセンテンスを要約する	149
5C 論文などで、メインタイトルとサブタイトルを分ける	149
6 ; (セミコロン) semi colon	149
6A 密接に関連する2つのセンテンスをつなぐ	149
6B 連続する要素を分ける	149
7 — (ダッシュ) dash	150
7A 詳細な内容を追加情報として書く	150
7B リストを挙げたり、語の定義を与える	150
8 - (ハイフン) hyphen	150
8A 複合語を作る場合	150
8B 二桁 (21 から 99) の数字を表す	150
8C 生存年や一定期間を表記する	151
8D 分数を表記する	151
9 ' (アポストロフィ) apostrophe	151
9A 所有を示す	151
9B 単語の一部を省略する	151
10 () (丸括弧) parenthesis	151
10A 例、説明、補足情報などを加える	151
10B 省略語を併記する	152
11 [] (角括弧) bracket	152
12 " " (引用符) double quotation marks	153
12A 雑誌記事や短編 (フィクション、学術論文) のタイトル	153
12B 直接話法	153
12C 引用の中に引用符を使う	153

12D 他の句読記号と併用するときはスペースの取り方に注意	153
12E 強調	154
13 / (斜線) slash	154
13A per, to, versus の意味で使う	154
13B or, and の意味で使う	154
13C 省略形で書く	154
14 <i>italic</i> (斜体)	155
14A 書籍、映画、新聞、劇作品、小説などのタイトル	155
14B 強調	155
15 CAPITALS (大文字)	155
15A 略語	155
15B 固有名詞	155
15C 書籍、映画、新聞、劇作品、小説、音楽などのタイトル	155
よく使われる省略記号	156
スペースの取り方	156

第1章

発音・リスニングのコツをつかむ

決して、ネイティブ・スピーカーと同じ発音を目指す必要はありません。外国語として英語を話すのですから、相手に通じる発音を目指せばいいのです。本章では、日本語を母語として学んだ学生を念頭において、日本語の特徴とは異なる部分を中心に、通じる英語の発音のレベルに達するためには不可欠なスキルのみを取り上げて解説します。

発音の向上はリスニング力の向上と表裏一体です。英語を聞けるようになるためには、以下の各項目において、自分で発音できるように練習することが大切です。

1 連結

英語を文字で表すときは、単語と単語との間にスペースを入れますが、発音するとき、スペースは関係ありません。単語と単語が切れ目なく繋がって発音されることが頻繁に行われます。

1A 子音+母音

一つの単語の終わりが子音で、次の単語が母音で始まる場合、子音と母音は単語をまたいで連結されます。

I have a headache.

My left shoulder is aching.

Can you fill out this form?

an agonizing pain

an operation

There **is** a growing number of young **adults**.

What do you think **about** their living condition?

That's **a** great **idea**!

our **environment**.

editorial **opinion**

black **and** white

日本語では「白黒」の順で言うが、英語では black and white の順で言う

1B 母音 + 母音

母音で終わる単語が、母音で始まる単語に続くとき、切れ目なく発音されるとき、しばしば起きる現象として、/j/ (young の y の音) か、/w/ (wonder の w の音) が作られます。母音を2つ続けて速く発音する際に、連結作用の結果、/j/ や /w/ の音が作られます。

I **am** [I /j/ am]

she **asked** [she /j/ asked]

He **ever** [he /j/ ever]

too often [too [w] often]

so I [so [w] I]

1C 子音 + 子音 (同じ子音が続く時)

同じ子音が続く時、子音を二度出すのではなく一度だけ発音します。コツとして、最初の子音を限りなく弱くして、2つ目の子音を意識的に強く出すような感じです。

cheap **p**aperbacks

learn **n**ew languages

latest **t**echnology

good **d**esign

common **k**nowledge.

music **c**lass

I feel **l**ike having a big meal!

bus **s**top

That makes **s**ense.

with **t**he idea

日本語では単語の最後は母音で終わりますが、英語では子音で止めて次の単語に進みます。上の例では日本語として使われている単語を多く選びました。日本語と英語の発音の違いに注意して練習してみましょう。

2 弱音

2A あいまい母音 schwa

非強勢シラブルに含まれる母音の発音は、非常に弱く、短く、不明瞭に発音されます（要するに聞き取るのが難しい）。したがって、その文字によらず同じような音に聞こえます。このあいまいな母音を schwa と呼んでいます。

American

e に強勢が置かれ、アンダーラインの母音は弱勢です。American には、A, e, i, a の4つの母音が含まれますが、強勢が置かれる **e** を除く A, i, a の母音はどれも曖昧に発音されるので、同じように聞こえます。発音記号では、/ə/ で表されます。

computer

additional

African

official

2B 弱い子音

(1) /t/+ 子音、/d/+ 子音で、/t//d/ が弱くなる

What should I do? のように、What の /t/ の後に子音で始まる should が続くような場合、/t/ は曖昧に発音される傾向があります。場合によっては全く聞こえないかもしれません。

/d/ についても同じ現象が起こります。コツは、最初の子音は音を止める感じでタメを作って、2つ目の子音を勢いよく発音することです。

the first day at Tohoku University

You may be surprised to hear that women blink more than men.

Most diners are reasonably-priced.

I would like to ask you some questions about your medical history.

I need to give you a blood test.

/to/、/do/ と母音を入れて発音しないように注意してください。

(2) 弱い and

“A and B” の形で結ばれる短いフレーズは、A と B に強勢を置き、and は極めて弱く曖昧に発音されます。and の d はほとんど発音されませんから、an のように聞こえます。これは、A と B に強勢が置かれるために、間にある and は必然的に弱勢にならざるをえないからです。

supply and demand

fish and chips

The fruit and vegetable harvest was great this year.

Life is a series of ups and downs.

They are discussing the pros and cons of setting up their own firm.

firm=company or business

(3) /h/ の消滅あるいは弱音化

センテンスの途中で出てくる h や、代名詞の his/her は、/h/ が消えてしまう傾向があります。his が is、he が e のように聞こえます。

Sam lost his motivation to study history at college, so he decided to leave.

history も、完全に /h/ が消えないまでも、前の study と連結して限りなく消滅に近い /h/ になる傾向があります。

Will he be there?

James isn't here. Has anyone seen him?

センテンス冒頭の Has では、比較的はっきりと /h/ が発音されますが、here、him の /h/ はほとんど聞こえません。

3 強・弱のメリハリ

英語では、強弱のメリハリをつけることでリズムを生み出します。この特徴は、ピッチの高低でリズムを作る日本語と対照的です。

3A センテンスでの強弱

一般論として、名詞、動詞、形容詞、副詞などの「意味語」(contents words) には強勢が置かれることが多く、反対に、冠詞、前置詞、代名詞、接続詞などの「機能語」(function words) は弱く、曖昧に発音されます。

The **patient** is **allergic** to **certain foods**.

The **flu vaccine** is **one** of the **most popular vaccines**.

A: **What's** your **major**?

B: I'm **majoring** in **engineering**.

A: **What kind** of **engineering**?

B: **Civil engineering**.

You can **reach** me at **902-555-0086**.

機能語が弱くあいまいに発音されるということは、聞き取るのが難しいわけです。前後の単語と連結したり、一部の音が消滅する傾向が顕著に見られます。実際の英語を聞く中で、機能語の部分を正確に聞き取るのは非常に難しいと言えます。しかし、重要語を中心に聞き取る過程で、文脈と文法的な知識を動員して、音として聞き取りにくい機能語を特定していきます。

リスニングを伸ばすには、この機能語を聴きとる練習が絶対に必要です。ディクテーションはこの目的に合った練習です。

3B 複合名詞

複合名詞 (compound nouns) とは、sunglasses (sun+glasses) のように2つの名詞で構成される名詞をさします (時として形容詞としても使われます)。最初の名詞に強勢が置かれます。

keyboard

passport

scapegoat

superstructure

waterproof **smart**phone

headquarters

feedback

綴り上、二語となっても同じルールが適用されます。

blood pressure

heart attack

post office

stock market

vacuum cleaner

baseball stadium

stadium をカタカナ発音しないように注意。

4 意味のかたまり

一語一語を最初単位として発音するのではなく、意味のかたまり (thought groups) を最小単位として発音します。

* She / said / the / assignment / was / time-consuming.

ではなく、

She said / the assignment was time-consuming.

あるいは、

She said / the assignment was / time-consuming.

/ で、わずかなポーズをとって、次のかたまりに進みます。

* Daniel / arrived / late, / so / he / missed / half / the / lecture.

ではなく、

Daniel arrived late, / so he missed half the lecture.

あるいは、

Daniel arrived late, / so he missed / half the lecture.

5 規則動詞過去形

規則変化動詞を過去形あるいは過去分詞形にするには、ed をつけますが、発音は3とおりに分かります。

5A /əd/ と発音する規則動詞

/d/, /t/ で終わる動詞に適用されます。シラブルが1つ増えて、ed の部分は、/əd/ と発音されます。/ə/ はあいまい母音 (schwa) で、非常に弱くあいまいな母音です。

expand-expanded

predict-predicted

adopt-adopt**d****5B /d/ と発音する規則動詞**

/b/, /g/, /dʒ/, /l/, /m/, /n/, /ŋ/, /r/, /v/, /z/ で終わる動詞に適用されます。

disturb /b/	disturb d
hug /g/	hugg d
judge /dʒ/	judg d
instill /l/	instill d
confirm /m/	confirm d
phone /n/	phon d
long /ŋ/	long d
volunteer /r/	volunteer d
believe /v/	believ d
amaze /z/	amaz d

5C /t/ と発音する規則動詞

/p/, /k/, /f/, /s/, /ʃ/, /tʃ/ で終わる動詞に適用されます。

stop /p/	stop d
overlook /k/	overlook d
laugh /f/	laugh d
influence /s/	influenc d
diminish /ʃ/	diminish d
scratch /tʃ/	scratch d

第2章

ディスカッションを楽しむ

ディスカッションとは、授業における口頭でのやり取りを指します。学生どうし、学生と教員、両方あります。難しい！ できない！ と思うかもしれませんが、実は授業におけるやり取りはパターンが限られており、本章で説明するパターンを知れば、一応一通りのディスカッションをこなせるようになります。

1 ヘルプを求める

ディスカッションは相手との共同作業です。困ったときはヘルプを求めれば良いのです。

ヘルプを求める表現の基本形は、Can you/Could you で始まる疑問文です。命令形を使ってはいけません。

1A 定義・意図をはっきりさせてもらう

次の例は、教師 A の質問の意図がはっきりしなかったので、学生 B が説明を求めているシーンです。

A: I want you to take a look at the satellite image of this small island, and give me an estimate of its circumference using kilometers.

B: **Sorry, could you explain that some more?**

A: Sure. Look carefully at this satellite photo. What do you think is the total distance around this island? If you were to walk completely around it, how many kilometers do you think it would take?

* Please explain that some more. は不適切。

同様の表現として、

Could you say that another way?

他にも、用語の意味がはっきりしないとき、その定義を明らかにしてもら場合も起ります。次のような質問は、相手が教授でもクラスメイトでも関係なく使います。英語の世界では、わからないことはわからないと言って、教えてもらうのが普通です。

When you say the “class ideology,” what does it mean?

1B 繰り返してもら

リスニング力の問題により、相手の言ったことが理解できないことはしょっちゅう起ります。聞き取れないのは恥ずかしいことでも、あなたに非があるのでもありませんから、遠慮なく聞き返しましょう。相手はむしろ、関心を持って聞いてくれていると好意的に解釈します。

A: You will require a minimally invasive medical procedure that will involve a very small incision.

B: **Could you repeat that, please?**

A: Sure. You will require a minimally invasive medical procedure. The surgery will require only a very small incision.

Please repeat that. は不適切

同様の表現として、

I'm sorry, I didn't catch that. **Could you say that again?**

1C 単語が出てこないとき

話していて、言いたい単語が出てこないとき、どのように対処しますか。相手に助けを求めればいいのです。

A: What about. . . uh. . . **what do you call** people who are over 100?

B: You mean “centenarians”?

A: “Centenarians,” yes. Thank you for helping me!

centenarians という単語が出てこないなので、この語の意味として people who are over 100 を言って、相手にヘルプを求めています。

A: **Can you help me? I can't think of the exact word. It's similar to “logical”...**

B: Maybe you want to say “rational,” right?

A: Yeah, that's it. Thanks!

rational という単語が出てこない場面です。類義語として頭に浮かんだ logical を出して、相手のヘルプを求めています。言いたい語の対義語が浮かんだときは、it's the opposite of ... を使います。

2 聞き上手になる

議論では、自分の言いたいことを言えばよいというものではありません。相手の意見にも耳を傾けましょう。そのためには「聞くスキル」を磨くことが大切です。

2A クイック・リスpons

相手の言ったことに対して、まず反応を示すことが大切です。クイック・リスponsのあとで、少し長めに話すのが、短いやりとりの時の基本です。

下の例はいずれも、まず短いセンテンスで一言返してから、長めのリスponsを続けています。

A: How was the mountain climbing last weekend?

B: **It was breathtaking.** When I finally made it to the top of the mountain and looked around, I could see for miles. **It was so amazing!**

It was breathtaking! で始めて、具体的な話をして、It was amazing! で終わっています。

(友人からインターンの経験を聞いたときのレスポンス)

It sounds like it was a good experience. Was it a paid internship or only for university credit?

university credit: インターンによっては、大学の単位として認められる。

It sounds like. . . は、聞いた話に対してレスポンスするときに使います。

(新薬の研究について聞かされたときのレスポンス)

That sounds interesting. That drug really has the potential to help millions. How long do you think before you will be able to start preclinical trials?

2B 質問をすることで関心を示す

次の例は、クイック・レスポンスで始めて (That's incredible. What a fantastic concept!), 質問 (Can you imagine. . .) と質問につなげることで、相手の話への関心を示しています。

A: Engineers are closer than ever to making massive advances in aerodynamics. By learning how to manipulate invisible aerodynamic drag forces, inventors will soon be able to develop massively fuel-efficient modes of transportation.

B: **That's incredible.** What a fantastic concept! **Can you imagine** how much fuel can be saved? Not to mention how good this new technology will be for the environment.

2C 意見を求める

聞き上手な人の特徴は、質問が上手なことです。意見を求めるのも質問の一つとして効果的です。

A: I heard researchers have developed a method to rapidly 3D-print fully functional electronic circuits. **What are your first thoughts on this?**

B: I think it will be great for the electronics manufacturing

industry allowing companies to mass-produce fully functional components.

他にも、

What do you think about the gender role in the family?

Do you have any thoughts on this issue?

How did you enjoy the assigned reading?

Does anyone have any other ideas?

誰かが意見を言った後で、他に意見 (any other ideas) はありませんか、
と言う状況で使う。

3 意見を述べる

英語で意見を述べるのはなかなか大変だと思いますが、準備として、キーワードや要点をノートに箇条書きにまとめた上で、それを見ながら発言すると落ち着いて話せます。

3A 意見を述べる時の基本形

I think, It seems to me, In my opinion など始めるのが一般的です。

I think that switching to electric cars is the key to reducing our planet's greenhouse gas emissions.

It seems to me that the urbanization process has dramatically changed the agricultural landscape of the Philippines over the last few decades.

In my opinion, capital punishment is a violation of basic human rights, and it should be abolished.

なお、授業などの発言では、I, me, my など自分を示す語を多用しますが、ペーパーなどの書き言葉では、I think, it seems to me, in my opinion などの表現は基本的に使いません。

3B 相手の意見に理解を示しながら持論を述べる

相手の意見と自分の意見が同じ場合は、簡単な表現で済むのですが、異論を言う時は相手への配慮が必要です。

A: It's my opinion that the abuse of public power for private gain cannot be eradicated. History has proven again and again that corruption and abuse of power are present within all societies. And people will always act in their own best interests at the expense of others.

B: **You're making a good point. However, I would argue** that there are examples of utopian existences in the history books, and as such, there is always hope for a corrupt-free civilization.

I would argue の would は、控えめさを出す役割をもつ。文法的には、If I was allowed to speak, I would argue. . . . のような仮定法の文脈が、話者の心理にある。

ここでは、Bさんは異論を言っているのですが、異論を言う前に、You're making a good point. と言ってAさんの意見に敬意を表してから、持論を述べています。パターンとして、異論を述べる時は、まず相手の意見に敬意を示すことを覚えてください。

次は、プラスチック・ボトル詰め飲料水の是非について、意見を異にする2人の議論です。

A: Bottled water is extremely convenient, and is here to stay. Sometimes it's our only choice because clean tap water is not available, Bottled water is a necessity.

B: **Plastic bottles may be convenient, but in my opinion** they come at a very high price. Large amounts of money are spent on fuel and labor moving water to different places around the world.¹

tap water= 水道水

Aはbottled waterの利点を述べています。一方、Bはそのデメリットを述べるのですが、Plastic bottles may be convenient. と言って、Aの意見に理

¹ Skillful Listening&Speaking 2, (Oxford, England: Macmillan, 2013), Unit 9.

解を示した後で、but in my opinion . . . と異なる意見を述べています。要は、いきなり相手の意見を否定するのではなく、相手の意見を尊重する姿勢を言葉で示すことが大切です。

異論へ配慮しつつ自説を展開することは、モノローグの形でできます。少し長いですが、次の例は、非英語圏に作られた English Town（英語習得を目的として、生活全てを英語で行う実験的なコミュニティ）について、否定的な見解を述べています。

Many of the opponents claimed that spending time studying in other ways achieves similar outcomes, and being surrounded by English isn't the only way to ultimately learn the language. They argued that living there could be too difficult, and could be extremely stressful. A lot of people felt that the language in English Town wouldn't truly mirror that of English community. **It might be a good place to study, but** friendship would never develop in such a setting.²

Many of the opponents=English Town の効果について否定的な人たち。
この話者もその一人である。

自説をとうとうと述べるのではなく、相手への配慮を示しながら自説を展開している例です。It might be a good place to study が、相手への配慮を示す部分で、but. . . が自分の意見です。

3C とくに異論・こだわりがないとき

A: Congratulations! Both of your applications for medical residency training have been approved. You have the option of doing your residency in Skizuoka City or Hamamatsu. Which would you prefer?

B: **Either would be fine.** Either location will give me valuable medical knowledge and crucial clinical skills that will prove invaluable in my future.

祝福の意味で言う時、congratulations は常に複数形。

二者択一のケースです。どちらでも良い、とっています。

² Skillful Listening&Speaking 2, (Oxford, England: Macmillan, 2013), Unit 2.

4 議論の場をコントロールする

議論を冷静かつ建設的に進めるための必須スキルが、議論のコントロールです。

4A 相手の話に割りこむ

相手が話しているときに割り込むのは基本的にご法度ですが、話についていけない時などは、次のように遮ることはよくあります。ただし、礼儀をわきまえてください。いきなり相手を遮るのではなく、「遮ってすみません」という前置き表現をまず言います。

A: Density is a measure of mass per unit of volume of a substance or material. The density of a material is the relationship between its mass and its volume, or the amount of space it occupies.

B: **I'm sorry to interrupt, but** could you give me an example?

A: Sure. Here I have a copper and an aluminum cube of the same volume. Notice when I place them on this balance, the copper cube is heavier, thus it has the greater mass.

他にも、

Excuse me for interrupting. Could I ask you to repeat what you've just said?

Could I ask you=Could you

I'm sorry to interrupt. I was wondering if you could give me some examples.

I was wondering if you could. . . は、お願いするときの定番表現で、かなり丁寧な言い方とされている。

4B 介入をさえぎる

議論が白熱した時などはよくあることですが、自分が話しているのに、誰かが割り込んできた時、どう対処すればいいのでしょうか。発言権を奪い返すことです。

A: As a whole, national lotteries are a justifiable way to level the odds of society. They create dreams for the hard-working public and nobody gets hurt.

B: National lotteries are simply ways for governments to take advantage of their citizens, punishing the members of society who can least afford it.

A: **Excuse me, I wasn't finished.** While certain critics might argue they are a form of state-run gambling that should be abolished, most people regard them as harmless forms of entertainment.

Aが公益ギャンブルについて肯定的な意見を述べている最中に、公益ギャンブルに批判的なBがAをさえぎってきました。Aは自分の意見を最後まで言うために、I wasn't finished. と言って、発言権を奪い返しました。

他には、

Let me finish, please.

I haven't finished my thought.

4C 時間をかせぐ

どんなことに關しても即座に意見を言えるわけではありません。考えをまとめる時間が必要な時もあります。

A: I think the rise in unhealthy foods in our schools is a consequence of our ever-expanding food culture, which, let's face it, contains more snacks and deserts than ever before.

B: **Let me think about that for a moment.** Are you suggesting that schools should do away with all forms of junk food?

A: Absolutely! We wouldn't let schools have cigarette machines, so why let them sell food which is bad for your health?

Aは学校給食を批判しています。それを聞いているBは自分の意見を言いたいのですが考えがまとまっていないので、Let me think about that for a moment. と言い、さらに、Aの発言の意図を知るために Are you suggesting that. . . と続いています。Aが、Absolutely. . . とさらに話す間に、Bは考えをまとめる時間を得られます。

他には、

Just a moment. I need to think about that.

5 円滑な議論をめざす

込み入った議論をしている時は特にそうですが、自分の意図を相手が理解したか、反対に相手の意図を自分が理解しているかを確認する必要が出てきます。

5A 自分の発言が理解されたか確認する

アカデミックな議論に限らず、自分の意図が理解されているかが気になる場面はよくあります。相手を置き去りにしないような配慮が必要です。

A: The nominal value is the stated value of the issued security and it remains fixed, whereas the market value fluctuates. **Are you following me?**

B: I think so. **You're saying that** the issuing company sets the value for a security, but it is unrelated to the market value.

security= 株式などの有価証券

この例では、Aが the nominal value と the market value という2つの概念を述べたので、聴き手のBが混乱をしていないかケアしています。Bは、聞いたことをパラフレーズすることで (You're saying that. . .) 理解していることをAに伝えています。

他には、

Do you know what I mean?

5B 相手の発言を理解できているか確認する

相手の発言を理解できているかどうか自信がない時、一旦話を止めてもらって、相手の言ったことを自分の言葉で言い直してみます。先の会話例を少し変えてみます。

A: The nominal value is the stated value of the issued security and it remains fixed, whereas the market value fluctuates.

B: I'm sorry to interrupt you, but, **let me repeat what you are saying.** You're saying that the issuing company sets the value for a security, but it is unrelated to the market value.

A: Exactly!

5C 自分の発言の意図を明確にする

自分の意図が相手に伝わらなかったり、誤解される時があります。そういう時は、真意を理解してもらう必要があります。

A: Why do you spend so much time playing those violent video games? The graphics look so real and disturbing. Exposure to hours and hours of violence can't be good for your mental health.

B: What are you saying? Do you think if I keep playing these games I'll become a violent person?

A: **That's not exactly what I meant.** I just feel that your time could be better spent doing some healthier form of entertainment.

video games ばかりしている B に対して、それをやめさせたい A ですが、B が A の真意を掴み損なったとみるや、That's not exactly what I meant. と言って、発言の意図を明確にしています。

他には、

That isn't the point that I'm trying to make.

第3章

プレゼンテーション本番に備える

1 プレゼンテーションの構成

プレゼンテーションは三部構成で作ります。すなわち、イントロ (introduction)、本論 (body)、結論 (conclusion) です。以下は、学会・研究会、あるいは授業などで、学生として発表する場合の一般的な流れです。プレゼンテーションが終了すると、質疑応答が行われます。

2 イントロダクションで述べること

2A 挨拶

Good morning/afternoon/evening, everyone. Thank you all for coming.

everyone の代わりに everybody でもよいが、everybody はくだけた感じになってしまう。フォーマルなプレゼンをしたい時は everyone を使うこと。

2B 名前と所属

My name is _____ and I am an undergraduate student **in** the School of Engineering **at** Tohoku University.

学部生 = an undergraduate student 院生 = a graduate student

所属を示す部分の前置詞 (in, at) に注意。

2C タイトル・テーマ

The subject/topic of today's talk/presentation is the modern history of the English language.

subject を topic に、talk を presentation に言い換えてもよい。

2D プレゼンの目的

The goal /objective today of my presentation is to show that though there are many words adapted from old French in modern English, they are usually only used in writing.

goal をフォーマルに言い換えると objective。

2E プレゼンの構成を説明する

I've divided my presentation into three parts. First, I'll begin with the history of how French words were adopted into English. **After that, we'll look at** old French words that are still in use in modern English. **Finally, I'll discuss** my analysis of where old French words appear most commonly in modern English.

これはプレゼン本論を3つに分ける場合。First/After that/Finally の代わりに、First/Second/Finally でもよい。

3 本論の流れ

3A 本論を開始する (最初のセクションを始める)

本論はいくつかのセクションに分かれます。

Let me start by saying that there are many words in modern English that come from old French words.

プレゼンテーションでは、スピーカーは自分が次に何を話そう (何をしよう) としているのかを聴衆に伝えるために、Let me ... の言い方を頻繁に使う。

by saying that 以下の内容が、最初のセクションのメイン・アイデアです。

3B 本論中で、次のセクションに進む

Now, I'd like to move on to the next part.

I'd like to を let me に置き換えることができる。I'd like to と、Let me はプレゼンの頻出表現。

3C 自分のトピックの重要性を力説する

下の例で、プレゼンのトピックは、the use of old French words in modern English で、メイン・アイデアは、they [old French words] account for nearly 50% of all words in the English language です。このように、英語で話すときは、もっとも重要な点を最初に明らかにします。ボールドが重要性を伝える表現です。

The use of old French words in modern English **is attracting considerable interest due to** the practical applications to learning English as a foreign language. **A remarkable feature of** old French words in English **is that** they account for nearly 50% of all words in the English language.

3D 先行研究について述べる

プレゼンでは、自分の研究の土台となった先行研究に触れることが普通です。

(1) ざくっとした紹介をする

どの程度詳しく触れるかはそれぞれですが、次の例は、ごく軽く触れるような場合です。

Traditionally, the focus has been on Germanic words in modern English.

The influence of old French on English **has received much attention in the last two decades because of** the considerable number of such words found in academic texts.

There is a considerable amount of literature on how French has influenced the English language.

literature は「文学」ではなく、特定の専門分野における「研究文献」の意味。

上のように、1 センテンスで軽く触れるにとどめることもあります。詳しく述べたいときは、この後にさらにセンテンスを続けます。

(2) 先行研究を分析する

先行研究の分析は、自分の研究との関係において3タイプに分けられます。

1 自分の発表が先行研究の延長線上にある場合

次の例では、先行研究（recent evidence）と同じ方向性に自分の研究が位置付けられていることが分かります。

Recent evidence suggests that there are more words in the English that came from old French than any other Latin-based language.

evidence は不可算名詞。

2 自分の発表が先行研究の批判点を出発点としている場合

反対に、先行研究を批判的に捉えることで自分の研究が価値を持つような場合だと、次のような言い方をします。

The main limitation of Johnson's research is that it does not offer quantitative data.

A major criticism of studying English etymology is that it is not always helpful to EFL learners.

major の発音に注意。

EFL=English as Foreign Language

Johnson's claim seems to be somewhat inaccurate in that his description of words that come from old French include Latinate words that are not present in French.

claim は日本語の「クレーム」の意味とは違う。英語の claim は、自分が正しいと信じることを述べるという意味。

in that=because

3 先行研究では十分扱われてこなかった点を自分の研究が追究するような場合

Very little is known about what percent of the words in English come from old French.

3E 使用したデータ、資料、器具、ソフトウェアなど

The British National Corpus **was used to** find the ratio of old French words found in modern English.

実験器具やソフトウェアの場合だと、

The instrument used was -----.

The software application used to analyze the data was -----.

3F 「後で述べます」と伝える

重要な点などについて、プレゼンのはじめの部分で軽く触れて、あとで詳しく説明するような時に使います。

I will address this point later.

address はフォーマルな動詞だが、研究発表などではよく使われる。普通の言い方によると I will talk about this point later.

Let me return to this point in a few minutes.

in a few minutes の前置詞 in に注意。after ではない。

3G 既に述べた部分に戻る

再び述べる時は、より詳しく述べることになります。

Let me return to the discussion of how old French words became part of modern English.

As I mentioned before, Normandy invaded England in 1066.

これらのように言うってから、詳しく述べ始めます。

3H パワーポイント

英語で話しながらヴィジュアル・マテリアルを扱うのは、ちょっと大変かもしれません。しかし、図表類を説明するときの表現は簡潔ですから、何度も

声に出して練習することで自分の口に馴染ませれば、落ち着いて発表できるようになります。

(1) スライドを見てもらおう

(Please) take a look at this bar chart.

Let me draw your attention to this line.

(2) 図表を説明する

Table 1 compares the data from my paper and Dr. Johnson's previous study.

table は、数字・文字で示される表のこと。

Table 2 shows that the number of words of French origin is decreasing in modern English.

Figure 1 shows the data from my paper and Dr. Johnson's previous study.

figure は、数字、文字だけでなく、イメージが加わる図表のこと。

Figure 2 indicates where French word usage in writing meets French word usage in speaking.

As shown in Figure 1, the number of words in 1970 is much smaller than other years.

Figure 1 shows a clear difference in the number of words used in writing and in speaking.

The number of words [or some value] is greater when speakers are being informal.

The results of my study can be seen in Figure 3.

From the graph, we can see that these words are still in usage today.

graph は、X/Y 軸で作られる座標に線で示される図のこと。

The figures in red indicate how many words are excluded from the data.

figures in red= 赤で示された数字

This handout shows that only 18% of spoken English words have French origins.

handout = 聴衆に配布する紙資料。

This line shows the number of written words that have French origins from 1750 to 2000.

1750 の発音は、seventeen-fifty. 2000 は two thousand.

As you can see on the handout, nearly 75% of written words have French origins these days.

This equation shows that there is a large statistical difference in these numbers.

Here, “T” **stands for** “time”.

stand for は略語などを説明するときの句動詞。

(3) 図表の意義を強調する

This figure implies that there are more words of French origin in written English than in spoken English.

Notice here that this trend increases as time moves forward.

3I 因果関係を説明する

The result (of the Norman invasion) **was that** many French words entered the English language.

This happened because of a war about 1,000 years ago.

This was a result of cultural influence on the language.

As a result, English speakers began to use two different

words for animals.

This invasion **caused** the large number of French words in English.

caused を resulted in に置き換えてもよい。

3J 分類する

The word “enter” can **be categorized** as a word of French origin.

English words **are classified into** several categories based on their origins.

3K 定義する

In general, modern English means all standard English used after 1550. **In other words**, it's not just what exists today, but also what you find in some older texts such as the Bible.

3L 大事な点を強調する

いずれの例も、ボードの部分が「これから重要なことを言いますよ」、というシグナルの役目を果たしています。

I should emphasize the importance of these findings.

What I'd like to emphasize is that most words of French origin are longer than others.

It is important to note that words of French origin are used more in writing than speaking.

The most striking result to emerge from the data is that written speeches also contain more words of French origin than natural speech.

In contrast to earlier findings, our results show that words of French origin are not so common in everyday speech.

findings (= 研究結果) は複数形で使う。

3M 単純化して言う

重要なことを話すときは、当然語数を費やしますが、聴衆の理解を確実にするために、次のような言い方で締めくくります。ボールドの部分が込み入った内容を簡潔にいうためのシグナルの役目を果たします。

To put it simply, words that come from French are more common in academic settings.

ここでの put は、argue/discuss の意味。このような put はプレゼンでも論文でもよく使われる。Simply put という言い方もある。

In other words, you should use words that come from French in academic papers.

3N 主張を明確に述べる

プレゼンは、形式的にはスピーカーが一人で話すわけですが、内面的にはスピーカーは聴衆と対話をするように話しています。すなわち、自分の主張が確実に聴衆に伝わったどうかを想像しながら、原稿を書き、そして口頭発表するわけです。ここでは、プレゼンのポイントとなるべき主張について、一通りの説明で終わるのではなく、例を挙げたり、違う言い方で再度強調しています。そうすることで、自分の主張が、確実に聴衆に届く手立てをとっています。

The point I'm making is that words of French origin should not be overused in everyday discussions.

By that I mean, words that come from French sound more academic to English speakers.

By that I mean の that は、直前に述べた内容を指す。

To illustrate this point, let's look at an example.

illustrate は「例証する、説明する」の意味。

3O 比較する

(1) 違いを言う

On the one hand, words of French origin are often very long.

On the other hand, words of Germanic origin are often quite

short.

Compared to words of French origin, words of Germanic origin are much shorter.

Another difference is that words of French origin are generally longer.

Unlike words of Germanic origin, words of French origin are often quite long.

The difference between words of French origin **and** words of Germanic origin **is** that words of French origin are usually longer.

主部が長い、発音する時は強弱をつけて一気に言うこと。

(2) 類似点を言う

Similar to words of French origin, words of Spanish origin have their roots in Latin.

Another similarity between words of French origin and words of Spanish origin **is** that they are comprised of simpler word parts.

3P データ・先行研究を引用する

According to a recent study (survey), English speakers use fewer words of French origin in recent times.

Statistics indicates that most English speakers don't like to use words of French origin in their daily lives.

According to Dr. Smith, most English speakers can still understand the majority of words that come from French.

Some researchers claim that academics always use more words of French origin.

Research has shown that people who use more words of French origin are usually viewed as more intelligent.

research は不可算名詞なので、複数形にはしない。

3Q 例を挙げる

Let me give you an example. The word “enter” is a word of French origin.

A prime example of this is the word “enter.”

The word “enter” **is a classic example of** an English word with a French origin.

3R 利点 (不利な点) を述べる

One of the advantages of using words of French origin **is** that you will seem smarter.

One disadvantage of using words of French origin **is** that you may not be understood by others.

3S 理由を述べる

The reason is that even some native speakers don't know so many words of French origin.

Too many people couldn't understand his speech. **Because of this**, he re-wrote the speech to contain fewer words of French origin.

It was difficult to understand his speech **since** there were so many words of French origin.

次の3例は、理由の前に意見が述べられています。

I support limiting the number of French words in textbooks **because** it makes them easier to understand.

I am for using fewer words of French origin **because** it makes things easier to understand.

for は賛成を意味する前置詞。

John is against reducing the number of French words in textbooks because it makes them sound less intelligent.

against は反対を意味する前置詞。

4 結論で述べること

結論の役割は、これまでに述べてきたことを述べ直すことで、自分の発表の意義・重要性を聴衆に理解してもらうことです。具体的には、イントロで提示した問題設定や仮説に対して答えを与えることです。

よく見かける過ちは、結論で、新しいことを述べてしまうことです。たとえば、本論で述べていない意見や事実、あるいは本論で触れていないトピックなどを結論で述べるのは、聴衆を混乱させます。他にも、プレゼンのイントロで提示した問題設定や仮説とは直接関係しないようなことを結論で述べてしまう過ちもよく見かけます。

4A 結論に移ったことを知らせる

本論が終われば、結論に移ります。しかし、いきなり結論に移るのではなく、結論に移るということを聴衆に知らせるのがこの表現です。

Before I finish, let me summarize the main points.

In this presentation, I have discussed how words of French origin are used in modern English.

4B 研究結果（意義）を再度述べる

The evidence from this study suggests that you should choose when to use words of French origin carefully.

Our research has highlighted the importance of carefully choosing when to use words of French origin.

4C プレゼンを終える

Thank you for listening.

5 質疑応答を乗り切る

5A 質問を受け付ける

And now, if there are any questions, I'd be happy to answer them.

“any question”ではなく、“any questions”と複数形を使うこと。

5B 質問に対するクイック・リスポンス

質問に対して、いきなり答えてもよいですが、次のように言って一呼吸おくと、その間、答えをまとめる時間が稼げます。

That's an interesting question.

That's a difficult question, but let me try to answer it (as best I can).

Thank you for your question.

5C 答えが長くなってしまったときの終わり方

質問に対して答えが長引くことはよくあります。長くなった分、質問に対して的確に答えられたのかわからなくなったりします。そういう時は次のようなフレーズが便利です。

I hope that answers your question.

Is that clear?

Does that make sense?

いずれの例も、that は、自分の答えた内容を指す。

5D 質問の意図が理解できないとき

自分のリスニング力の問題だけでなく、質問が要領を得ない場合にも使えます。また、質問内容が理解できたときでも、考える時間を確保するためにあえて聞き直すこともできます。こう聞き返すと、質問者は言い方を変えて質問を言い直してくれます。

(I'm sorry, but) Could you repeat your question?

Please repeat your question は不適切。

5E 質問内容を確認したいとき

基本的に質問者の言ったことを繰り返します。これも上と同じく、考える時間を稼ぎたいときにも使えます。

You're asking if there is a difference in French word usage between speakers of American English and British English?

5F 自分の範囲外の質問を受けたとき

聴衆の中には厄介な質問を投げかけてくる人がいます。その代表的な例がプレゼンのトピックとは直接関係のないこと聞いてくる場合です。I'm afraid と前置きしてから、次のように返してやりましょう。

I'm afraid that's not really my area.

I'm afraid the question goes beyond the scope of today's presentation.

5G 質疑応答が終わったとき

I appreciate all of your questions, comments, and suggestions. Thank you so much.

動詞 appreciate は後に you などの人を置くことができないので、your questions などの形にすること。

こなれた英語でプレゼンするには

- ・自分の専攻分野の論文を読み、自分と同じ分野の人の発表を聞く。よく使う表現のストックを増やす。
- ・基礎練習として、英語の文章の音読や発音練習、短いやりとりを繰り返す会話練習などを地道に積み重ねること。
- ・特に、専門用語については、普段から英文を音読することで、自然に発音できるようにする。
- ・プレゼン用の原稿では、自分の範囲内の語彙を使うこと。賢く見せようとして、見たこともないような単語を使うと、発音でまごついたり、声が小さくなったりして、馬脚を露わすことになる。

6 臨機応変な対応

6A 配付資料にスペルミスなどがあった場合

I'm sorry. There are a few typos.

6B 聴衆が理解していないと思ったとき

Let me go over that again.

6C ハンドアウトを配る

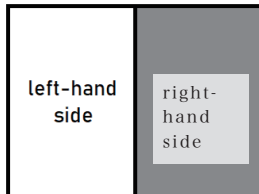
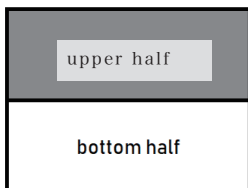
I have prepared some handouts. Let me pass them around.

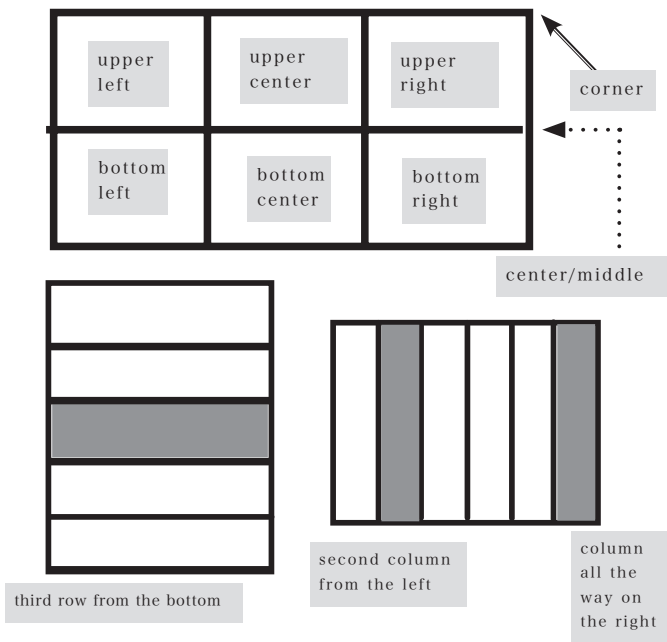
聴衆を退屈させる最悪のプレゼン、、、、

- ・自分の原稿ばかりに目をやって、聴衆を見ない。
- ・スライドを文字でみっちり埋め尽くす。
- ・お経を唱えるように、切れ目なく喋りまくる。
- ・言い訳をする（準備の時間がとれなかった、いそがしかった、風邪を引いた、PCが故障した、、）

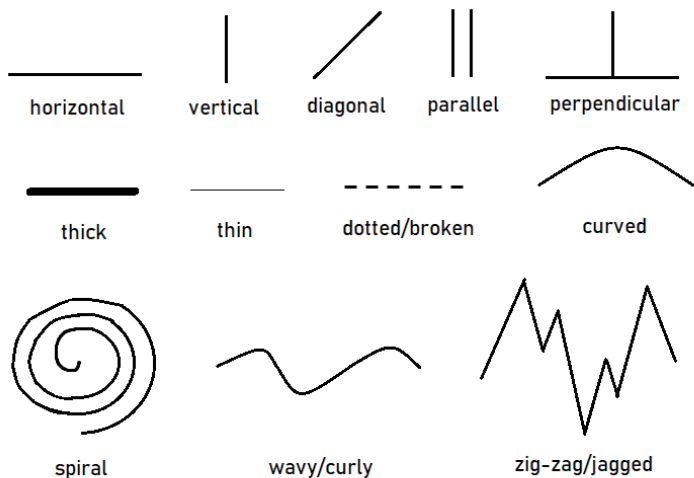
7 図表類の名称

7A 位置

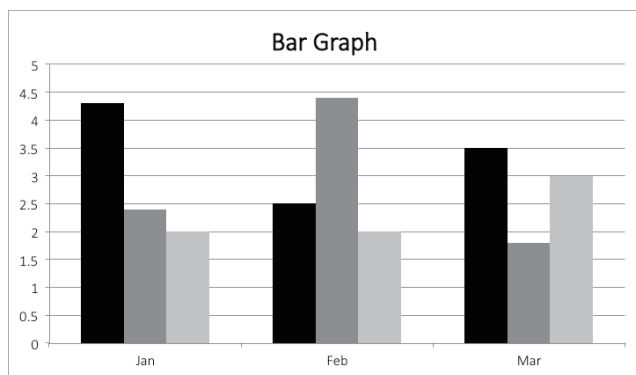
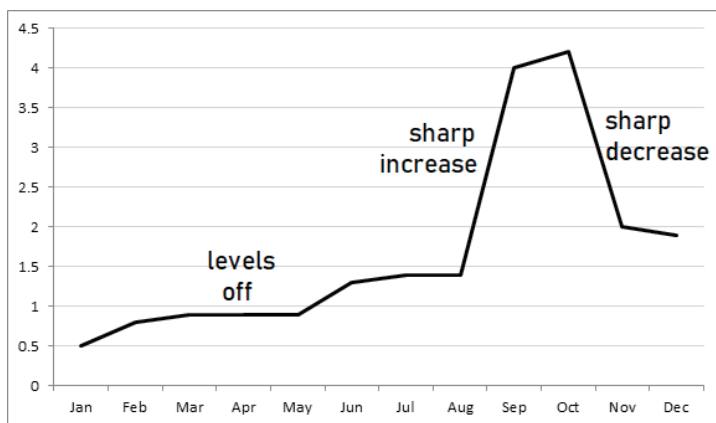
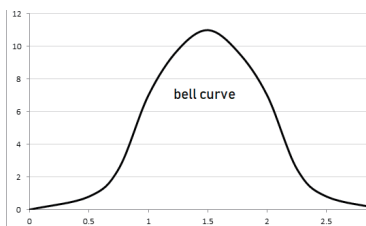
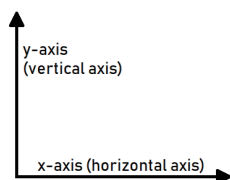




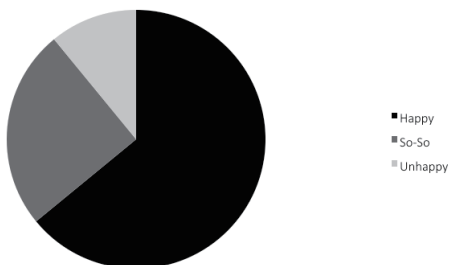
7B 線の種類



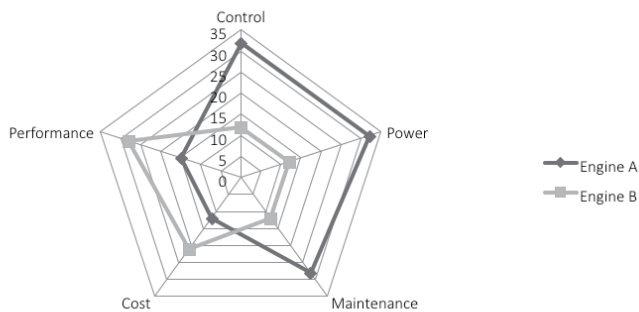
7C グラフ、チャート



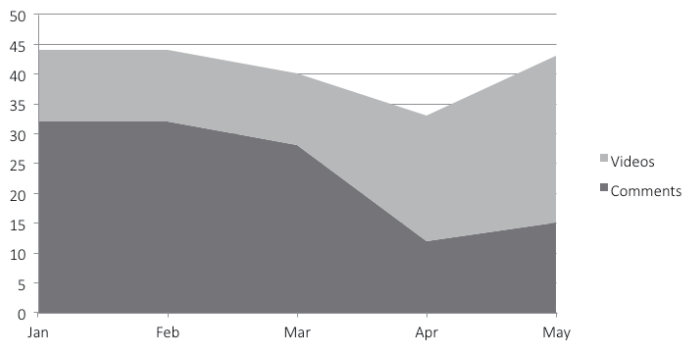
Pie Chart

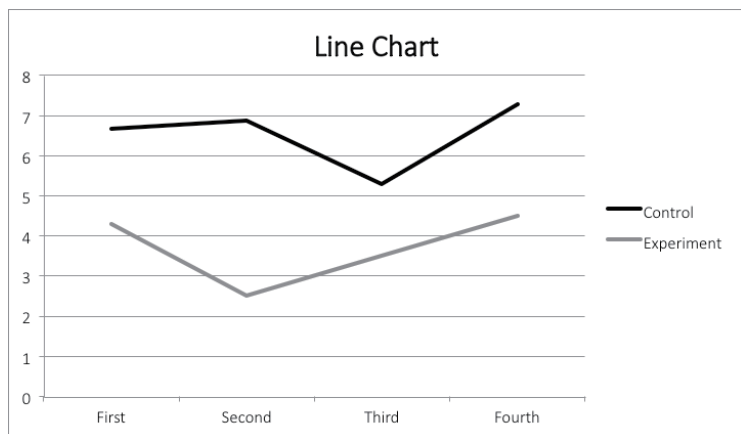


Radar Chart



Area Chart





第4章

センテンス、パラグラフを書く

英語を書くときは、最初から英語で書くべきです。日本語で下書きを書いてから、それを英語に訳すという手順をとってはいけません。日本語にひきずられた英語らしからぬ英語を書く原因を作ることになってしまいます。それに時間がかかりすぎます。それから、手書きよりもパソコンで作成することも大切です。タイピングは英文ライティングのスキルの一部ですから、速く正確にタイプできるようにするための練習として、日頃からパソコンで英語を書いてください。

(以下の本文で、英文に使われる記号*は、誤りを示す。)

1 センテンスを書く

1A センテンスとは何か

形式的に説明すれば、センテンス (sentence) とは主語 (主部) と述部を中心として、その他の要素から成り立つ語の連なりを意味します。もちろん、「文法」と呼ばれるルールにしたがって書かれる必要があります。

一方、実質的 (= 意味的) に説明をすれば、センテンスとは思考表現の最少単位です。つまり、「何が (= 主部)」「どうした (= 述部)」のかを読者に伝えるための最も基本となるのがセンテンスです。

以上の2つの観点を統合すると、英語を書くときは、「何」の部分には主部 (主語) として何を持ってくるのか、「どうした」の部分には述部として何を持ってくるのかを考えることになります。

主部として the government を立ててみましょう。

The government

次に、the government が「どうした」のかを示す述部を作ってみましょう。述部には、状態を示す内容がくる場合と、アクションを示す内容がくる場合が

あります。状態、アクションの両例を作ってみましょう。

The government *has been slow* (状態)

The government *announced* (アクション)

これで、センテンスの核となる主部と述部が完成しました。次に、*has been slow* とは「何」に対して *slow* なのか、*announced* とあるが「何」を *announce* したのかを示す内容を加えてみましょう。

The government *has been slow to react to the economic crisis.*

The government *announced that public spending would be decreased next year.*

必要に応じて、これらのセンテンスにさらに情報を加えることもできます。

The government *has been slow to react to the economic crisis that increased the number of jobless people.*

The government *announced last night that public spending on health and education would be decreased next year.*

この2つをもっとふくらませることもできます。

Because of a number of conflicts within the ruling party, the government has been slow to react to the economic crisis that increased the number of jobless people.

Although the public showed strong opposition, the government announced last night that public spending on health and education would be decreased next year.

このように、主部と述部を核として、必要な情報を文法規則にしたがって継ぎ足していくのがセンテンスです。

1B 不完全なセンテンスを書いていませんか？

(1) センテンスの基本である主語、述部が欠落している

I was told by the nurse that I needed to go to radiology to get

an x-ray. * On the third floor of the hospital.

Robert pulled his smartphone out of his backpack upon hearing rumors of the accident. * Immediately accessing the Internet to verify the information.

The medical students carefully selected the scalpel from the assorted sizes and shapes. * And then used their tools to perform the anatomical dissections.

アンダーラインの部分は、センテンスの要件を満たしていません。いずれも主語（主部）が欠けています。欠けている主語を加えると次のようになります。

Radiology is on the third floor of the hospital.

He immediately accessed the Internet to verify the information.

And then **they** used their tools to perform the anatomical dissections.

このような間違いを避けるためには、まず書く段階で、センテンスごとに主語（主部）と述部をまず決めてしまい、残りの要素を書き足していくような発想を習慣づけることをすすめます。そして、推敲の段階でも、主部と述部が含まれているかを点検すると良いでしょう。

(2) 従属節だけではセンテンスにはならない

Cathy must face the problem of limited on-campus housing.
* If she does well on the entrance exam and is accepted by the university.

He came late for the class. * Because his train was delayed.

どちらも、主部＋述部があるので、正しいように見えますが、接続詞 if や because はあとに主部＋述部をとんでも、それ単体ではセンテンスとはなり得ません。従属節(subordinate clause)とよばれることから分かるように、あくまで従属の役割しか果たしません。主節が欠けています。

Cathy must face the problem of limited on-campus housing **if she does well on the entrance exam and is accepted by the university.**

He came late for the class **because his train was delayed.**

どちらの例も、最初のセンテンスにつなげることで、主節を得ることができました。

従属節を構成する接続詞(主節を必要とする)

when, after, before, until
although, though, even though
whether, if, as, as if
because, since
so that
while

(3) 副詞句、形容詞句、名詞句だけではセンテンスにはならない

The legislation was stalled after its introduction last month.

* Waiting for approval by the Senate.

Mike is suffering from claustrophobia. * A fear of small spaces.

言っていることは理解できるのですが、アンダーライン部分は不完全です。

The legislation was stalled after its introduction last month,
waiting for approval by the Senate.

Mike is suffering from claustrophobia, **a fear of small spaces.**

このように直すと、waiting という現在分詞は主語の the legislation と対応関係ができます。a fear は直前の claustrophobia の定義だということが分かります。

During the freshman orientation, new students learned a lot about how to apply for financial aid. * Also how to find an academic advisor, register for classes, and submit immunization records.

アンダーライン部分には主部+述部が存在しません。

During the freshman orientation, new students learned a lot about how to apply for financial aid. **They also learned** how to find an academic advisor, register for classes, and submit immunization records.

It has been argued that there are only three types of languages. * Stress-timed, syllable-timed, and mora-timed.

形容詞が3つ並んでいるだけで、センテンスの要件を満たしません。

It has been argued that there are only three types of languages: **stress-timed, syllable-timed, and mora-timed.**

: (コロン) の使い方に注意。

Japan has produced some of the world's best manga artists.
* Such as Eiichiro Oda, Akira Toriyama, Masashi Kishimoto, and Goshu Aoyama.

such as に続いて人名が並んでいるだけで、センテンスの要件を満たしません。

Japan has produced some of the world's best manga artists, **such as** Eiichiro Oda, Akira Toriyama, Masashi Kishimoto, and Goshu Aoyama.

manga artists の具体例として、センテンスを延長する形で4人の漫画家を挙げる形にしました。

(4) 節どうしの不完全な接続

* Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person it is essential for those living in the heart of Tokyo.

* Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person, it is essential for those living in the heart of Tokyo.

* Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person, however, it is essential for those living in the heart of Tokyo.

一見、なんの問題もなさそうですが、上の3つすべて間違いです。主節と従属節が組み合わされたセンテンスですが、主節と従属節を接続する部分で適切な処理がなされていません。このたぐいの間違いは run-on sentence と呼ばれ、ネイティブ・スピーカーもよくやってしまう間違いです。

次のように直します。

Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person, **but** it is essential for those living in the heart of Tokyo.

Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person; it is essential for those living in the heart of Tokyo.

; (セミコロン) は、前後のセンテンスの内容が密接に関連しているときに、ピリオドの代わりとして使う。ここで、普通に . (ピリオド) を使ってもよい。セミコロンの使い方については、本書の付録を参照すること。

Minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person; **however**, it is essential for those living in the heart of Tokyo.

Although minimalism is a lifestyle suited for any environmentally-conscience person, it is essential for those living in the heart of Tokyo.

センテンス内の形式統一 (parallelism)

複数の要素を並列する場合、品詞や形式を統一する必要があります。

* People who are stressed out commonly exhibit one or more of the following symptoms: headaches, sleeping trouble, muscle tension, and they are depressed.

symptomsとして挙げられているのは、headaches, sleeping trouble, muscle tension, and they are depressedの4つですが、最初の3つは名詞句であるのに対して最後は they are depressedと節になっています。こういう不統一は間違いとは言えな

いまでも、アカデミック・ライティングではやってはいけない稚拙な作法とされています。they are depressedを名詞の depression に代えると、4つすべてが名詞となり、統一が取れたセンテンスとなります。

People who are stressed out commonly exhibit one or more of the following symptoms: headaches, sleeping trouble, muscle tension, and **depression**.

* The government is battling the low birthrate by increasing job security for new parents and encourage employers to reduce the amount of overtime.

主語 The government に対応する述部(動詞)は2つあり、is battling と encourage ですが、時制が不統一です。2つの動詞を進行形に統一します。

The government **is battling** the low birthrate by increasing job security for new parents and **encouraging** employers to reduce the amount of overtime.

2 パラグラフを書く

2A パラグラフとは何か

パラグラフ (paragraph) とは、1つのトピックについて書かれた、密接に関連するセンテンスの集合です。「1つのトピック」と「密接に関連」という部分が大切です。「1つのトピック」というのは、1つのパラグラフでは1つのトピックのみを扱うというルールが存在するからです。また、「密接に関連」というのは、選んだトピックについて全てのセンテンスが意味的に密接に関連している必要があるのもパラグラフのルールです。

通常では、1つのパラグラフは最低でも4、5センテンスを要します。

もし別のトピックや、同じトピックでも別の主張について書きたければ、新たにパラグラフを作るのが英語の流儀です。1つのパラグラフにあれもこれもと詰め込んではいけません。

読者も、パラグラフをそういうものとした前提であなたの書いた英語を読みます。もし、1つのパラグラフに2つ以上のトピックを書いたり、異なる性質の主張を複数盛り込んでしまえば、読者はあなたの書いた文章の理解に混乱をきたします。

paragraphは「段落」ではない

日本語にも「段落」というものがありますが、英語の paragraph とは別物と考えてください。大学生に「paragraph とは何ですか？」と質問すると、「段落です」と答えます。「では、段落とは何ですか？」と再度尋ねると、答えに詰まるという経験を何度もしてきました。これは、日本語の「段落」には、明確な決まりがないからです。形式的には、新しい段落の始まりを一字下げるなどのルールはあるものの、内容においては英語の paragraph ほどの共通認識は形成されていません。一方、paragraph は、明確なルールをもっています。

2B パラグラフの構成

Some scientific discoveries happen by pure accident.

Penicillin, the most widely used antibiotic in the world, was discovered in 1928 when the Scottish researcher Alexander Fleming accidentally contaminated a culture plate. In the 1940s an American engineer by the name of Percy Spencer walked in front of a vacuum tube used to generate microwaves and noticed that the chocolate bar in his pocket had melted. This accidental experience resulted in the invention of the microwave oven. In 1967, Jocelyn Bell, graduate student of astronomy at Cambridge, was using a telescope to look for sources of radiation when she happened upon a regular pulse in her data, and thus discovered pulsars from neutron stars. All these examples suggest that serendipity, rather than necessity, may be the mother of invention.

このパラグラフでは、先頭のセンテンスがパラグラフ全体のトピックと主張を提示しています。すなわち、Some scientific discoveries は pure accident によって生まれる（名詞句にすると、accidental scientific discoveries）です。続くセンテンスを読むと、すべてのセンテンスは accidental scientific discoveries の3つの具体例が書かれていることが分かります。

Due to a lack of school funding by the state, the quality of education for students of Jefferson Junior High School has reached an all-time low. Electives for the arts have been reduced to only a few basic art classes where students are

made to pay for all their own art supplies. Several positions have been reduced or cut altogether, forcing students to endure larger than average class sizes. Only three of the thirty classrooms have a functioning TV. The few computers in working order must be shared by the entire student body. And worst of all, the building is in a constant state of disrepair.

トピックは quality of education for students of Jefferson Junior High School で、主張は has reached an all-time low で、その理由として a lack of school funding by the state が挙げられています。2つ目以降のセンテンスでは、財政的苦境が生徒たちの教育環境にどのような影響を及ぼしているのかが具体的に説明されています。

3 パラグラフを書くための 3 つのルール

3A トピック・センテンスがパラグラフの行方を決定する

トピック・センテンス (topic sentence) とは、パラグラフのメイン・アイデア (トピックと、その主張) を示すセンテンスを指します。前節のパラグラフの例で言うと、

Some scientific discoveries happen by pure accident.

Due to a lack of school funding by the state, the quality of education for students of Jefferson Junior High School has reached an all-time low.

がトピック・センテンスです。どちらのパラグラフも、トピック・センテンスの内容と密接に関連する内容が全てのセンテンスで書かれていることが分かります。

トピック・センテンスは冒頭に置かれることが多いのですが、これは絶対という決まりではありません。パラグラフのどこにでもトピック・センテンスが置かれる可能性はあります。しかし、外国語として英語を書く場合は、とりあえず、各パラグラフの冒頭か、2つ目のセンテンスにトピック・センテンスを書くという自分ルールを決めておくといいでしょう。

そのパラグラフで何を書くのかをはっきりさせなければいけません。そのためには、トピック・センテンスをまず作ることです。なぜなら、パラグラフを構成する全てのセンテンスはトピック・センテンスと密接に関係するからです。

トピック・センテンスのコツ

トピック・センテンスは、そのパラグラフの内容を決定する重要なセンテンスである。トピック・センテンスは、「何」が「どうしたのか」の2つの要素からなる。のこりのセンテンスでは、「何」が「どうした」の部分掘り下げて書くのが一般的である。したがって、トピック・センテンスにあまり細かな、具体的なことをあれこれ書いてしまうと、発展させる余地がなくなってしまう。大まかな方針として、トピック・センテンスには、まとめたこと、あるいはトピックについての方向性を与える程度のことだけを書いて、具体論やデータはパラグラフの残りでたっぷり書けばよい。

3B トピックを統一する

1つのパラグラフは1つのトピックについて展開されなければいけません。これを保証するのがトピックの統一（unity）と言われるルールです。比喻を使えば、「流れ」のよいパラグラフにするのがunityのルールです。前節で使ったパラグラフを少し変えたのが下の例です。

Due to a lack of school funding by the state, the quality of education for students of Jefferson Junior High School has reached an all-time low. Electives for the arts have been reduced to only a few basic art classes where students are made to pay for all their own art supplies. Several positions have been reduced or cut altogether forcing students to endure larger than average class sizes. Only three of the thirty classrooms have a functioning TV. The few computers in working order must be shared by the entire student body. * Also, the school's AV technician is never in a good mood, and most of the students don't like him. And worst of all, the building is in a constant state of disrepair.

アンダーラインのセンテンスがトピックの統一を乱しています。このパラグラフは、財政的苦境が生徒たちの学習環境にどのような影響を及ぼしているのかを具体的に説明しているのに、アンダーラインのセンテンスはAV機材管理担当者の性格について書かれていて、主題である学習環境の劣化とは直接関連性がありません。このセンテンスは削除するべきです。

3C センテンスのつながりを示す

センテンスのつながり (coherence あるいは cohesion) とは、センテンスから次のセンテンスへのスムーズな接続を言います。言い換えれば、パラグラフがパラグラフとしての役目を果たすにはセンテンスどうしのつながりを意識しながら英語を書く必要があります。

(1) トピック・センテンスをサポートする

Though homeschooling works for many children, it is not practical for my daughter, Hannah. First, Hannah is very shy. She would likely be even more isolated if she were deprived of the opportunity to be surrounded by other children of her age. Children of her age need social interaction to develop social skills. **Second,** Hannah is an active child and loves sports. She needs access to school athletic facilities and equipment to get her daily exercise. **Finally,** Hannah is a needy child who clings to me at home. It would be very difficult for me to find the time to plan and execute lessons and activities while still caring for the needs of my daughter.

このパラグラフでは、最初のセンテンスがトピック・センテンスです。以下では、Hannah にとって homeschooling が向いていない理由が3つ (First, Second, Finally) 語られます。ボールドにしたセンテンスがそれぞれの理由を示し、そのあとに理由についての追加的説明が続きます。すなわち、冒頭のトピック・センテンスを、後のセンテンスがサポートすることで、パラグラフとしてのつながりを実現しています。

このような構成をとることで、このパラグラフは homeschooling が Hannah にとって最善の選択でないことの理由を述べるという目的がはっきりします。

(2) キーワードを繰り返す

もっとも簡単につながりを確保できる方法です。

Civil disobedience is noted throughout American history and has shaped our democracy. **Acts of dissension** such

as the Boston Tea Party led to the War for Independence. The social reforms that we take for granted today are a result of **such behavior against governments**. The Women's Suffrage Movement lasted almost eighty years until 1920, when thousands of courageous women marched in the streets, endured hunger strikes, and were even thrown in jail trying to gain the right to vote. The Civil Rights Movement, led by Martin Luther King, Jr. and others, showed the world how **civil disobedience** could weaken segregation in the south. Even the anti-war movements of the 1960s included sit-ins and blockades at military draft centers and interference for military recruiters on college campuses which led to discussions and policy reevaluations. **Civil disobedience** has come in many shapes and sizes, from peaceful marches to consumer boycotts. These **conscientious breaches of law** have brought about changes in government policies throughout American history. While it does not always lead to change, it happens often enough that a **popular protest** can be a powerful force.

トピックは civil disobedience ですから、この用語が繰り返し使われています。また、civil disobedience の具体的史実 (Boston Tea Party, The Women's Suffrage Movement, The Civil Rights Movement, sit-ins and blockades, interference for military recruiters) も多数使われていて、トピックから外れていないことが分かります。

ただし、同一のキーワードを繰り返すことには副作用もあり、パラグラフを単調にしてしまいます。これを避けるために、このパラグラフでは類義語も用いられています (Acts of dissension, such behavior against governments, conscientious breaches of law, popular protest)。

(3) つなぎ言葉でセンテンスどうしの関係を示す

1つのセンテンスから次のセンテンスへ移る時、当然ながら両センテンスの意味的つながりを確保しなければいけません。

* This is one possible solution to this problem. There are other solutions.

1 つ目のセンテンスでは one possible solution と言っていて、2 つ目のセンテンスでは other solutions と言っています。つまり、この例の問題点は、2 つのセンテンスで異なるもの (one possible solution と other solutions) を話題に上げていながら、それらの関連が示されていないことです。解決法は、2 つのセンテンスの関係を示す「つなぎ言葉」(transitions) を加えることです。

This is one possible solution to this problem. **However**, there are other solutions.

However というつなぎ言葉を挟むことで、センテンスとセンテンスの関係がはっきりしました。

読者の立場から説明すれば、This is one possible solution to this problem. However まで読んだとき、However の後の内容を推測できる (one possible solution を否定するような内容がこのあと出てくる) ようにするのがつなぎ言葉の役割です。

1 つのパラグラフでは、つなぎ言葉 (transitions) を何度も使うのが一般的です。

I do not wish to deny that hydraulic fracturing in search of underground natural gas deposits is beneficial to the local economies. **However**, the downsides of fracking outweigh any potential benefits. When highly pressurized water, sand, ceramic beads, and a mixture of chemicals are injected deep into the ground, the pressure causes the rock formations to crack, **thus** releasing the natural gas. The benefits of an increased supply of natural gas **notwithstanding**, this process does more harm than good. **To illustrate**, let's take a quick look at the list of environmental hazards posed by this process. **First**, there is the highly publicized issue of earthquakes and tremors associated with the wastewater from the fracking process being reinserted into the ground. **Consequently**, man-made seismic events have been recorded in virtually every location where hydrofracking has taken place. **Furthermore**, contamination of the soil is resulting from the fracking fluid remaining in the ground once the well has run dry. **Specifically**, more than two dozen of chemicals which are known carcinogens are being used in this process. **In the same manner**, fracking is causing airborne pollutants which compromise the air quality in the

region. **For instance**, dangerous amounts of methane, sulfur oxide and benzene have been recorded in fracking locations. **So**, it is my opinion that more rules and regulations need to be put into place before hydraulic fracturing can be considered beneficial.

つなぎ言葉(transitions)

つなぎ言葉といっても、目的によって様々な種類の語が使われます。

追加

and, also, besides, further, furthermore, in addition, moreover, next, too, first/second/third

具体例

for example, for instance, to illustrate, in fact, specifically

比較

also, in the same manner/fashion/vein, similarly, likewise

対比

but, however, on the other hand, in contrast, nevertheless, still, even though, on the contrary, yet, although, notwithstanding, for all of that, after all

サマライズ

in other words, in short, in summary, in conclusion, to sum up, that is, therefore

時系列

after, as, before, next, during, later, finally, meanwhile, then, when, while, immediately

場所・方向

farther on, nearby, opposite, close, to the left

因果関係

if, so, therefore, consequently, thus, as a result, for this reason, since

第5章

エッセイを書く

1 エッセイとは何か

エッセイ (essay) は「特定のトピックについて、分析・検証」することを目的として書かれます。日本語でいうところの「エッセイ」とは別物です。

2 エッセイ執筆の工程

2A スケジュールを立てる

よいエッセイを書こうと思ったら、しっかりとした計画を立てて実行することが大切です。一夜漬けで書こうとするのは愚の絶頂です。というより不可能です。一例として、次のようなスケジュールを最初に立てると、すべきことが可視化できます。

- 1 テーマ探しのため、図書館やインターネットで検索する
- 2 テーマについて「何」を知りたいのかを明確化する
- 3 ソースを探す
- 4 ソースを読みながらノートを取る
- 5 「主張」(thesis) を設定する
- 6 ドラフトを書く
- 7 ドラフトに対して、教授、クラスメートなどから意見をもらう
- 8 必要であれば、追加リサーチを行う
- 9 ドラフトを改訂する
- 10 参考文献を整理する(脚注など)
- 11 校正する
- 12 完成、提出

(「5 主張 (thesis) を設定する」については、当初定めた主張が、リサーチを行い、ドラフトを書く過程で変わることもある。)

2B テーマを決める

(1) 実現可能なテーマを選ぶ

テーマを決める際の大原則は、「絞る」ことです。特に、授業で書くエッセイは時間的・量的制約があるため、大きなテーマを選んでしまうと、実現可能性において難しくなってしまいます。“narrow down your topic”とは、テーマ決定の助言のさい、教授が学生に対していつも使う表現です。

広すぎるテーマの例

---what are the hazards of modern warfare?

---Is the economic globalization seriously affecting the local economy?

1つ目ですが、modern warfare（近代戦争）全体をトピックにしていますが、戦争の形態は様々なので、対象が広すぎます。また、2つ目は、漠然としすぎていて、どこから手をつければいいのかわかりません。

絞ったテーマの例

---what are the hazards of chemical warfare?

---To what extent has the economic globalization affected the Brazilian economy since the 2016 Rio Olympics?

chemical warfare という戦争形態に絞ることで、実現可能性が高まります。2つ目は、地域と時代を限定することで、実現可能なテーマを設定しています。

(2) チャレンジングな問いかけをしよう

選んだテーマについて資料収集、読書、ドラフトと進めていく過程で必要となるのが、「何のためのエッセイか」という自分への問いかけです。先のテーマ設定と同じく、このエッセイで追究したいことは何かという自分への問いかけも限定的の方がよいでしょう。

淡泊すぎる問いかけの例

---what is obsessive-compulsive disorder?

---where is wind energy being used?

obsessive-compulsive order についてエッセイを書くならば、その症状・特

徴を書くだけでは、良いエッセイとは評価されません。問題意識が見えないからです。2つ目に関しても同じ問題を抱えています。

チャレンジングな問いかけの例

---What treatments for obsessive-compulsive disorder show the most promise?

---Does investing in wind energy make economic sense?

obsessive-compulsive disorder の「どんな側面について」エッセイを書くのかという問いかけの設定がなされたのが、チャレンジングな問いかけの例です。ここでは、「どの治療法が効果的なのか」という問いかけが見てとれます。2つ目の wind energy についても同じで、チャレンジングな問いかけとして、「経済的コストに見合うのか」という問いかけをしています。

(3) テーマを考えたときの指針

「テーマに対する問いかけ」を考える際の大まかな指針として、次のような要素を考慮するとよいでしょう¹。

- 1 時代
- 2 場所
- 3 誰が (構成要素の一部)
- 4 様相・特徴・出来事
- 5 類似・相違
- 6 いくつ
- 7 原因・結果

以上の7つの要素を使って、テーマを絞り込む例を考えてみましょう。例えば、Tohoku University というトピックでエッセイを書くとします。上記の7つの切り口によって、幾通りものテーマが設定できます。

1 時代

The Birth of Tohoku University

Tohoku University During World War II

2 場所

City of Sendai and Tohoku University

1 吉田友子「アカデミック・ライティング入門 第2版」(慶應義塾大学出版会、2015年)、31-32。

The Transformation of Tohoku University Kawauchi Campus

3 誰が (構成要素の一部)

Great Scientists Tohoku University Produced

4 様相・特徴・出来事

University-Industry Research Collaboration at Tohoku University

5 類似・相違

Comparison Between Tohoku University and Other Former Imperial Universities

6 いくつ

The Three Most Important Events Responsible for the Development of Tohoku University

7 原因・結果

Tohoku University After the Great Earthquake of 2011

How Tohoku University Became a Top-Ranked Research University

2C 資料を集める、吟味する

専攻分野によってその種類に違いはありますが、エッセイを書くにはなんらかの資料が必要となります。

(1) 資料を集める

資料の例

- ・百科事典
- ・単行本
- ・学会誌
- ・一般誌、新聞
- ・統計
- ・アーカイブに保存されている一次史料
- ・映像、音源など
- ・インターネット

- ・フィールドワークにおけるインタビュー
- ・アンケート調査

専門書の多くには、巻末に bibliography がついています。そこからエッセイのテーマと関連しそうなものを選ぶ方法もあります。

(2) 吟味する

どの資料を使うかは、エッセイの質を左右する重要な要素です。以下は、資料の価値・有用性を判断する上での基準です。

- ・最新の文献、資料、統計であるか。
- ・著者の主張に対して、どのようなバイアスが予想されるか。特定の団体との利害関係、イデオロギー、著者の属性（所属機関、経歴、学歴、そのコミュニティでの評価）など。
- ・主張について対立・異なっている文献はないか。

ここで注意しなければいけないことは、資料の収集・吟味にのめりこみ過ぎないことです。あくまでもエッセイを書くことが目的ですから、収集・吟味には時間的リミットを設けることが大切です。

2D 主題を決定する

選んだテーマに関して、資料収集・吟味を終えたら、次に考えなければいけないのは、自分は「このエッセイで何を言いたいのか」という自分に対する問いかけです。最も述べたいことを主題（thesis statement）と呼びます。エッセイは、主題を中心に書かれます。言い換えれば、主題を検証、実証するためにエッセイを書くわけです。

以下は、thesis statement の例です。

---The number of companies transitioning to eco-labeling is growing due to increased availability of organic ingredients and a surge in consumer demand for “green” products.

---Social media is impacting our society in three critical areas: effects on socialization, impact on productivity, and impact on privacy.

---The world’s loss of biodiversity in the 21st century can be

traced to the following causes: the changing climate, rising sea levels, and a lack of international cooperation.

---The purpose of this study was to determine the correlation between calculus problem-solving skills and advanced metacognitive thinking strategies.

3 エッセイの種類

エッセイには、いくつかの種類があります。それぞれの類型にはそれぞれの書くポイントがあります。ただし、実際のエッセイは様々な類型を組み合わせられることがほとんどです。

また、エッセイで何を書くかは、プレゼンテーションの原稿作りと共通しますから、第3章の「プレゼンテーション本番に備える」を参考にしてください。

3A narrative essays

時系列に即してストーリーを展開するタイプのエッセイです。基本構成は、イントロで読者に時代、場所、登場人物などの基本設定を知らせ、本論で起きた出来事を記述し、結論では結末・影響、あるいは引き出される教訓・意義などを述べます。

3B descriptive essays

物、人物、場所、経験、感情、状況などを描写することを目的とします。選んだトピックについて、その全体像と細部をバランスよく記述して、読者を理解させなければいけません。

descriptive essayの構成例

導入部

- ・描写するトピックを提示する。
- ・イントロ部の中ほどで背景知識を提供する。
- ・thesis statementは、トピックを描写すること（読者の側から言えば、トピックについて理解すること）がいかに重要であるかを述べる。

本論

- ・品詞としては、形容詞・副詞の使い方が描写の質を左右する。
- ・simile(直喩)を使うと効果的である。(simileの例: The stars looked like diamonds.)

結論

・これまで述べてきたトピックに対して、自分の評価を含めてもよい。

3C expository essays

説明することを目的とします。客観的情報の記述が中心です。場合によっては自説を述べることもあります。目的はバランスのとれた客観的情報の提供です。議論の構築方法では、概念やトピックの定義から始め、個別の事象へと進む形式（演繹法）と、個別事情を議論してから一般論へ導く形式（帰納法）の2つがあります。

帰納法 inductive method

いくつかの個々の事例から論理的に推論し、結論として一般的、普遍的な原理を導く思考法。フランシス・ベーコン（哲学者・フランス）等が提唱者であるとされている。

Aさんが死んだ。Bさんも死んだ。Cさんも死んだ。（事例、具体例）
↓
人間は死ぬ。（結論）

演繹法 deductive method

一般的、普遍的な原理から論理的に推論し、結論として個々の事例を導く思考法。アリストテレス（哲学者・古代ギリシア）やルネ・デカルト（哲学者、数学者・フランス）が提唱者であるとされている。

すべての人間は死ぬ。（大前提）
↓
私は人間である。（小前提）
↓
私は死ぬ。（結論）

議論の視点としてよく使われるのは、「比較・対比」「原因・結果」「定義」「具体例」です。

(1) comparison & contrast

選んだトピックについて、別の関連するトピックとの比較や対比を行うことで、その特徴を明らかにする方法です。書き方は大きく2つに分けられます。1つ目は、二者について、比較・対比する項目ごとに記述していく方法で、もう一つは、共通点をまとめて記述した後、相違点をまとめて記述する方法です。

comparison & contrast essayの構成例

導入部

トピックを提示して、何と比較・対比するかを明らかにする。イント

ロの最後では thesis statement を書く。

本論

二者の比較・対比について、その項目を明確化する。ある項目から次の項目に移るときは、transition (first, second, third, . . .) を使う。類似点をまとめて述べる場合でも、類似する項目が変わるときに、transitions を使う。

結論

本論で述べたポイントを再整理した上で、(必要であれば) 書き手の評価を加える。

(2) cause and effect

自然現象、社会現象、あるいは歴史現象について、その因果関係を解き明かすことを目的とします。

cause and effect essayの構成例

導入部

- ・書き出しで、causeかeffectのどちらかを提示して、読者の関心を惹きつける。
- ・必要に応じて背景知識を加えてもよい。
- ・イントロ部分の最後に書く thesis statement は、causeとeffectの関係を明確に示すこと。

本論

- ・各パラグラフのトピック・センテンスは causeあるいはeffectを特定して、そのあとのセンテンスでサポートする。
- ・サポート部分はトピック・センテンスと関係を持たせる。サポートする内容は、具体例、データ、説明などが主である。
- ・本論で書くパラグラフの順序は、重要性、時系列、影響が及ぶ期間の長短などで決める。

結論

- ・本論で述べたポイントを再整理した上で、cause and effectsについて thesis statement をパラフレーズして再度強調する。
- ・必要であれば、述べてきた論点について自分の評価を与えてもよい。

(3) process analysis

選んだテーマについて、その進展、発展などの過程を記述することを目的とします。テーマには、自然現象、社会現象、歴史的現象、あるいは事物の工程・手順なども含まれます。

process analysis essayの構成例

導入部

- ・書き出しで、「何」についてのプロセスであるかを明示する。
- ・プロセスを理解するのに必要な背景知識を加えても良い。

・thesis statementでは、後に続くボディでプロセスを説明することを読者に知らせる

本論

- ・各パラグラフのトピック・センテンスでは、プロセスのうちのどの段階かを示すこと。たとえば、5段階に分かれるテーマについて書くなら、本論では最低5パラグラフを要する。
- ・それぞれのパラグラフでは、プロセスを構成する各ステップのつながりを論理的に記述する。必要に応じて、専門的語彙の定義、例示などを加える。

結論

- ・本論で述べたプロセスの重要点を再整理した上で、thesis statementの言い換えを行う。
- ・必要であれば、そのプロセスについての評価、推奨、忠告などの評価的内容を述べる。

(4) classification essays

トピックについて、グループ分けしながら説明します。

classification essayの構成例

導入部

- ・説明するトピックについて、グループ分けすることを示す。
- ・イントロ部の中ほどで背景知識を提供する。
- ・thesis statementは、トピックを描写すること（読者の側から言えば、トピックについて理解すること）がいかに重要であるかを述べる。

本論

- ・品詞としては、形容詞・副詞の使い方が描写の質を左右する。
- ・simile（直喩）を使うと効果的である。（simileの例：The stars looked like diamonds.）

結論

- ・これまで述べてきたトピックに対して、トピックに対する自分の評価を含める。

3D argumentative/opinion essays

expository essays と似ていますが、argumentative/opinion essays は、持論を展開し、読者を説得させることを目的とする点で異なります。このタイプのエッセイの発展形として、学部卒論文、修士・博士論文、専門ジャーナルの論文などがあります。論理構成のパターンは、演繹か帰納のどちらかを採用するのが一般的です。

argumentative/opinion essayの構成例

導入部

- ・「何」についての議論を展開するのかを明らかにする。
- ・書き出しは、関連する逸話、意外な事実などを用いて、読者をひきつける手法がしばしば用いられる。
- ・イントロ部のなかほどで、選んだトピックがなぜ重要なのかを述べる。背景知識を加えることも忘れずに。
- ・thesis statementを書いて、自分の立場・意見を明確にする。

本論

- ・各パラグラフのトピック・センテンスに書くことは、自説についてのなんらかのアイデアである。
- ・各パラグラフには、トピック・センテンス(自説)をサポートするセンテンスを書く。自説に説得力を持たせる材料には、論理的推論、データ、事実、先行研究の引用などを使う
- ・バランスを取るために、自説と対抗する説についてもひとつおとり述べる。そのあとで、自説と対抗する説にたいして検討(実質的には批判)を加える。

結論

- ・thesis statementを再度述べる。イントロで使った表現よりも強い表現を使うのが普通である。

4 文献をエッセイに組み入れる

専攻分野を問わず、他人の著作物を自分のエッセイに取り入れることは広く行われています。それには、パラフレーズ、サマライズ、引用の3つの方法があります。

4A パラフレーズ

パラフレーズ(paraphrase)とは、だいたい同語数で原文を書き換えることです。パラフレーズを行うさい、よく使われる5つのテクニックは、「類義語に置き換える」「センテンス構造を変える」「節を句へ変える」「態を変える」「品詞を変える」です。実際にパラフレーズする場合は、上記5つのうち、2つ以上を組み合わせることが多いです²。

(1) 類義語に置き換える

原文で使われている語を類義語に置き換える方法です。もっとも簡単でよく使われる方法ですが、外国語として英語を書く私たちにとって、意外と難しいスキルです。類義語と言っても、文脈を無視して置き換えられるケースは少なく、書き手の語彙力が問われるからです。

類義語に置き換える際に必要となるのが、シソーラス辞典(thesaurus)です。試しに、任意の単語を調べてみると、類義語として多くの単語が挙げられてい

² Jocelyn Steer, *Strategies For Academic Communication*, (Boston: Heinle & Heinle, 1995), 100-108.

ることがわかるでしょう。その中からどの単語を使うか、外国語として英語を書く身としては、見当がつかないのが普通だと思います。そういうときは、自分が慣れ親しんでいる単語を選ぶのが鉄則です。見栄を張って、使用頻度の少ない、自分の認識語彙の範疇を超える単語を使うという愚行だけは避けなければいけません。

また、どの語を類義語に置き換えるのかも慎重に考えなければいけません。置き換えてはいけない語もあります。例えば、専門語です。歴史学で identity という語が使われる場合、それは専門的な概念を意味しており、置き換え不可能です。したがって、シソーラス辞典を見て、安易に character, personality などに置き換えるのは適当ではありません。

(2) センテンス構造を変える

これは比較的使いやすい技法です。例として、次のような原文があるとしましょう。

Boys learned competition, but girls learned cooperation at school.

このセンテンスの構造を変えてパラフレーズすると、

1. While boys learned competition, girls learned cooperation at school.
2. Boys learned competition; however, girls learned cooperation at school.
3. Unlike girls, who learned cooperation at school, boys learned competition.

原文の but を、while, however, unlike に置き換えて、センテンス構造を文法的整合性がとれるように書き直しました³。

(3) 節を句に変える

節 (clause) を句 (phrase) に、あるいはその反対を行います。

原文

An article on dementia was recently published in a medical journal **which indicated** that eating substantial amounts of

³ Ibid. 104.

curry may improve memory.

which 以下を句に変えると、

An article on dementia was recently published in a medical journal **indicating** that eating substantial amounts of curry may improve memory.

which indicated と続く形容詞節 (adjective clause) を、句に変えました。

原文

In this study, they found that **boys who were aggressive** had encouragement from their parents to be aggressive outside the home.

which 以下を句に変えると、

In this study, they found that **aggressive boys** had encouragement from their parents to be aggressive outside the home.

boys who were aggressive という副詞節 (adverb clause) を aggressive boys に変えました。しかし、これだけでは原文と近似しすぎていてパラフレーズとは言えないので (あとで述べるように、剽窃とみなされる)、センテンスの主語を変え、that 以下の動詞の品詞も変えてみました。

This study revealed that aggressive boys **had been encouraged** to be aggressive outside the home by their parents.⁴

(4) 態を変える

能動態 (active) を受動態 (passive) に、あるいはその反対を行います。

原文 (能動態)

A team of engineers will remove large chunks of asbestos-laden materials from the hallway on the third floor.

受動態に変える

⁴ Ibid. 106.

Large chunks of asbestos-laden materials will be removed from the hallway on the third floor by a team of engineers.

(5) 品詞を変える

原文

Increased viewing of **violence** on television may lead to aggressiveness in children.

品詞を変える

An **increase** in viewing **violent** television programs may lead to aggressiveness in children.

これだけではパラフレーズとしては十分ではないので、lead to を類義語に変換します。

An increase in viewing violent television programs may **be the cause** of aggressiveness in children.

(1) から (5) の 5 つのテクニックを組み合わせると、次のようなパラフレーズが可能となります。

原文

In some respects, the increasing frequency of mountain lion encounters in California has as much to do with a growing human population as it does with rising mountain lion numbers. The scenic solitude of the western ranges is prime cougar habitat, and it is falling swiftly to the developer's spade. Meanwhile, with their ideal habitat already at its carrying capacity, mountain lions are forcing younger cats into less suitable terrain, including residential areas. Add that cougars have generally grown bolder under a lengthy ban on their being hunted, and an unsettling scenario begins to emerge.⁵

⁵ Diana Hacker, *Rules for Writers* [Fourth Edition], (Boston: Bedford/St. Martin's, 2000), 393.

パラフリーズ

Californians are encountering mountain lions more frequently because increasing numbers of humans and a rising population of lions are competing for the same territory. Humans have moved into mountainous regions once dominated by the lions, and the wild habitat that is left cannot sustain the current lion population. Therefore, the older lions are forcing younger lions out of the wilderness and into residential areas. And because of a ban on hunting, these younger lions have become bolder—less fearful of encounters with humans.⁶

4B サマライズ

パラフリーズが、原文の内容を語数をさほど変えずに自分の言葉に直すことを意味するのに対して、サマライズ (summarize) は、原文の内容を量的に凝縮する作業を指します。どれくらい凝縮するかは場合によって異なりますが、極端な例では、章全体を一つのパラグラフにサマライズしたり、一つのパラグラフを一つのセンテンスにサマライズすることもあります。

先ほどの例文をもう一度使います。

原文

In some respects, the increasing frequency of mountain lion encounters in California has as much to do with a growing human population as it does with rising mountain lion numbers. The scenic solitude of the western ranges is prime cougar habitat, and it is falling swiftly to the developer's spade. Meanwhile, with their ideal habitat already at its carrying capacity, mountain lions are forcing younger cats into less suitable terrain, including residential areas. Add that cougars have generally grown bolder under a lengthy ban on their being hunted, and an unsettling scenario begins to emerge.⁷

サマライズ

Encounters between mountain lions and humans are on the rise in California because increasing number of lions are

⁶ Ibid., 394.

⁷ Ibid., 393.

competing for a shrinking habitat. As the lions' wild habitat shrinks, older lions force younger lions into residential areas. These lions have lost some of their fear of humans because of a ban on hunting.⁸

しかし、このままでは、このサマリーを自分のエッセイには使えません。なぜなら、これだけ読むと、自分の発見・観察であるかのように読めてしまうからです。他人の著作のサマリーだというシグナルを読者に与えなければいけません。

Rychonovsky reports that encounters between mountain lions and humans are on the rise in California because increasing number of lions are competing for a shrinking habitat. As the lions' wild habitat shrinks, older lions force younger lions into residential areas. These lions have lost some of their fear of humans because of a ban on hunting.

センテンスの冒頭で Rychonovsky という著者名を出すことで、読者は関連文献のサマリーであることが理解できます。

4C 引用として原文の言葉をそのまま使う

引用 (quote) とは、使用文献の言葉をそのまま自分のエッセイで使うことです。引用のルールには次の4つがあります。

(1) " " で囲む

形式的ルールとして、原文を一字一句変えずに自分の文章に組み入れる時は、その部分を “ ” (double quotation marks) で囲みます。

(2) 「引用が始まる」というシグナルを読者に与える

これも形式的なルールです。

Writing and speaking are different activities. “The fundamental difference between speaking and writing appears that writing is largely decontextualized.”

⁸ Ibid., 393.

上の例は、引用部分を“ ”で囲んでいる点ではいいのですが、引用が始まるというシグナルを読者に与えていません。

Writing and speaking are different activities. For instance, **Scott states** that “[t]he fundamental difference between speaking and writing appears that writing is largely decontextualized.”⁹

このように書くと、読者は引用部分を Scott という人の言葉であると理解します。

(3) 引用する価値がある場合にのみ引用する

引用する価値がある原文とは、

- ・表現が秀逸で、パラフレーズするとその効果がなくなってしまう
- ・専門的な正確性を保つ必要がある
- ・持論を主張している場合などで、本人の主張を本人の言葉で紹介することが適切な場合。
- ・原文の表現そのものが、自分のエッセイのトピックあるいはテーマである。例えば、文学研究などの場合。

要するに、引用という手法を安易に用いるべきではないということです。エッセイとは、自分の英語で書くべきもので、他人の著作の寄せ集めではありません。

(4) 引用する部分は限定的に

引用する際には、必ずしもセンテンス全体を引用する必要はありません。

In discussing the historical relation between politics and the press, William L. Rivers notes that when presidential control “reached its zenith under Andrew Jackson, . . . there were fifty-seven journalists on the government payroll.”

“ ”で囲まれた引用部分には主語が含まれていません。そして、自分の言葉で presidential control という主語が付け加えられています。引用部分ではできるだけ限定的に使うことが大切です。さらに、引用部分を含むセンテンスは、William L. Rivers を主語にしているので、引用部分は Rivers の著作から来て

9 上村、大井「英語論文・レポートの書き方」(研究社、2004)、176。

いることが分かるように書かれています。

また、... (ellipsis) を使うと、不必要な部分を省くことができます。

The title of John Seidensticker's article poses a question: "Mountain lions don't stalk people. True or False?" The answer, writes Seidensticker, is "False. In the old West, the big cats were nearly wiped out, but . . . they are back—and going on the attack."¹⁰

“...”の部分は、原文では表現がありますが、引用する必要がないと著者が判断した場合、省略したことを...で表しています。

[] (brackets) は、原文にない内容を、著者が加える時に使います。

According to Tony Perry of the *Los Angeles Times*, "The mountain lion [in California] has never been in danger of extinction, not even during the 56 years (1907-1963) when several rural counties in California tried to eradicate lions by paying bounties to hunters."¹¹

" " で囲まれた部分が引用ですが、[in California] はエッセイの著者が加えた情報で、原文にはありません。原文は、The mountain lion has never been in danger of extinction. . . . となっていますが、エッセイの著者が読者の便宜を考えて、in California という場所情報を挿入したことが示されています。

「パラフレーズ」「サマライズ」「引用」を示す動詞

acknowledge, add, admit, agree, argue, assert, believe, claim, comment, compare, confirm, contend, declare, deny, dispute, emphasize, endorse, grant, illustrate, imply, insist, maintain, note, observe, point out, reason, refute, reject, report, respond, suggest, think, write

¹⁰ Ibid., 405

¹¹ Ibid., 406.

5 剽窃 (ひょうせつ) を避ける

エッセイを執筆するには、多くの文献を用いなければなりません。それらの文献を使う時は、パラフレーズ、サマライズ、引用の方法を使って、自分のアイデアや発見ではないことを読者に示します。気をつけなければいけないのは、不注意によって他人の著作を、あたかも自分のアイデア、発見、文章であるかのように書いてしまうことです。これを剽窃 (plagiarism) といいます。

5A 剽窃に抵触する行為

次の3つが剽窃とみなされます。

- 1、脚注、巻末の文献一覧で、引用、パラフレーズ、サマリーの形で使用した文献を明記しない。あるいは、引用部分を double quotation marks で示さない (脚注などで文献表記を付けたとしても)。故意・過失を問わない。
- 2、サマライズ、パラフレーズするに、使用文献を表記せずに、あたかも自分の言葉であるかのように書いてしまう。故意・過失を問わない。
- 3、パラフレーズ、サマライズの仕方が不十分で、原文に酷似する。故意・過失を問わない。

3番目のケースについて、以下に実例を示します¹²。これはアメリカの大学で使われているライティング・ハンドブックからの引用です。語彙的にやや難解かもしれませんが、剽窃と見なされる基準を具体的に示しています。

原文

We see conflicting pictures of the mountain lion through the eyes of hunters, ranchers, scientists, wildlife managers, and preservationists. Each viewpoint, like a piece of glass in a kaleidoscope, is a shared, a fragment until it is combined with the other pieces to create a total image. (Karen McCall and Jim Dutcher, *Cougar: Ghost of the Rockies*, p. 137)

剽窃 (完全な丸写し)

McCall and Dutcher observe that **we see conflicting pictures of the mountain lion through the eyes of hunters, ranchers,**

¹² Ibid., 400-402. この項の例文は全て同書から引用した。

scientists, wildlife managers, and preservationists. Each viewpoint, like a piece of glass in a kaleidoscope, is a shared, a fragment until it is combined with the other pieces to create a total image (137).

たとえ著者の名前 (McCall and Dutcher) を書いたとしても、引用したページ数 (137) を明記したとしても、さらに文献表記を行なったとしても、原文と一字一句同じ文言が、自分の言葉であるかのように書かれています。これは剽窃と判断されます。

適切な引用

McCall and Dutcher observe that “hunters, ranchers, scientists, wildlife managers, and preservationists” see the mountain lion quite differently: “Each viewpoint, like a piece of glass in a kaleidoscope, is a shared, a fragment until it is combined with the other pieces to create a total image” (137).

この例では、原文の内容を咀嚼し、センテンス構造を変えています。また、引用部分は " " で示されています。適切な引用です。

別の例で説明しましょう。

原文

The park [Caspers Wilderness Park] was closed to minor in 1992 after the family of a girl severely mauled there in 1986 won a suit against the county. The award of \$2.1 million for the mountain lion attack on Laura Small, who was 5 at the time, was later reduced to \$1.5 million. (Reyes and Messina, “More Warning Signs”)

剽窃 (ほぼ丸写し)

Reyes and Messina report that Caspers Wilderness Park **was closed to children in 1992 after the family of a girl brutally mauled there in 1986** sued the county. The family was ultimately awarded \$1.5 million **for the mountain lion assault on Laura Small, who was 5 at the time.**

部分的に語句を変えてはいますが、情報の順序が同じままである点で剽窃とみなされてしまいます。ボールドの部分が同一語句です。

適切なパラフレーズ 1

Reyes and Messina report that in 1992 Caspers Wilderness Park was placed off-limits to minors because of an incident that had occurred there some years earlier. In 1986, a five-year-old, Laura Small, was mauled by a mountain lion and seriously injured. Her family sued the county and eventually won a settlement of \$1.5 million.

適切なパラフレーズ 2

In 1992, officials banned minors from Caspers Wilderness Park. Reyes and Messina explain that park officials took this measure after a mountain lion attack on a child led to a lawsuit. The child, five-year-old Laura Small, had been severely mauled by a lion in 1986, and her parents sued the county. Eventually they received an award of \$1.5 million (B1).

エッセイは、自分自身と多数の文献とのコラボレーションです。ですから、使用した文献には敬意を表さなければいけません。エッセイにおけるコラボレーションの形はサマライズ、パラフレーズ、引用の3つがあり、いずれも場合においても、適切に原文を処理し、文末の文献一覧や脚注で文献表記するのが学問のルールです。

5B 剽窃に抵触しない行為

広く知れ渡っている事実や見解については、使用文献を表記する必要がありません。仮にその情報が自分にとって新しく、他人の著作をつうじて初めて知った内容であっても、文献表記の必要はありません。たとえば、米国大統領エイブラハム・リンカーンについて、大統領就任当初は、奴隷制廃止には消極的であったということを、ある文献で読んで初めて知ったとしても、この事実は歴史家コミュニティでは周知の事実です。よって、リンカーンの奴隷制に対する消極的姿勢は、特定の著者のオリジナルなアイデアではなく、周知の見解だと考えられます。

何が周知の事実・見解で、何が個々の著者のオリジナルかを判断するためには、関連文献の読書量がものを言います。あなたのエッセイを読む側から見れば、どの部分に文献表記をつけているかで、テーマに対するあなたの知識量が判断されてしまいます。周知の事実・見解であれば、その情報を複数の文献で読むはずです。もし、「リンカーン大統領は奴隷制に対する態度について、当初は消極的だった」の部分で、その著者独自の見解だと思ってしまうと、文献表記することになり、関連知識の不足を疑われてしまうでしょう。

しかしながら、この辺の判断は実際上はとても難しいものです。授業の担当教官や、ゼミ・研究室の指導教授に教えるのが確実です。

5C 剽窃を避けるには

(1) 読書ノートを作る際には原文を見てはいけない

参考文献を読みながら要点をノートにとる時、文献の言葉を見ながら自分のノートを取らないように注意してください。ややもすると丸写ししてしまう危険があるからです。後日、丸写したことを忘れて、ノートに書いた原文の語句そのままを、自分の言葉として自分のエッセイに書いてしまうことを避けるためです。ノートに書く時は、原文を見ないで、自分の言葉で書くことを守ってください。また、引用として使いたい部分は、" "をつけることを習慣づけるとよいでしょう。

(2) 読書ノートには必ず文献情報を書く

エッセイを書き上げるには、数週間、数ヶ月を要します。一方、人の記憶力はあてになりません。2週間前に書いた読書ノートの一節が、自分の言葉なのか、引用（あるいはパラフレーズ、サマライズ）なのか、正確に覚えているほうが不思議です。したがって、すべての読書ノートには、文献情報と、「引用」「パラフレーズ」「サマライズ」の区別を記すことを習慣づけましょう。

(3) パラフレーズ、サマライズの技術を高める

上の例で示したように、単語をわずかに置き換える程度では、パラフレーズとはみなしてもらえません。語彙の置き換えだけでなく、情報構造（センテンス構造）の置き換えをも要するのがパラフレーズです。サマライズにも基本的に同じことが言えます。

第6章

センテンスを読む

1 未知の語句を理解する

1A 専門用語の意味を知る

書き手は読者を想定して文章を書きます。専門用語などを使うときは、読者の理解を考えて、平易な言葉で説明します。ですから、読むときは、専門用語らしき未知の単語に出くわしても、すぐに辞書に飛びつかず、冷静に前後の内容を読めば、おおよその意味が分かることがあります。

Computers can **scan, or take pictures of**, travelers' faces.
[scan=take pictures of]

Governments want to be able to use their countries' **natural resources, that is, the natural materials in the water, on land, and underground**.
[natural resources=the natural materials in the water, on land, and underground]

National borders—the places where one country ends and another country begins—can be physical or political.
[national borders=the places where one country ends and another country begins]

Computer chips are an important development in technology. These **very small electronic parts** can store large amounts of information.¹
[computer chips=very small electronic parts]

いずれの例でも専門用語が説明されていることがわかります。

1 例文は全て、*Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading 1* [Second edition] (New York: Cambridge University Press, 2013), 2.

1B 文脈から未知の語句を推測する

専門用語でなくても、難易度の高い単語に出くわすことはしょっちゅうです。そういうときはどうしますか？ やはり、辞書に頼らずに意味を類推する術を身につけることです。

The media—organization such as newspaper and television, which provide news and information—are changing quickly because of new technology.

media という語は知っていると思いますが、語義が広いので、読むときは語義を特定しなければいけません。—（ダッシュ）ではさまれた部分が、著者の言う media の意味です。

Symbols can express important messages. For example, the heart often expresses the meaning of love.

symbols といっても、抽象的すぎてピンときません。だから著者は第二センテンスで具体例を挙げています。

未知の語句への対処法

- ・ 未知の単語が出てきても、そこで止らず先に進む。先を読めば分かることもあるし、その単語の意味を知らなくても大意の把握には影響はないかも知れない。
- ・ 言い換えや対比の構造であれば、それをたよりに未知の語句の意味の類推を試みる。

1C 単語を分解して意味を推定する

辞書に頼る前に、知らない単語を分割してみると、意味がぼんやりと見えてくることがあります。英単語を分割する場合、大きく分けて、接頭辞 (prefix)、接尾辞 (suffix)、そして語幹 (root) の3つがあります。

(1) 接頭辞の例

inter-

intercept, interdisciplinary, international, intersection, intervene

mis-

miscarriage, misconduct, misfortune, misinterpret, misunderstand

re-*reaction, respond, recover, recycle, reunion***in-, im-, il-, ir-***injustice, impatient, impossible, illegal, irregular***en-, em-***encircle, encourage, enslave, embody, empower***pre-, post-***preapprove, precaution, prehistoric, postgraduate, postmortem***sub-, super-***subconscious, subterranean, subtext, superimpose, supernatural***over-, under-***overeat, oversleep, overwork, underachieve, underappreciated***(2) 接尾辞 (形容詞・名詞を作る) の例****-less***careless, colorless, fearless, homeless, painless***-ful***deceitful, delightful, plentiful, successful, unlawful***-ion, -tion, -sion***impression, exhaustion, sensation, decision, discussion***-meter***barometer, centimeter, diameter, perimeter, thermometer***-graph, -graphy***autograph, paragraph, biography, geography, photography***-ive, -ative, -itive***disruptive, radioactive, representative, talkative, competitive***-able, -ible***breakable, capable, edible, flexible, visible*

-ous, -eous, -ious*fabulous, advantageous, courageous, anxious, religious***(3) 接尾辞（動詞を作る）の例****-en***fasten, hasten, lengthen, sharpen, strengthen***-ify, -efy***diversify, intensify, simplify, liquefy, stupefy***-ize***authorize, jeopardize, materialize, modernize, synchronize***(4) 語幹 (roots) の例****ann** (*anniversary*)**aud** (*audible*)**cap** (*captivate*)**cogn** (*cognitive*)**demo** (*democracy*)**ject** (*inject*)**min** (*minuscule*)**neuro** (*neurology*)**ortho** (*orthodox*)**phon** (*euphony*)**port** (*transport*)**sect** (*dissect, section*)**temp** (*temporary, contemporary*)**ten** (*tenuous*)**vert** (*introvert, extrovert*)**vid/vis** (*television*)

ここに挙げたものはほんの一部です。英語辞書をみれば、接頭辞、接尾辞、語幹の一覧を見ることができます。

1D 定義が示されているセンテンスを探す

学術的な文章を読むと、専門用語が頻繁に使われます。専門用語が出てきても、知らないのは当たり前です。著者はかならずその定義を説明してくれます

から、その部分を慎重に読むことが重要です。

Physiology is the study of how the human body functions.
[Studying how the human body functions is called physiology.]

Circuitry is defined as the arrangement or design of electrical circuits.
[The arrangement or design of electrical circuits is known as circuitry.]

National fertility rates and mortality rates (i.e., the number of births and deaths in a country per year) are used to predict future population growth.

national fertility rates and mortality rates の定義が、() の中で示されている。i.e. は、定義を与えたり具体的に説明するときに使う省略記号。

[The number of births and deaths in a country per year is called national fertility rates and mortality rates, and they are used to predict future population.]

Intellectual property refers to creations that come from one's mind, such as artistic and literary works.
[Something that is created from one's mind, such as artistic and literary works, is called intellectual property.]

上の例は、いずれも先に専門語 (physiology, circuitry, national fertility/mortality rates, intellectual property) が出てきて、後に定義が続きます。この順序が逆の場合もあります。[] は、先に定義がきて、専門語が後に続く書き方です。

2 対比構造を見つける

二者を比較して、相違点を明らかにすることはよく行われます。

Universities are major sources of cutting-edge research, but a lot of experimentation is taking place in private laboratories all over the world.

カンマの前では、universities について述べられ、後では private laboratories について述べられています。ちなみに、力点が置かれるのは、but の後に登場する private laboratories です。おそらく、このセンテンスの

あとには private laboratories をトピックとした議論が続くことが予想できます。

Although the blacklist fever was on the wane by the time I got to America, the blacklist was still in force.²

the blacklist fever (注：アメリカ 1950 年代の反共産主義思想のこと)について、ピークは過ぎていた (on the wane) けれど、依然として力を持っていた (still in force) と言っています。著者の力点は still in force の方にあります。もし、on the wane の意味がわからなくても、Although が使われていて、still in force と対になっていることがわかれば、何となく on the wane の意味が見えてきます。

対比で使われる語

but
instead
although/while/whereas
however
in contrast
on the other hand
unlike

3 数量表現

多くの学問分野では、重要な情報を数値で表す場合があります。数値の表現にもいろいろあるので、スムーズに読むためには数値の表現に慣れておく必要があります。

The price you pay for gas at the gas station is directly connected to the cost of oil. Oil is measured in barrels, and in recent history, the cost of a barrel of oil has **sharply increased**. In January 1970, the **average cost** of a barrel of oil was below \$20. By 1975, this had doubled to over \$40—**an increase of more than 100 percent**. The cost continued to **rise rapidly**, and in 1980, it reached \$90. In the next five years, it **fell** again by \$60, but this **decline** ended in the early 1990s when the cost began to **significantly grow** again. By 2005, a barrel of oil cost \$50; and it continued to **rise** to just

2 Theodore Bikel, *Theo: The Autobiography of Theodore Bikel* (New York: Harper Collins, 1994), 169.

under \$100 a barrel in 2010. This was an increase of more than **500 percent** in about 40 years.³

増減を表す動詞

増える
go up
grow
increase
rise
double/triple

減る
decline
decrease
drop
fall
go down
dwindle

大きな変化を表す形容詞・副詞

dramatic/dramatically
rapid/rapidly
sharp/sharply
significant/significantly

小さな変化、ゆっくりした変化を表す形容詞・副詞

slight/slightly
slow/slowly
gradual/gradually

安定を表す形容詞・副詞

steady/steadily

4 関係代名詞の省略

関係代名詞は、学術的英語ではしばしば省略されます。

Almost half of **the graduate students studying** zoology and wildlife biology in Professor Nelson's class applied for the summer internship at the nature reserve.

graduate students who study が³, graduate students studying に変化して

³ *Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading 2* [Second edition] (New York: Cambridge University Press, 2013), 88.

います。

The applicants hoped to earn school credit while learning about habitat restoration through **the internship established** by the school's department of environmental studies.

the internship that was established が、the internship established に変化しています。このとき、established を the internship の動詞だと誤読しないよう注意が必要です。

The antibiotics prescribed by the doctor to treat her illness were largely ineffective.

[The antibiotics that were prescribed by the doctor to treat her illness were largely ineffective.]

5 主語の名詞化

学術英語に見られる顕著な傾向として、アクションとして示す動詞を名詞化します (nominalization of subject)。名詞化することの利点は、同じ意味内容を少ない語数で書けることです。

Drug-resistant kinds of bacteria are emerging. This emergence is worrying health experts.

このような場合、学術英語では、次のように書かれます。

The emergence of drug-resistant bacteria is worrying health experts.

Drug-resistant kinds of bacteria are emerging が、The emergence of drug-resistant bacteria と名詞化されています。

次の2例も同じ構造です。アクションを示す動詞 (decide, use) が名詞 (decision, use) として使われています。最初が主語が名詞化された書き方で、[] が普通 (学術英語としてはやや冗長な感じがする) の書き方です。

The company's decision to clean up its toxic waste site was welcomed by the town's residents.

[The company has decided to clean up its toxic site, and this decision was welcomed by the town's residents.]

The careless use of pesticides by farmers in the Aral Sea basin contaminated local supplies of drinking water.⁴
[Farmers in the Aral Sea basin used pesticides carelessly. This contaminated local supplies of drinking water.]

6 語彙を増やす

6A コロケーションを意識して語彙を増やす

英語を読んでいると、しばしば決まった単語どうしがいっしょに使われることに気がつきます。noise という名詞と組み合わせられて使われる動詞は make で、make some noise, make a lot of noise のように使われます。このように、特定の語と語の組み合わせをコロケーション collocation と呼んでいます。rain とともに使われる形容詞は、例えば heavy であり、big rain とは普通言いません。

コロケーションを意識して語彙学習をすると、英語を読むときに一語単位ではなく、語の組み合わせを 1 セットとして理解できますから、読書速度（すなわち情報処理速度）が速くなります。

After **giving** Mark **a ride** to the airport, Julie **made her way** home. What an exciting **life** he **led**! At times, Julie felt **desperately jealous** of him. She **spent her time** doing little more than **taking care of** him and the children. Now her sister was **getting divorced** and would doubtless be **making demands on** her too. Julie had promised to **give** her sister **a call** as soon as she got home, but she decided to **take a shower** first. She had **a sharp rain** in her side and hoped that a hot shower might **ease the pain**.⁵

Longman Collocations Dictionary and Thesaurus という辞書は、コーパス分析により、学術英文で頻出するコロケーションを抽出したものを公表しています。その一部を抜粋します。例えば、ability と一緒に使われる頻度の高い形容詞は cognitive です。もちろん、cognitive 以外の形容詞も ability の

4 3 例とも、*Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading 3* [Third Edition] (New York: Cambridge University Press, 2013), 235.

5 *English Collocation in Use Intermediate* [second edition] (Cambridge, England: Cambridge University Press, 2017), 8.

前で使われますが、cognitive ability がもっとも頻度が高いということです⁶。

cognitive **ability**
 sexual **abuse**
 commonly/generally/universally/widely **accepted**
 socially **acceptable**
 direct/easy/electronic/equal/free/limited/ online/open/ public/
 ready/unlimited **access** [形容詞 + **access**]
 allow/deny/gain/give/have/provide **access** [動詞 + **access**]
 easily/readily **accessible**
 brief/comprehensive/historical **account**
 great **accuracy**
 academic **achievement**
 newly **acquired**
 sexual **act**
 appropriate/collective/legal/military/positive **action**
 political **activism**
 commercial/cultural/economic/human/learning/physical/
 political/professional/related/social **activity** [形容詞 +
activity]
 engage in/undertake **activity** [動詞 + **activity**]
 particularly **acute**
 structural **adjustment**
 make **adjustment**
 public **administration**
 widely **adopted**
 technological **advances**
 major **advantage**
 economic/financial/internal **affairs**
 adversely/directly/severely/significantly **affect**

6B フレーズを意識して語彙を増やす

コロケーションと似ていますが、フレーズ (phrase) は固定した語の組み合わせです。読むときにフレーズのかたまりを意識することの利点は、コロケーションと同様に、固定した語の組み合わせとして認識できますから、読むス

6 Longman Collocations Dictionary and Thesaurus (Essex, England: Pearson, 2013), 1450.

スピードが速くなり、理解度が高まります。

フレーズの例

according to
all in all
all of a sudden
as a matter of fact
as a result
for the time being
in general
in the long run
in the meantime
instead of
more and more
once in a while
in fact
at first
these days
step by step
before long

6C 句動詞を覚えよう

動詞（特に基本動詞）にはたいていの場合、決まって使われる前置詞や副詞があります。take off は、衣服を脱ぐ、飛行機が離陸するなどの意味を持ちます。take up は、始める、使用するなどの意味を持ちます。これを句動詞（phrasal verbs）と言います。学習者としてやっかいな事実は、take up, take off でひとまとまりとしてそれらの意味を覚える必要があるということです。語彙学習で句動詞を意識することの利点は、コロケーションやフレーズと同様に、読むときに、固定した単語の組み合わせで認識できますから、読むスピードが速くなり、理解度が高まります。

次のリストは、ある研究論文が抽出した使用頻度が最も高い 150 の句動詞です。（ ）内は頻出度ランキングを示します。最初の back up は 95 位、第 1 位は go on という意味です⁷。

⁷ Melodie Garnier and Norbert Schmit, "The PHaVE List: A Pedagogical List of Phrasal Verbs and Their Most Frequent Meaning Senses," *Language Teaching Research*. Vol.19 no.6 (2015): 645-666.

句動詞頻出度ランク150

B

Back up (95)
 Blow up (99)
 Break down (55)
 Break off (145)
 Break out (114)
 Break up (80)
 Bring about (107)
 Bring back (44)
 Bring down (110)
 Bring in (47)
 Bring out (81)
 Bring up (45)
 Build up (84)

C

Call out (92)
 Carry on (100)
 Carry out (36)
 Catch up (53)
 Check out (49)
 Clean up (65)
 Close down (148)
 Come about (147)
 Come along (112)
 Come around (140)
 Come back (3)
 Come down (31)
 Come in (14)
 Come off (132)
 Come on (25)
 Come out (7)
 Come over (89)
 Come through (138)
 Come up (4)
 Cut off (61)

E

End up (18)

F

Figure out (21)
 Fill in (141)
 Fill out (121)
 Find out (6)
 Follow up (137)

G

Get back (19)
 Get down (88)
 Get in (98)
 Get off (56)
 Get on (127)
 Get out (13)

Get through (117)

Get up (23)
 Give back (128)
 Give in (143)
 Give out (142)
 Give up (16)
 Go ahead (32)
 Go along (144)
 Go around (115)
 Go back (5)
 Go down (26)
 Go in (54)
 Go off (60)
 Go on (1)
 Go out (8)
 Go over (74)
 Go through (76)
 Go up (33)
 Grow up (10)

H

Hand over (129)
 Hang on (82)
 Hang out (86)
 Hang up (75)
 Hold back (118)
 Hold on (77)
 Hold out (79)
 Hold up (38)

K

keep on (102)
 Keep up (57)

L

Lay down (108)
 Lay out (73)
 Line up (71)
 Look around (52)
 Look back (34)
 Look down (42)
 Look out (46)
 Look up (20)

M

Make out (104)
 Make up (17)
 Move back (120)
 Move in (90)
 Move on (50)
 Move out (131)
 Move up (124)

O

Open up (48)

P

Pass on (133)
 Pay off (78)
 Pick out (125)
 Pick up (2)
 Point out (9)
 Play out (113)
 Pull back (82)
 Pull out (39)
 Pull up (63)
 Put back (96)
 Put down (58)
 Put in (149)
 Put off (146)
 Put on (87)
 Put out (51)
 Put up (43)

R

Reach out (59)
 Rule out (123)
 Run out (103)

S

Send out (97)
 Set about (150)
 Set down (135)
 Set off (101)
 Set out (64)
 Set up (11)
 Settle down (139)
 Show up (27)
 Shut down (66)
 Shut up (105)
 Sit back (122)
 Sit down (22)
 Sit up (93)
 Slow down (68)
 Sort out (136)
 Stand out (111)
 Stand up (30)
 Start out (91)
 Step back (108)
 Sum up (130)

T

Take up (41)
 Throw out (85)
 Turn around (40)
 Turn back (62)
 Turn down (94)

Turn off (106)
 Take back (72)
 Take down (126)
 Take in (134)
 Take off (28)
 Take on (15)

Take out (24)
 Take over (37)
 Turn out (12)
 Turn over (67)
 Turn up (70)

W
 Wake up (35)
 Walk out (116)
 Wind up (69)
 Work out (29)
 Write down (119)

6D 「アカデミック・ワード・リスト」を覚えよう

学術英語を読むために絶対知っておくべき単語があります。それが「アカデミック・ワード・リスト」(Academic Word List)です。英語圏で使われている教科書から 350 万語を分析し、使用頻度の高い学術的な単語 570 語が選ばれています。ご覧になればわかるとおり、特定分野の単語は入っておらず、どの分野でも使われる汎用性の高い単語が選ばれています。また、基本語(ロングマン、ケンブリッジ、オックスフォードの英語辞書の定義に使われるような、英語の根幹をなす基本語彙)は含まれていません。

「学術分野の文献を読む」という用途に絞って選ばれたリストですから、小説や新聞・雑誌、あるいは日常的な会話では、あまり使われないかもしれません。しかし、学術文献を読むには、どうしても知っておかなければいけない単語です。

Academic Word List を作成した研究者によれば、学術文献で使われる全語彙のうち、この 570 語で最大 10 パーセントを占めるということです⁸。つまり、10 語に 1 語はこの Academic Word List の単語が使われるということになります。ということは、みなさんが英語で自分の専攻分野についてエッセイを書くときにも、使用する語彙の 10 パーセントは Academic Word List から使うということが想定されます。

以下が Academic Word List の全 570 語です。単語の右についている数字は、頻度を示します。570 語を頻度順に 10 のグループに分け、最も使用頻度の高いグループが 1 で、数字が増えるにしたがい、この 570 語内での使用頻度ランクが下がります。

リストに挙げられている単語は見出し語です。例えば、abandon ですと、品詞変化として、abandoned, abandoning, abandonment, abandons が含まれます。abstract ですと、abstraction, abstractions, abstractly, abstracts が含まれます。

⁸ Averil Coxhead, "An Introduction to the Academic Word List," *Longman Exams Dictionary* (Essex, England: Pearson, 2006), 1809.

Academic Word List

A		available	1	conduct	2	
abandon	8	aware	5	confer	4	
abstract	6	B			confine	9
academy	5	behalf	9	confirm	7	
access	4	benefit	1	conflict	5	
accommodate	9	bias	8	conform	8	
accompany	8	bond	6	consent	3	
accumulate	8	brief	6	consequent	2	
accurate	6	bulk	9	considerable	3	
achieve	2	C			consist	1
acknowledge	6	capable	6	constant	3	
acquire	2	capacity	5	constitute	1	
adapt	7	category	2	constrain	3	
adequate	4	cease	9	construct	2	
adjacent	10	challenge	5	consult	5	
adjust	5	channel	7	consume	2	
administration	2	chapter	2	contact	5	
adult	7	chart	8	contemporary	8	
advocate	7	chemical	7	context	1	
affect	2	circumstance	3	contract	1	
aggregate	6	cite	6	contradict	8	
aid	7	civil	4	contrary	7	
albeit	10	clarify	8	contrast	4	
allocate	6	classic	7	contribute	3	
alter	5	clause	5	controversy	9	
alternative	3	code	4	convene	3	
ambiguous	8	coherent	9	converse	9	
amend	5	coincide	9	convert	7	
analogy	9	collapse	10	convince	10	
analyze	1	colleague	10	cooperate	6	
annual	4	commence	9	coordinate	3	
anticipate	9	comment	3	core	3	
apparent	4	commission	2	corporate	3	
append	8	commit	4	correspond	3	
appreciate	8	commodity	8	couple	7	
approach	1	communicate	4	create	1	
appropriate	2	community	2	credit	2	
approximate	4	compatible	9	criteria	3	
arbitrary	8	compensate	3	crucial	8	
area	1	compile	10	culture	2	
aspect	2	complement	8	currency	8	
assemble	10	complex	2	cycle	4	
assess	1	component	3	D		
assign	6	compound	5	data	1	
assist	2	comprehensive	7	debate	4	
assume	1	comprise	7	decade	7	
assure	9	compute	2	decline	5	
attach	6	conceive	10	deduce	3	
attain	9	concentrate	4	define	1	
attitude	4	concept	1	definite	7	
attribute	4	conclude	2	demonstrate	3	
author	6	concurrent	9	denote	8	
authority	1			deny	7	
automate	8					

depress 10
 derive 1
 design 2
 despite 4
 detect 8
 deviate 8
 device 9
 devote 9
 differentiate 7
 dimension 4
 diminish 9
 discrete 5
 discriminate 6
 displace 8
 display 6
 dispose 7
 distinct 2
 distort 9
 distribute 1
 diverse 6
 document 3
 domain 6
 domestic 4
 dominate 3
 draft 5
 drama 8
 duration 9
 dynamic 7

E

economy 1
 edit 6
 element 2
 eliminate 7
 emerge 4
 emphasis 3
 empirical 7
 enable 5
 encounter 10
 energy 5
 enforce 5
 enhance 6
 enormous 10
 ensure 3
 entity 5
 environment 1
 equate 2
 equip 7
 equivalent 5
 erode 9
 error 4
 establish 1
 estate 6
 estimate 1
 ethic 9
 ethnic 4

evaluate 2
 eventual 8
 evident 1
 evolve 5
 exceed 6
 exclude 3
 exhibit 8
 expand 5
 expert 6
 explicit 6
 exploit 8
 export 1
 expose 5
 external 5
 extract 7

F

facilitate 5
 factor 1
 feature 2
 federal 6
 fee 6
 file 7
 final 2
 finance 1
 finite 7
 flexible 6
 fluctuate 8
 focus 2
 format 9
 formula 1
 forthcoming 10
 foundation 7
 found 9
 framework 3
 function 1
 fund 3
 fundamental 5
 furthermore 6

G

gender 6
 generate 5
 generation 5
 globe 7
 goal 4
 grade 7
 grant 4
 guarantee 7
 guideline 8

H

hence 4
 hierarchy 7
 highlight 8
 hypothesis 4

I

identical 7
 identify 1
 ideology 7
 ignorance 6
 illustrate 3
 image 5
 immigrate 3
 impact 2
 implement 4
 implicate 4
 implicit 8
 imply 3
 impose 4
 incentive 6
 incidence 6
 incline 10
 income 1
 incorporate 6
 index 6
 indicate 1
 individual 1
 induce 8
 inevitable 8
 infer 7
 infrastructure 8
 inherent 9
 inhibit 6
 initial 3
 initiate 6
 injure 2
 innovate 7
 input 6
 insert 7
 insight 9
 inspect 8
 instance 3
 institute 2
 instruct 6
 integral 9
 integrate 4
 integrity 10
 intelligence 6
 intense 8
 interact 3
 intermediate 9
 internal 4
 interpret 1
 interval 6
 intervene 7
 intrinsic 10
 invest 2
 investigate 4
 invoke 10
 involve 1
 isolate 7

issue 1
item 2

J

job 4
journal 2
justify 3

L

label 4
labor 1
layer 3
lecture 6
legal 1
legislate 1
levy 10
liberal 5
license 5
likewise 10
link 3
locate 3
logic 5

M

maintain 2
major 1
manipulate 8
manual 9
margin 5
mature 9
maximize 3
mechanism 4
media 7
mediate 9
medical 5
medium 9
mental 5
method 1
migrate 6
military 9
minimal 9
minimize 8
minimum 6
ministry 6
minor 3
mode 7
modify 5
monitor 5
motive 6
mutual 9

N

negate 3
network 5
neutral 6
nevertheless 6

nonetheless 10
norm 9
normal 2
notion 5
notwithstanding 10
nuclear 8

O

objective 5
obtain 2
obvious 4
occupy 4
occur 1
odd 10
offset 8
ongoing 10
option 4
orient 5
outcome 3
output 4
overall 4
overlap 9
overseas 6

P

panel 10
paradigm 7
paragraph 8
parallel 4
parameter 4
participate 2
partner 3
passive 9
perceive 2
percent 1
period 1
persist 10
perspective 5
phase 4
phenomenon 7
philosophy 3
physical 3
plus 8
policy 1
portion 9
pose 10
positive 2
potential 2
practitioner 8
precede 6
precise 5
predict 4
predominant 8
preliminary 9
presume 6
previous 2

primary 2
prime 5
principal 4
principle 1
prior 4
priority 7
proceed 1
process 1
professional 4
prohibit 7
project 4
promote 4
proportion 3
prospect 8
protocol 9
psychology 5
publication 7
publish 3
purchase 2
pursue 5

Q

qualitative 9
quote 7

R

radical 8
random 8
range 2
ratio 5
rational 6
react 3
recover 6
refine 9
regime 4
region 2
register 3
regulate 2
reinforce 8
reject 5
relax 9
release 7
relevant 2
reluctance 10
rely 3
remove 3
require 1
research 1
reside 2
resolve 4
resource 2
respond 1
restore 8
restrain 9
restrict 2
retain 4

reveal 6
 revenue 5
 reverse 7
 revise 8
 revolution 9
 rigid 9
 role 1
 route 9

S

scenario 9
 schedule 8
 scheme 3
 scope 6
 section 1
 sector 1
 secure 2
 seek 2
 select 2
 sequence 3
 series 4
 sex 3
 shift 3
 significant 1
 similar 1
 simulate 7
 site 2
 so called 10
 sole 7
 somewhat 7
 source 1
 specific 1
 specify 3
 sphere 9
 stable 5
 statistic 4
 status 4
 straightforward 10

strategy 2
 stress 4
 structure 1
 style 5
 submit 7
 subordinate 9
 subsequent 4
 subsidy 6
 substitute 5
 successor 7
 sufficient 3
 sum 4
 summary 4
 supplement 9
 survey 2
 survive 7
 suspend 9
 sustain 5
 symbol 5

T

tape 6
 target 5
 task 3
 team 9
 technical 3
 technique 3
 technology 3
 temporary 9
 tense 8
 terminate 8
 text 2
 theme 8
 theory 1
 thereby 8
 thesis 7
 topic 7
 trace 6

tradition 2
 transfer 2
 transform 6
 transit 5
 transmit 7
 transport 6
 trend 5
 trigger 9

U

ultimate 7
 undergo 10
 underlie 6
 undertake 4
 uniform 8
 unify 9
 unique 7
 utilize 6

V

valid 3
 vary 1
 vehicle 8
 version 5
 via 8
 violate 9
 virtual 8
 visible 7
 vision 9
 visual 8
 volume 3
 voluntary 7

W

welfare 5
 whereas 5
 whereby 10
 widespread 8

第7章 パラグラフを読む

1 トピックをつかむ

「トピック」とは、書かれている話題のことです。「何」について書かれているのかを知ることは読書の基本中の基本です。

Today people can easily **test their DNA** by placing a swab of their saliva into a collection kit and sending it to one of the many DNA-testing companies commercially available. The results will arrive in less than two months and the consumers are then able to see their genome profiles and assess their risks of contracting diseases.

However, **genetic testing** can also cause problems. Having too much information can be a bad influence on one's quality of life. Having knowledge of negative results can cause anxiety and depression. And false or incomplete information can lead to unnecessary lifestyle adjustments.

多くの場合、トピックはパラグラフの最初のセンテンスで示されます。第1パラグラフでは、testing of DNA がトピックです。第2パラグラフでも、トピックは引き続き genetic testing (testing DNA の言い換え) です。

2 メイン・アイデアを見つける

メイン・アイデア (main idea) とはトピック (topic) についての主張 (claim¹) です。主張とは、著者がトピックについて述べている内容を指します。つまり、1つのパラグラフには1つのトピックが選ばれ、著者はそのトピックに対して主張を述べます。それぞれのパラグラフにはトピックがあり、トピックについ

1 claim は「クレーム」として日本語化しているが、英語の claim と日本語の「クレーム」は意味が違う。

てのメイン・アイデアがあります。メイン・アイデアはパラグラフの最初に1つのセンテンスにまとめられることもあれば、パラグラフの最後に書かれることもあり、ときには単一のセンテンスでは述べられないこともあります。

Today people can **easily test** their DNA by placing a swab of their saliva into a collection kit and sending it to one of the many DNA-testing companies commercially available. The results will arrive in less than two months and the consumers are then able to see their genome profiles and assess their risks of contracting diseases.

However, genetic testing **can also cause problems**. Having too much information can be a bad influence on one's quality of life. Having knowledge of negative results can cause anxiety and depression. And false or incomplete information can lead to unnecessary lifestyle adjustments.

第1パラグラフでは、DNA testing（トピック）が、普及している（easily test,）と言っています。これがメイン・アイデアです。第2センテンスは、easily test というメイン・アイデアを具体的に説明しています。

第2パラグラフに進むと、トピックは依然 DNA testing ですが、メイン・アイデアが、can also cause problems と、ネガティブに変わります。つまり、第1パラグラフでは、DNA testing を肯定的に述べたのに対し、第2パラグラフでは消極的な意見を述べています。However は、議論の方向性が変わる時のシグナルの役割を果たしています。

There are many different kinds of **news stories**; however, they **generally share several characteristics**. As reporters look for news stories, they look for recent events that are interesting or are important to their readers. They also usually report more local events than events in countries that are far away. Personal stories are popular because readers can relate them to their own lives. This explains the number of stories about famous people. Another important characteristic of a news story is that it is usually negative. Therefore, stories about natural or human disasters appear more frequently than stories about human successes. These characteristics can be

found in most newspaper stories.²

このパラグラフでは、トピックは news stories で、主張は they [news stories] generally share several characteristics です。英文を読む時は、「トピック topic は何か」「主張 claim は何か」を絶えず自分に問いかけながら読んでください。確率として、トピックと主張は、パラグラフの最初のセンテンスに書かれることが多いです。しかし、いつもそうとは限りません。ときには最後のセンテンス（とくにパラグラフが長い場合）にトピックと主張が盛り込まれることもあります。

Places get their names in many different ways. Sometimes they have the names of famous people. Sometimes they have the names of a physical feature. For example, Hillside is a common name for a town near a hill.

Some places have very amusing names—they make people laugh. For example, there is a town in the United States called Boring, Oregon. Another town is called Why, Arizona.

Why do some places have **unusual names**? **Sometimes one person calls a place something, and that becomes its name.** A town in the US state of Tennessee did not have a name. The people made many suggestions for the name, but they couldn't agree on one. Finally, one person said, "I guess our town will remain nameless." This is how Nameless, Tennessee, got its name.³

第1パラグラフのトピックは names of places です。主張は、names of places には、「たくさん方法がある」(many different ways) です。

第2パラグラフのトピックも names of places です。しかし主張は展開し、「名前の由来にはおかしいものもある」(Some places have very amusing names) です。

第3パラグラフでは、トピックが、奇妙な名前 (unusual names) に変わり、主張は、Sometimes one person calls a place something, and that becomes its name. です。後に続くセンテンスは、そのようにして名前がつけられた町の実例です。

² *Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading 2* [Second edition] (New York: Cambridge University Press, 2013), 21.

³ *Making Connections: Skills and Strategies for Academic Reading 1* [Second edition] (New York: Cambridge University Press, 2013), 51.

次の例は、やや複雑です。

Medicine can transform a serious disease from a death sentence to a treatable condition. Yet this medicine often becomes available many years after a disease is discovered. This is because it takes years to carefully develop and test a new drug. Basic research begins in the lab, where scientists search for compounds that will fight the disease but not harm the patient. If a promising compound is found, it is further tested until the scientists believe it is safe to test on human volunteers in a clinical trial. If the drug successfully completes this stage, the developing company applies to the government for permission to market it. Independent scientists review the research and approve the drug, which can now be sold. The total process is time consuming but necessary.

Because of this long and careful process, antiretroviral drugs that treat HIV/AIDS became available years after that disease was discovered.⁴

冒頭のセンテンスを読むと、おそらく medicine がトピックであろうと予測はつきますが、述べていることが一般的すぎて (transform a serious disease from a death sentence to a treatable condition)、トピックに対する主張はまだはっきりとは分かりません。第2センテンスに進むと、medicine の実用化には時間がかかることがあります。第3センテンスも、やはり new drug (medicine が drug に置き換えられている) 開発には時間がかかることが述べられています。つまり、第2・3センテンスは、同じ主張 (= 新薬開発には時間がかかる) を述べていることから、このパラグラフのメイン・アイデアは、新薬開発には時間がかかる、であると理解できます。この例の場合、メイン・アイデアが単一のセンテンスで表現されておらず、第2・第3センテンス合わせて、メイン・アイデアが述べられているのです。第4センテンス以下は、時間がかかる理由 (新薬開発のプロセス) が順を追って説明されています。

メイン・アイデアを特定するには

- ・パラグラフごとに、「トピック」は何か、「主張」は何かを意識しながら読む。
- ・パラグラフの最初のセンテンスに注意する。トピック・センテンスとして、メイン・アイデアが書かれている場合が多い。
- ・とくに長文の場合、トピックは示しても、メイン・アイデアをすぐには明らかにせず、関連情報を最初に述べる傾向がある。関連情報はメ

イン・アイデアではない。

- ・メイン・アイデアはいつも明確に述べられるとは限らない。
- ・次のパラグラフの書き出しに注目せよ。それが前のパラグラフのメイン・アイデアであることもよくある。

3 サポート部はメイン・アイデアを支える

パラグラフには、「トピック」と、それに対して著者が述べたい「主張 (claim)」があることはすでに説明しました。「トピック」と「主張」を合わせて「メイン・アイデア」とよぶことも説明しました。メイン・アイデアで表現されたものは一般にトピック・センテンス (topic sentence) とよばれています。

さらに、パラグラフにはメイン・アイデアに説得性を持たせるためのサポート部分が必要です。サポート部を構成するのは通常、事実、統計、具体例、論理的に妥当な理由などです。

The Gothic architecture of the medieval period is known for its pointed arches and flying buttresses. **One example is the Notre Dame de Paris in France. This 12th Century cathedral is one of France's most famous landmarks.**

最初のセンテンスが、トピック (The Gothic architecture of the medieval period) と主張 (known for its pointed arches and flying buttresses) を含むメイン・アイデアです。第2・第3センテンスは、この建築様式の一例として、the Notre Dame de Paris をあげています。

Wilber and Orville Wright are history's most famous aviation pioneers. In 1903 they made history by powering their heavier-than-air machine off the ground. However, getting their plane into the air was not an easy task. **For one thing, they didn't have a way to turn left or right. History also shows that their father was against their ideas, saying that flying should be reserved for the angels.** The Wright brothers were persistent in their quest for success.

トピックは Wilber and Orville Wright's aviation です。第3センテンス (getting their plane into the air was not an easy task) が、トピックに対する主張、すなわちメイン・アイデアです。この主張に説得性を与えるのは、For one thing 以下で述べられる飛行の技術的困難を説明するくだりです。これがサポート部です。

サポート部で使われる表現

1 サポート部であることを示す

first/second/third/finally
also/in addition/additionally/moreover/furthermore/
one example (or reason, explanation) /another example
to begin/what's more/last but not last

2 例示する

for example/for instance/as an example/in other words/in
that way/parenthetically
such as/including/as an alternative

3 理由・説明

Research shows (or indicates)
because
for this reason
so/as a result
since
therefore
consequently

Research shows that there are various factors that can increase your chance of getting cancer, **{such as/including}** cigarette use, diet and your genes. **{Since/Because}** there are so many factors, it is difficult to pinpoint one exact cause. **{Therefore/For this reason/As a result}**, scientists sometimes disagree about what factors put you at risk for getting cancer. **{For example/For instance}**, it is known that smoking can cause cancer in some people, but many scientists argue about whether or not cell phone use contributes as well, **so** more study is still needed.

最初のセンテンスがメイン・アイデアで、残りのセンテンスはサポート部です。

メイン・アイデアとサポート部で1つのパラグラフが構成されます。これを拡大させると、複数のパラグラフで、メイン・アイデアを受け持つパラグラフと、サポート部を受け持つパラグラフという構成も可能となります。

Around the world, there are hundreds of dams of numerous sizes. Dams are used for irrigation, flood defenses, water supply, and hydroelectric power. **Despite these benefits, there are also many downsides to dams. Dams have a**

negative global impact because they eat up valuable land resources, ruin wildlife habitats, and interfere with endangered species.

Firstly, dams claim swaths of land rich with valuable resources. Dams require large areas of land for the reservoir of water. Man-made lakes are created this way often at the expense of valuable farmland, livable land, and plentiful forests. **As a result**, local populations lose natural resources, and the inhabitants lose income due to a loss of exportable materials.

What's more, dams ruin natural habitats for wildlife. Dam reservoirs hold water and release it slowly through a forced opening. Water lying dormant eventually stagnates due to a lack of movement and becomes low in oxygen supply. Plants that need this oxygen for survival die off. **In addition**, fish that depend on the flow of the river as a form of transportation to spawning areas are not able to move past the reservoir. This disruption affects the ecosystem with dire consequences for the food chain.

Finally, research indicates that endangered species are further threatened by a dam system. Natural systems are often so significantly affected by dams that they are either destroyed or negatively modified. **Consequently**, weeds that flourish in low-oxygenated areas begin to choke up the water system and absorb the remaining valuable resources. **Therefore**, these weeds eventually begin to rot leading to the devastating effects of greenhouse gases.

Today, society is learning of the dangers that come with hydroelectric dams. **As alternatives**, solar and wind power are both green energy sources that have no foreseeable dangers. It is hopeful that these sources can come into use in the future to replace the need for dams.⁵

この例では、メイン・アイデアは第1パラグラフのボールドの部分です。これ

5 Adapted from Testing and Learning Centre, Fanshawe College for Applied Arts & Technology, An Argumentative Essay "The Dangers of Dams." Accessed January 21, 2018. <https://www.fanshawec.ca/sites/default/files/legacy/oldfanshawe/assets/the~learning~centre~~~tlc>

をサポートするのが続く3つのパラグラフです。

4 対比構造を見つける

著者はメイン・アイデアを展開するときに、しばしば対比の手法を用います。二者の違いを明らかにすることによって、メイン・アイデアに説得性を持たせることができます。次の例では、ボールドで示されているように多くの対比が使われています。

Scientists seem to have reached consensus that global warming is a problem. {**However/Yet/Nevertheless**}, there are still people who deny that this problems exists, **despite** the large amount of evidence. **Although** some deniers admit that the weather is changing, some point to rare scientific studies that are {**different from/unlike**} most other studies and can be interpreted to offer evidence against global warming. Most scientists get angry at deniers of global warming, **but** others do not. **On the one hand**, denying global warming can impede important research, but **on the other hand**, it is important to consider issues carefully before making important policy decisions. Scientists who sympathize with global warming deniers often try to understand the concerns of common people. **In contrast**, unsympathetic scientists think that common people should simply trust them. Sympathetic scientists do not take this stance. **Instead**, they often meet with the public in their everyday lives and try to discuss issues and policy. Unsympathetic scientists do not. **Rather**, they try to convince the public of their ideas through appearances on TV shows or radio programs. Some politicians think such appearances do not help their argument. **On the contrary**, these politicians believe that when scientists appear on TV shows or radio programs, the scientists seem arrogant, and so **for all that** effort, the public end up not believing such scientists anyway because of their attitude.

ボールドの部分、対比を示すシグナルの役割を果たしています。

Horticulture is the science of cultivating fruits, vegetables, and flowers. Edible garden crops make up the main body of

the horticultural world. **However**, there is another world of horticulturists who are producing ornamental and decorative plants. **Unlike** the science of edible horticulture, ornamental horticulture is more of an art. **Despite** their dissimilarities, both types of horticulture utilize similar propagation techniques.

対比を示す表現

but
however
instead
rather
although/though
in contrast
on the contrary
different from
unlike
yet
for all that
despite
nevertheless
on the one hand/on the other hand

5 原因・結果の関係を見つける

原因 (cause) と結果 (effect/result) を記述することは、学術分野を問わず行われています。

Washing your hands regularly is essential during the cold and flu season. Rubbing your eyes or nose with dirty hands is a major **factor** in the spread of disease. Clean hands can **be attributed to** lower instances of flu outbreaks. **So**, be diligent in your hand-washing habits. It is sure to **result in** a healthier life.

factor, attributed to, So, result in が、因果関係を示します。

Amnesia is a condition **associated with** a loss of memory. Traumatic experiences and brain injury are major **causes of** amnesia, and the condition is often portrayed in movies and books this way. However, alcohol abuse is also a known **factor**

in this condition. Doctors must do many tests and spend a lot of time with the patient ruling out other plausible causes of memory loss. **Therefore**, amnesia is considered a very difficult condition to diagnose.

associated with, causes, factor, Therefore が、因果関係を示す語です。

There are many natural phenomenon that are difficult to explain **because** they **are caused** by many **factors** and don't have one clear {**cause/origin**}. Testing such phenomena can be difficult **since** many small **factors influence** the **outcome** of experiments. For example, scientists cannot pinpoint a single cause of diabetes. Genetics, diet, and exercise all seem to {**be a factor in/be associated with/contribute to/play a part in**} diabetes. Some researchers think that poor diet {**is responsible for/ is to blame for/ gives rise to/ leads to/ results in**} a higher risk of diabetes, but it also occurs in some people {**due to/ thanks to/ a result of/ because of**} a lack of exercise. **Consequently**, we must consider many factors when trying to figure out how to battle this disease. Fortunately, for such phenomena, we can use multi-variable analysis to help us know which factors {**affect/influence/impact/play a part in**} the disease. These analyses **produce** statistical models, which can help researchers to know if a disease occurs **on account of** a particular factor (such as diet or exercise), and if it does, they can also make a guess as to how strong the **effect** is on the disease.

原因や理由を示す語

consequence

factor

origin

reason

to result from

to be responsible for

to be associated with

to be to blame

to play a part in

to attribute to

due to/thanks to/because of /on account of
because/since

結果や影響を示す語

to affect

to bring about

to give rise to

to contribute to

to cause

to lead to

to produce

to result in

consequently

for this reason

so/therefore/thus

as a result

effect

impact

influence

outcome

6 アイデアの継続に留意する

前のセンテンスで書かれたトピックやメイン・アイデアは、そのあとのセンテンスやパラグラフでも引き続いて議論されます (continuing Ideas)。読む際は、1つのトピックやメイン・アイデアがどのように継続されているかに注意することが大切です。

Brushing your teeth with a hard-bristled toothbrush is not good for your teeth. This can damage your teeth and gums.

This は Brushing your teeth with a hard-bristled toothbrush を受けています。

Court was adjourned after only five minutes of testimony because **the witness was uncooperative. This delay** caused the prosecuting attorney to file a complaint.

This delay= the witness was uncooperative

In 2017, Hurricane Maria swept through the Atlantic Ocean and slammed into Puerto Rico wreaking havoc on its population, infrastructure, and economy. **The disaster** shocked the world.

The disaster は、前のセンテンス全体を受けています。

The prime minister wanted to devalue the nation's currency to boost imports and reduce the trade deficit. However, **such a move** would likely end up causing uncertainty in the global markets.

これも前のセンテンスを such a move で受けて、トピックを第2センテンスで継続しています。

トピック、メイン・アイデアを継続する際に使われる語彙

出来事

circumstance

crisis

development

disaster

event

incident

problem

situation

tragedy

行為

achievement

action

behavior

decision

habit

move

practice

response

tendency

人の主張・意見・反応

attitude

belief

claim
complaint
criticism
idea
objection
offer
opinion
reaction
request
statement
view
warning

7 著者の視点

著者は1つのトピックに対して2つ以上の見方・意見を読者に提供することがしばしばです。そのうち、どれが著者の主張する見方・意見であるかを、読む側は見極めなければいけません。

It seems to be a reasonable **assumption** that immunizations have a significant impact on a child's health and therefore parents would be quick to immunize their children. **However**, we would be seriously mistaken if we accepted this assumption. **In fact, the reality is** that millions of parents around the world voluntarily neglect to vaccinate their children out of fear or misinformation.

まず、it seems ... assumption に注目です。これは、社会一般として受け入れられている見方を読者に紹介するときに用いられる表現です。上級者なら、この部分を見ただけで、著者自身の見方はこれとは異なっていて、このあと著者の見方が明らかにされるだろうと予測を立てます。However が重要です。第1センテンスで示した見方に同意していないことが分かります。この第2センテンスがメイン・アイデアです。第3センテンスはメイン・アイデアをサポートします。

8 速く読む

英語を読む際には、読書速度を上げることを意識する必要があります。速く読めると、時間が節約できるだけでなく、理解度も高まります。枝葉末節にとらわれることなく、大局を掴みやすくなるからです。この技術を身につける方法

として、次のことを意識して練習をするといよいでしょう。

8A 重要語に集中する

上級者は英文を読むとき、すべての単語に均等に意識を向けるのではなく、意味的に重要な語だけを見ていきます。品詞で言えば、名詞、動詞、形容詞、副詞です。その他の品詞（冠詞、前置詞、接続詞、代名詞、関係代名詞など）については、主要品詞である名詞、動詞、形容詞、副詞との関連で認識します。

8B メイン・アイデアを特定する

1つのパラグラフには、1つのトピックがあり、そのトピックについて著者は主張を述べます。逆に言うと、読むときはトピックと主張提示されている部分（メイン・アイデア、あるいはトピック・センテンス）を探すことができれば、そのパラグラフを読むあいだは、トピックとメイン・アイデアに意識を向けて読めばいいのです。トピック・センテンスは、たいていはパラグラフの最初に置かれます。

8C 読んでいる箇所をなぞってはいけない

読む速度が遅くなるからです。なぜ遅くなるかという、一語一語読んでしまうからです。指でなぞってはいは邪魔になります。

8D 必要な情報をスキャンする

トピックやメイン・アイデアを中心に読むことのほかに、大学での勉強では、必要な情報（人名、年号、統計データ、定義など）を素早く探し出すというスキルも必要となってきます。これがスキャン（スキニング）のスキルです。例えば、社会学の授業で、poverty line の話題が出てきたら、その基準を押さえなければいけません。そういうときに、テキストブックの該当するページをすばやく目で追って、poverty line の語を探します。

スキニングのスキル

- ・「何」を探したいのかを決める。
- ・キーワードを決めたら、テキストを広く視野に入れる。そしてキーワードを探す。
- ・キーワードを見つけたら、その前後を注意深く読む。

第 8 章

東北大学の英語学習リソース

日本人が英語を習得するのに必要な時間は約 3000 時間とも言われています。本学では一年生に対して、正規の授業として週二コマの英語の授業がカリキュラムに組み込まれています。しかしながら、これだけではまだまだ十分な学習量とは言えません。したがって、大学での英語力向上に向けては、正規の授業以外に、自分自身でどれだけ英語学習に時間をかけたかがものを言います。授業の中でいくら効率的な英語学習法を学んだとしても、やはり最後は「英語学習に王道なし」ということでしょうか。以下では、東北大学で利用できる英語学習のための設備やサービスについて簡単に紹介します。ぜひ積極的に活用してみましょう。

1 附属図書館

1A 附属図書館本館 グローバル学習室 リーダーズコーナー

場所は、図書館 1 号館 2 階です。多くの多読用図書が配架されています。多読 (Extensive Reading) 法とは文字通りたくさんの英語を読むことを言います。しかしながら、手当たり次第に何でも読めばいいというわけではありません。グレイディッド・リーダーズという、学習者のレベルに合わせて何段階かに区分された図書が用意されていますので、自分のレベルにあったものの中から、興味のある内容の図書を読んでいきます。楽しみながら読めるので負担は少ないのですが、多量のインプットにより、英語の知識や流暢さが増し、自分でも知らないうちに英語運用能力の向上が期待できます。なお、グレイディッド・リーダーズには電子ブックで利用できるものもあります。また、音声教材や映像教材も準備されています。

1B 附属図書館工学分館

場所は、附属図書館工学分館 1 階にある Active Learning Square Abelujo 内 Language Studio です。語学自習用のエリアで、資格試験用の参考書を多数揃えています。個室型のパソコンブースが 20 室設置されており、各ブースで

はヘッドセットを使って発音練習もできます。また、グループで討論しながら学習できるスペースも設けられており、様々な形で英語学習に対応可能です。

2 情報教育基盤センター

2A ALC NetAcademy2

ウェブブラウザ経由で利用できる e ラーニング教材です。英語のリスニング力とリーディング力を強化する標準的なコースに加え、TOEIC® テスト対策コース、英単語学習コースやライティング学習コース、英文法学習コースなどの分野別コース、理工系技術、ライフサイエンス、医学の特定分野向けコースなど、全 7 種類の多彩なコースが用意されています。東北大 ID を持ってさえいれば誰でも利用でき、外国語学習用 Web コースウェア・e ラーニングシステム (https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/EL/index_el.html) を通じて行います。また、Secure Reverse Proxy (SRP) 認証経由でログインすることにより、学外から利用することも可能です (SRP 認証経由でログインするためには設定が必要です。詳しくは、https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/SRP/index_SRP.html などを参照してください)。

3 正課外の授業

3A Tohoku University English Academy (TEA)

授業の合間や放課後を利用して、学生が各々の習熟度や目的に合わせて学べる課外英語学習プログラム (TEA's English) や、英語の学習方法を相談できる英語カウンセリング、留学に必要な TOEFL iBT® TEST などの英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's English では、世界的な語学学校 ELS Language Center の指導方法を基に、海外の大学への留学の際に必要な英語の 4 技能の向上を目指したアカデミック英語を学ぶことができます。また、対話中心・プレゼンテーション等のアウトプット重視型授業や小グループのプロジェクトを取り入れた授業では、海外の大学の授業に対応できる Study Skill を身に付けることも可能です。

<http://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/global/tea/>

3B Practical English Course

学部生と大学院生を対象として、実践的英語運用能力をさらに高めることを目的に、土曜日と日曜日に行う課外授業です。英語教育の経験が豊富なネイティブ講師が担当し、ディスカッションやショートプレゼンテーションなど、アウトプット中心の授業を行います。

4 自主学習スペース (川内北キャンパス)

4A マルチメディア教育研究棟 1 階 学習支援センター

学習支援センターでは、先輩学生たちが、Student Learning Advisor (SLA) として、主に学部 1、2 年生（全学教育段階）の学びをサポートしています。リメディアル支援からレベルアップ支援まで幅広い学習サポート活動を行っており、英語学習については、「英会話カフェ」と「1 on 1 英会話」という 2 つのプログラムが提供されています。「英会話カフェ」は複数人参加型で、担当 SLA がその会をコーディネートしています。また「1 on 1 英会話」では、マンツーマン型で利用のニーズに応じた会話練習をすることができます。これらのプログラムは「使える英語」を目指して、主に「英会話」を対象としています。また、「1 on 1 英会話」では、英語ライティングへのアドバイスやスピーチの練習など、個別のニーズにも応えてもらうことができます。

学習支援センター <http://sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp/outline/>

4B マルチメディア教育研究棟 2 階 /3 階 CALL 教室自習開放

授業などで利用されていない時間帯を利用して、CALL 教室が自習用に開放されており、教室内の学習用端末を利用できます。授業の合間を利用して、授業の課題に取り組んだり、上で紹介した NetAcademy2 を使って英語の学習をしたりする場合など、とても便利です。開放されている教室や時間帯については、情報教育基盤センターのホームページ (https://www.dc.tohoku.ac.jp/guide/CALL/index_CALL.html) で確認できます。

5 その他

その他にも、各学部で提供している英語学習プログラムや、外国人留学生が教師となり、その母語（英語に限らず、ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語など多岐に渡る）を学ぶ Global Café や Coffee Hour といった様々なプログラムがあります。ぜひ積極的に情報を集めてみましょう。

第9章

英語 4 技能習得のための学習法

1 リスニング強化法（中級者編）

リスニングの中級者がリスニングに壁を感じる理由は主に2つあります。1つは「音声の速度についていけない」、もう1つは「音声変化についていけない」ということです。この2つをどう克服していけばいいかについて説明します。

1A ディクテーションに取り組む

リスニングでつまづく人にとっての最初の課題は、英語の音そのものが聞き取れないということです。文字で読めばわかることでも、呪文のように何を言っているのか分からないとか、単語の切れ目がさっぱり分からないということはよくあることです。そんな時に必要なのは、短い文を正確に聞き取っていく、ディクテーションという練習法です。ディクテーションとは書き取りのことで、1文聞いたら、それをスクリプトを見ずに書くという練習です。正しく書けたつもりでも、慣れないうちは、よく見ると冠詞が抜けていたり、前置詞が間違っていたりといったことがよくありますが、細部まで正確に書き取ることができるようになれば、リスニングもずいぶんと楽に感じるようになります。何を言っているのか分からなければ、スクリプトを確認してみましょう。例えば「ゲリッ」と書いてからスクリプトを確認してみると、そこには“get it”と書いてあるはずで、そこで、“get it”は「ゲットイット」と発音しないことがわかります。ディクテーションした文を書くだけでなく、何度も発音し練習することでスピーキング力も身につけることができます。

1B 速読とシャドーイングの重要性

個々の音はある程度理解できるようになったけれど、次から次に流れてくる音声についていけなくなるということがあると思います。これを克服するためには読解速度を上げるのが有効です。音声を聞かない練習と思われるかもしれませんが、そもそも読んで理解できる速度を超えたものは聞いても理解できるわ

けがないのです。したがって黙読して理解できる速度を上げることが先決といえます。これに関してはリーディングの学習で速読の練習をすればよいのですが、それと並行して取り組む必要があるのが、シャドーイングという練習法です。シャドーイングとは、聞こえてくる音声よりも少し遅れて影のように声を出して追っていく練習法で、文法の理解が少しでも伴っていなかったり、見慣れない英単語が出てきたりすると、すぐに音声についていけなくなるはずです。したがって、自分の苦手な部分が簡単にわかります。最初はスクリプトを見ながら音声についていっていきましょう。慣れてきたら、スクリプトを見ずにシャドーイングをしてみてください。慣れるには10回以上繰り返さないと難しいかもしれませんが、何度も繰り返し行うほど効果が出てきます。使用する教材は、あまり難易度の高くないものがおすすです。意味のわからないものをいくら読んでも効果が薄いことは様々な研究で明らかになっています。また、洋画のように口語表現が多く使われていたり音声が速すぎたりするものは、シャドーイングには向きません。まずはNHKの初級・中級レベルの英会話教材や、センター試験のリスニングレベルの教材を使って、取り組んでみましょう。そして、2、3回でスクリプトを見ずにすらすらとシャドーイングできるようになったら、もう少し高いレベルのものに挑戦してください。

2 リスニング勉強法（上級者編）

2A 本場の音声に慣れよう

上級者に関しては、とにかく数をこなすこと、そして聞く素材のバリエーションを増やすことを目指しましょう。センター試験や英検、TOEICなどのテストのリスニングは、あくまでテスト用に作られた素材に過ぎません。実際、TEDや洋画、CNNをはじめとする英語のニュース番組を聞くと、これらのリスニングテストよりも音声の速いことが分かるはずです。また、ニュース番組などでは、モゴモゴと口ごもりながら早口でしゃべったり、話している最中に別の人が割りこんできたりと、テストのように明瞭に聞こえるわけではありません。「テストで点を取るのはもちろんだが、実際に通用するリスニング力も身につけたい!」と考えている上級者の皆さんは、ぜひこのようなレベルに挑戦してみてください。

2B 海外のニュースサイトを活用しよう

上級者向けの効果的なリスニング練習方法として、シャドーイングやディクテーションが挙げられます。海外のニュースサイトにアクセスすれば音源は比較的容易に見つかりますが、スクリプトがない場合がほとんどです。スクリプ

トがないとどうしてもわかったつもりになってしまうため、時間をかけたわりには実力アップにつながらないといった可能性も考えられます。下記で紹介するサイトにはスクリプトがついていますので、活用してみてください。

Scientific American

主に理系の内容です。Podcast のタグから音声とスクリプトが得られます。
<https://www.scientificamerican.com/>

PBS News Hour

一部の記事にスクリプトがついています。
<http://www.pbs.org/newshour/>

CNN Student

ネイティブの学生向けです。語彙レベルがそれほど高くないので、上記のものに比べると簡単です。
<http://edition.cnn.com/studentnews>

ABC ニュースシャワー (NHK ニュース Web)

海外のニュースを取り上げる 5 分間の番組です。ABC のニュースをキーワードとともにピックアップして解説します。1 分程度のニュースを、1 英語字幕付き 2 日本語字幕付き 3 字幕なし 4 英語字幕付き…と嫌になるほど聞かせてくれます。これだけ段階を踏むと、4 回目に聞くときにはものすごく聞きやすくなっているはずです。
<http://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/abc/>

CBS News

画面右下にある「CC」ボタンを押すと英語字幕の設定ボックスが出てきて、文字の大きさや背景の色を変更できます（好みの設定にした後は設定ボックス右上の「x」をクリックすればボックスは消せます）。生放送ではなく録画されたものなので、キャスターの喋りと字幕に大きなズレがないのも助かるポイントです。

<https://www.cbsnews.com/video/>

ABC News

CBS より動画の数が多く、アメリカ国内の天気予報といったトピックもあります。CC ボタンを押し、字幕を ON にして、Apply を選択すると字幕を表示できます。Show Advanced Settings で字幕の色や背景の色、文字のサイズなどを変更することもできます。

<http://abcnews.go.com/video>

上記で紹介した番組は、TOEIC で扱う語彙が多く出てくるため、TOEIC のスコアアップにもつながります。このようなニュース動画に毎日 15 分ほど取り組みながら TOEIC の素材を加えていくと、まとまった英語をまとまった時間聞く習慣が形成されていきます。いきなり 45 分の英語を毎日聞こうとすると大変なので、ここから始めてみるといいのではないかと思います。

リスニング勉強に役立つアプリ

通学時間などスキマ時間にアプリを使ってリスニング力を伸ばすのも有効です。Listening Hackerは「音声変化」に特化したアプリです。英語の音が聞き取れないという人、英語が呪文のように聞こえてしまう人にはマストのアプリでしょう。英語の6つの音声変化について、素早く学ぶことができます。リスニングのはじめの一歩、「英語の音」自体を聞き取ることを集中的に練習できます。

価格：無料

URL: <http://thebridge.jp/2015/06/listening-hacker>

NHK英語語学講座

▼英語：ラジオ番組ストーリーミング

NHKのラジオ第2で放送中の語学講座 20番組を最初から最後までまるごと聞くことができます。翌週の月曜日から1週間聞くことができ、放送を聞きながらキーフレーズと解説を確認することも可能です。

▼英語：単語マスター

英単語をクイズ形式で学習できる。

▼英語：発音練習くん

NHKの語学番組内で放送された最新のキーフレーズを発音練習できる。お手本の音声をまねて発音すると会話の続きが返ってくる。

価格：無料 URL: <https://www2.nhk.or.jp/gogaku/app/>

2C 洋画視聴も場合によっては効果的

上級者の人は、洋画のDVDを活用してリスニング力を上げる方法もあります。DVDを視聴する際は、パソコンを使うのがおすすめです。聞き取れなかったフレーズがあった場合には、Google 検索やオンライン辞書などを使ってすぐに調べることができるからです。ただし洋画を視聴する際は、テーマをよく吟味したほうがよいでしょう。例えば戦争ものやアクションものの多くは、スラングが多かったり極端に早口だったりするため、リスニング試験に役立てるのが難しいからです。おすすめなのは、ディズニーなどのように訛りやスラングが少ないもの。また海外ドラマであれば日常会話が豊富に含まれているのが適しています。いずれにしても、このようなものは勉強とは考えずに取り組むこ

とが大切なので、自分が楽しく続けられることが大切です。

3 リーディング強化法

3A リーディングとリスニングの共通点

英語を読むには文法や語彙についての知識を必要とします。文法や語彙というのは言語を構成する基本要素です。「英文を聞いた時に理解できない」といった問題や「英語だと言いたいことが出てこない」というのは語彙力などの基礎能力が追いついていないことが原因になっていることがよくあります。目で見て読もうとしても理解できない人は、同じ言葉を耳から聞いて理解できることはないでしょう。逆に言えば会話においては相手の言葉を理解するための文法や語彙の知識が必要で、意味が分からない英文をひたすら聴き続けたとしても、ある日突然意味が分かるということはありません。4 技能を高めるためには、リーディングの訓練により文法や語彙を鍛える必要があるのです。

リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングというのは各それぞれが重要でお互いに密接に関係しています。その中でも特にリーディングを極めていけばリスニング能力は向上するのか？という疑問をよく聞きます。これには諸説あり、リーディングの学習が英語を聞く力にも大きく影響するというのが一般的な見解です。ただ一説には、リーディングとリスニングはそれぞれ違う語彙リストを脳内に持っており相互性が無いためリーディングのスキルはリスニングに影響しないという見解も存在します。しかし、多くの検証や実体験などがリーディングの学習がリスニング能力に対しても効果的であることを証明しています。目で読む英語と耳から入ってくる英語ではかなりの違いがあると言われています。また、リスニングというのは相手の話す速度を自分で自由に調節することはできませんし、聞き逃したからと言ってリーディングのように読み返すことはできません。そういった点で、より迅速で瞬間的な英語の理解力を必要とされ同じ内容を認識する場合にもリーディングよりも難易度が高くなります。リーディングでは文法理解を深め英文に素早く反応できる反射神経を養うことで、リスニングをする際にも英文を理解する大きな助けとなり英語が非常に聴きやすくなるでしょう。もちろん英語を耳で聞いて理解するには英語の音を知る必要がありますし、更にある程度その音に慣れないことには満足に理解することは難しいでしょう。ですから、リーディングとリスニングの訓練を組み合わせる必要があります。また、音読やシャドーイング、リピーティングと言った訓練も取り入れることにより英語の音声が定着しリスニング能力の向上が見込めます。ひいては、リーディング力の向上も期待できると言えるでしょう。

3B リーディング学習を継続する秘訣

リーディングの学習を継続していくためには、学習者自身が楽しいと感じることが必要です。そのためには「如何にして英文の読解能力を高めるか」「どれだけ自分のレベルに合った素材を選ぶか」という2点が非常に重要になります。英語に慣れるためだと言って、読んでも意味の分からない文章をひたすら努力して読み続けようとしても続くはずがありません。意味が解らなければどんな文章もつまらなく感じるでしょうし、とても読む気にはなれません。英語学習はひたすら努力や苦労を積み重ねるような苦しいものではありません。読んでいる文章を難しく感じたら一度思い切って一旦止めて、少しだけ文法や英文解釈の勉強をする時間をとってみましょう。「読めない」「聞けない」文章にひたすら触れ続けて意欲を失うくらいなら、その時間と労力を文法知識の学習にあてて早い段階で徹底的に読解能力を付けてしまうというのも手です。そうすることで、学習の段階に合わせた教材を選ぶことで英文を理解できたという達成感を感じる事ができ、実際に英文の内容を情報として取り入れることもできます。学習に使う素材の内容が自身の興味を引くものであれば、それは英語の学習だけにとどまらず様々な情報や楽しさを与えてくれます。

3C リーディングを高める学習法（精読・速読・多読）

では、どのようにしてリーディング力を高めればよいのでしょうか。現在は膨大な種類の学習教材が存在しており、英語学習者にとってはとても理想的な時代です。以前と比較すると、学習者が選べる教材の選択肢は増え、情報も格段に収集しやすくなりました。そんな時代ですから学習をする前に学習方法についての知識を付け効率のよい学習方法や教材を選択することで英語力向上を加速させることができます。

ここでは「多読」「速読」「精読」という3つの代表的な学習法について簡単に説明していきます。同じ英文を読むという行為でも、それぞれの目的、考え方、方法などにより全く違った効果が期待できます。これらは、それぞれ微妙に違う能力が求められますが、これを理解しないまま闇雲に学習することは結果を得るためには遠回りになってしまいます。

3D 多読で読み飛ばす力と語彙力の強化

多読はその名の通り出来る限り多くの英文を読むことを目的とします。その際に重要となるのが「知らない単語は読み飛ばして辞書を使わない」という事と「分からない箇所の意味を推測しながら読む」ということです。英文を読んでいると必ず知らない単語や表現に突き当たるとはいますが、多読の段階では単

語を読み飛ばすことこそが一番重要なのです。知らない単語が一切出てこないのであれば少し文章の難易度を上げるべきでしょう。なぜならば、多読はわからない箇所を飛ばして文全体や前後関係から意味を推測する能力を付けるのが1つの目的だからです。この能力が実際の会話やリスニングの際にも生きてきます。多読にはもう1つの効果があり、それは語彙力の向上です。多くの文章に触れることによりうる覚えだった単語への接触回数が増えて定着を促進したり、知らない単語を推測しながら読むことで脳内に語彙リストが構築されていきます。

3E 精読で英語を読む基礎体力をつけよう

精読は、すべての文をしっかりと解釈し、英文の意味を完全に理解することを目的として読み進める方法です。これにより読めなかった文章を読めるようになり、英文を見た際により早く確実に処理をできるようになります。実践する際には、文法の知識を付け、文の構造を把握するのはもちろんのこと、できるだけ発音やアクセントまで確認するようにしましょう。ゆっくりでも読むことが出来ない文章を速く読もうと頑張っても、残念ながらそれは不可能です。まずは英文解釈の知識を身に付け着実に読める文章を増やしていきましょう。その上で自分の読解能力に応じた素材で速読や多読へと進んでください。下地ができない状態で他のトレーニングを積んでも成長はできません。

3F 速読は実用的な「英語を読む」スキル

速読はできるだけ速く英文を理解することを目的とした読み方です。また、長い文章の場合には、重要な箇所とそうでない部分を区別して読み進めることも含みます。精読と比べて、より実用性の高い読み方であり、速読の訓練によって英語への苦手意識を払拭し英文を読むことの爽快感を感じることが出来ます。ある程度の能力を身に付ければ、海外のWebサイトなど非常に有用な情報を読むことができるので、モチベーションを高め、英語に対してポジティブに接することが出来るようになります。速読をとおし、獲得した英文解釈の知識を定着させ瞬間的に取り出せるようにし英語を読むことに慣れていく訓練をしてみましょう。

(1) 速読では、解らなくても読み返さない

速読は文章の構造を素早く理解するための読み方ですから分からない単語や表現が出てきても読み返すのではなく、とにかく先に進んでその文章を読み終えるということが重要になります。

(2) 速読では、文章を口に出して読まない

リーディングに慣れていない人に多く見られる行動ですが、読みながら口に出すというのは文字を認識する過程で無駄が生じます。声を出すだけでなく、口を動かしたり、頭の中で音を再生しながら読むこともやめましょう。

(3) 速読では、きちんと読み過ぎない

速読は精読と違い、全ての文章を100%理解することは目的ではありません。もちろん速く読みながらも理解度はより高いほうが望ましいですが、もっと重要なことは重要な箇所を識別しながら緩急をつけて読むことです。重要な箇所はじっくりと、そうでない箇所はサラサラと読んでいきます。

4 スピーキング力を上げる効果的な方法**4A 「伝えたい気持ち」になること**

スピーキングの力を伸ばすには、まず「伝えたい気持ち」を持つことが大切です。これさえあれば、つたない英語でも何とか相手に通じるし、臆病になって口を閉ざしてしまうこともないはずです。「どうせ通じないから」、「英語で話すのは大変だから」と黙っていては、いつまでたっても外国人とコミュニケーションがとれません。とにかく、話してみることが大切です。その際、英語らしい発音に気をつけることは重要ですが、最初はあまり神経質にならないことです。f や v は唇を噛んで、th の発音は舌を歯のあいだに挟んで、r を発音するときは舌を巻き上げて・・・など、知識として分かってはいても、実際にできるようになるには練習が必要です。そうした知識を頭の隅に置きつつ、まずはどんどん話してみましょう。そして、いざ英語で話してみるぞと身構えても、話題がなくては話せないということもあるでしょう。英語を話せるようになるためにも、日頃から質問をたくさん持つようにしてください。また、相手に聞き取ってもらえない場合、声が小さいことが原因となっていることが往々にしてあります。自信がないと、つい小声になってしまいがちですが、そんなことで会話につまずくのはもったいないことです。大きな声で、身振りを交えて話してみましょう。

4B スピーキング力を上げる方法

スピーキング力を高める際に、特に重要なのは以下の2つです。

- ・正しい英語表現、言い回しを覚える。
- ・実際の会話に応用し使い慣れる（体で覚える）。

よく、「文法なんて気にしなくていいので、たくさんしゃべりなさい」と言う人がいます。たしかに、ある意味では間違いではありません。ただし、間違った表現で慣れてしまうと、なかなか癖が抜けなくなってしまいます。スピーキングで重要なのは、英語の様々な表現を口に染み込ませて、それを使い慣れることです。せっかくしゃべることに慣れたのに、間違った表現で慣れてしまったら、修正するのに再度努力が必要になり、二度手間になってしまいます。頭で間違いだと分かっている事は簡単に修正出来ますが、体で覚えてしまったものは修正が難しいのです。そのため、スピーキングを上達させるには、正しい表現を覚えた上で、体（口）に英語を覚えさせる必要があります。

4C 英単語がパッと出てくる「瞬発力」が必要

「すでに十分な語彙力があるにもかかわらず、必要なときにパッと英単語が出てこない。」と思っている人は多いのではないのでしょうか。ここで言う「十分な語彙力」とは、日常会話を支障なく話すために十分な語彙力という意味です。まず、皆さんは既に「十分な語彙力」を持っているということを確認してください。中学3年間で1,000単語から1,300単語を学習すると言われていますが、実は1,000単語知っていれば、日常会話の80%はカバーできると言われています。

そして、重要になるのは「瞬発力」です。必要な時に言いたい単語がすぐに出てこないために、話が续かず、苦勞している人も多いと思います。考えている間に何も言えず、話が終わってしまうことが多々あるかと思ひます。実はこの問題については、発想の転換をすることで、すぐに解決できます。思ひ出そうとするのではなく、知っている単語の中で作り出す瞬発力が必要なのです。思ひ出そうとすると、どうしても時間がかかってしまいます。したがって、昔覚えた記憶はあるけど、なかなか出てこない単語を思ひ出そうとせず、即座に話せる単語を組み合わせて、伝えたいことを表現すればいいのです。そして、それでも表現できなかった場合には、ジェスチャーの力も借りて、なんとか伝えてみましょう。とにかく会話を途切れさせないことが大切です。

日本人的な正確さへのこだわりが邪魔をする？

日本人はその氣質の影響からか、英会話に対してもできるだけ正確に話そうとする人が多いと言われています。文法やリーディングを重視してきた受験英語の影響もあるかもしれません。ここで言う正確さとは、正しい発音で言う、正しい文法で表現しよう、正しい単語で伝えよう、という学校で習ったように正しい表現を使うということです。

そういう正確さへのこだわりを捨てて、カタコトでもいいからまず伝えてみるのが大切です。通じなければ、別の言い方に変えてみればいいだけの話です。とにかく会話を途切れさせないことが重要です。

5 ライティング向上の効果的な方法

「習うより慣れる」は言語習得の基本です。最低限のポイントを理解したら、毎日必ず一定量をアウトプットしましょう。焦らずコツコツとやっていくのがおすすめです。そして文章は書きっぱなしではなく、レビューすることを心がけましょう。とはいえ、書くだけでいっぱい疲れてしまうという日もあります。そこで、おすすめなのは、SNSです。ツイッター、フェイスブック、インスタなどを英語やバイリンガルで書くことも効果的です。バイリンガルで書くと、外国人で日本語を学習している人が読んで直してくれることもあります。

書く練習は、話す練習と重なる部分が多くあります。「4 スピーキング力を上げる効果的な方法」をもう一度読んで、英語を書くことを日常生活に組み込んでみてください。

言語の習得は、最終的に、継続的にアウトプットをしていくしか上達手段はありません。しかも一定のレベルになっている方は感じていると思いますが、ひとつの勉強法がすべての人に適しているわけではなく、人によって最適な方法も違うと思います。ただし、英語の文法は英語で学ぶことが効果的だと思います。英語のルールを別の言語のルールで学ぶことは複数のルールが混在し複雑になります。それよりも英語だけで学んだほうがダイレクトです。英文法が曖昧という方は、一度学んでいる英文法を英語で復習してからライティングの勉強に入りましょう。

第10章

各種英語試験の特徴

1 CEFR について

CEFR (Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment) とは、語学シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集、外国語運用能力の評価のための指標です。20年以上にわたる研究を経て策定されており、透明性が高く、分かりやすく、包括的な基盤を提供するものとして、欧州内外で使われています。CEFR は、以下のように、A1 から C2 までの 6 レベルに分けられています。

熟練した言語使用者 C2

聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。

熟練した言語使用者 C1

いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。

自立した言語使用者 B2

自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。

自立した言語使用者 B1

仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいたときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的な関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。

基礎段階の言語使用者 A2

ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。

基礎段階の言語使用者 A1

具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解

し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問したり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話してくれて、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

(出典) ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構

2 Cambridge English

国際標準規格の CEFR に完全準拠した試験です。

3 実用英語技能検定

英検は社会で通用する英語、実用英語をはかる検定試験です。英語の4技能のバランスを重視し、時代の動きに合わせて厳選された質の高い問題を出題しています。また、学習段階に応じて、日常会話から教養を深める社会的な題材まで幅広い話題を対象とし、試験としてだけでなく、受験者が親しみをもちながら知識を深められるように工夫されています。

4 GTEC CBT

高校卒業後の進路選択の拡大や、「大学の一般入試でも、高い英語力を測定したい」という大学からの要望を受けて作られた4技能が多角的に測定できる英語力テストです。コンピュータを利用して受験できます。

5 IELTS

イギリス、オーストラリア、カナダなどへ海外移住申請する人に最適なテストで、4技能をバランスよく配した試験です。日本ではまだ認知度が低いですが、ニュージーランドやアメリカのアイビーリーグを含む3,000以上の機関で採用されています。日本国内では、公益財団法人英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルが共同で運営を行っています。

6 TEAP

上智大学と公益財団法人英語検定協会が、共同で開発したテストです。日本における「大学教育レベルに相応しい英語力」を測るうえで適切な設計となつて

おり、テスト内容はすべて大学教育で遭遇する場面を考慮して作成されています。

7 TOEFL iBT

英語をどれだけ「知っている」かではなく、「使える」かに焦点をあて、より実生活に即したコミュニケーション能力を測定するテストです。テストセンターは日本では 100 か所あり、コンピューターを利用して受験します。

8 TOEIC L&R/S&W

TOEIC L&R は身近な内容からビジネスまで幅広くどれだけ英語でコミュニケーションできるかということを評価します。和文英訳や英文和訳の設問はなく、「要点が分かる」「推測できる」といった能力に加え、言語運用能力の基礎をなす文法、語彙、音声識別能力などをより幅広く測定します。また、その国独自の文化的背景や言い回しを知らなければ解答できないような問題は排除されているので、「世界共通の基準」として活用することができます。現在では Speaking & Writing の 2 技能追加受験も可能で、英語コミュニケーション能力を総合的に評価できる、世界共通テストとして、世界 160 カ国、年間 700 万人が受験しています。

	Cambridge English	英検	GTEC	GTEC CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R TOEIC S&W
C2	CPE (200+)				8.5 9.0				
C1	CAE (180~199)	1 級 (2630~ 3400)		1370 1400	7.0 8.0	400	800	95 120	1305-1390 L&R 945~ S&W 360~
B2	FCE (160~179)	準 1 級 (2304~ 3000)	1190 1280	1160 1369	5.5 6.5	334 399	600 795	72 94	1095-1300 L&R 785~ S&W 310~
B1	PET (140~159)	2 級 (1980~ 2600)	960 1189	880 1159	4.0 5.0	226 333	420 595	42 71	790-1090 L&R 550~ S&W 240~
A2	KET (120~139)	準 2 級 (1728~ 2400)	690 959	510 879	 3.0	150 225	235 415		385-785 L&R 225~ S&W 160~
A1		3 級-5 級 (419-2200)	-689	-509	2.0				200-380 L&R 120~ S&W 80~

資格・検定試験 CEFR との対照表

第 11 章

海外留学を目指そう

皆さんは海外留学に対してどのようなイメージを持っているでしょうか。この章では東北大学に在学している間に海外留学をする理由、そして海外留学時の心得について端的に紹介します。(東北大学グローバルラーニングセンターホームページには更に詳しく海外留学についての紹介、説明があります。

1 海外留学をする 3 つの意義

1A 自己修養

日本では通用する考えや行動が、海外でそのまま受け入れられるかということではありません。挨拶ひとつをとっても、しっかりと目を見て力強く握手をすることが社会人としてのマナーだと捉える国や文化も存在します。海外に住み、様々な人と交流し、それぞれ独自の意見を持ち、違った考えを交換することで私たちは大きく成長します。寮のルームメートやホスト家族から学ぶことも多いことでしょう。心地の良い日本での暮らしから離れ、多様な人種・宗教・習慣・文化・言語などに触れることで私たちの視野は大いに広がります。新しい環境は私たちにインスピレーションと創造性を与えてくれます。また、国内から出ることによって世界規模のグローバル化や、価値観の多様化に伴った社会の変化スピードを直に感じることもできます。これからの世の中では不確定な物事に囲まれる中でも新しいことに挑戦する姿勢が求められます。留学は新しいことにチャレンジする力、失敗を乗り越えられる精神的なタフネスさ、そして自分に対する自信を身につける最高の舞台と言えます。さらに、朝起きてから寝るまで、常に異なる言語・文化の中で生活していくことで、問題解決能力と実践的なコミュニケーション能力の育成が可能となります。スーパーでの買い物や、バスケットボールの試合、カフェテリアでの食事といったあらゆる場面でコミュニケーション能力と行動力が試され、柔軟な考え方が要求されます。周りの状況や他人を考慮しながら、自己を極限まで高めていく、それが海外留学です。

1B 人間関係

海外の大学に留学することで、従来の日本での友達に加えて、海外でも人的ネットワークが広がります。これは実際に海外に留学して、そこに住んだ者だけに与えられる特権です。個人的な繋がりを持つ内輪の友達だけではなく、留学先の先生や研究者の方々、しいては地域の人々と幅広い交流ができるようになります。プライベートや学業、そして将来の仕事においても、それらのネットワークは大切な財産になりますし、総合的に私たちの人生をきっと豊かにしてくれます。また、それらの繋がりが共同研究や仕事上のパートナーのきっかけとなることも多々あります。この繋がりは留学先の現地の方々だけにとどまらず、同じ留学という経験を共にした他の日本人や他の国からの留学生にも広がります。貴重な経験と時間を共有し合った「同胞」との交流は生涯続くことでしょう。また、海外の大学に留学して仲間達と学んでいく中で、考えていること、感じていることを自分の言葉で相手に伝える術が徐々に身についていきます。人との対話を通じて自国のこと、自分の属する文化、いわゆる自文化を新たな観点から見直し、再認識し、その過程でアイデンティティを再構築することができます。さらに海外留学中には、日本のアンバサダーとしてかけがえない人間関係を築くこともできます。2011年3月に起きた東日本大震災の際、世界中が東北のことを祈り、日本を支援してくれました。東北大学の一員として感謝の気持ちを持ち、日本や東北の復興の様子を伝える力を身につけ、世界の人々に日本を理解してもらう機会を提供できます。たくさんの有意義な人間関係を構築し、草の根レベルで日本を海外の人々にアピールできる、それが海外留学です。

1C 将来のキャリア

海外留学を通して類い稀な知識と経験を蓄えることによって、私たちは多くの新しいプラットフォームを手に入れることができます。人口1億人の日本にとどまり日本人と日本語を話すだけでは様々な面で限界や制限があるかもしれません。英語を通して世界70億人分の情報や知識に触れることは無限大の可能性を秘めています。世界に存在する98%のまだ見ぬ人々との出会い、世界中で起きている出来事、自分の可能性に気付かないまま過ぎてしまうのはもったいないことです。海外に一度足を踏み出してみることで、その後の生き方やキャリアが変わります。専門領域を超え、国を超えて世界を舞台に活躍するようになるかもしれません。また、卒業後日本で働くという場合でも、世界との繋がりが海外の出来事を意識して生活することで、あなたの仕事やプライベートの時間は確実に豊かになります。社会の変化やニーズに対応すべく、日本政府、官公庁はもちろんのこと、産業界からもなるべく若いうちに海外経験を積んでもらいたいという声が高まってきています。そうした背景の後押しもあり、

海外留学を目指す学生のサポートは昨今充実しつつあります。大学への競争的資金や助成制度、直接学生に対する資金面、制度面でのサポートも増えており、皆さんはそうしたバックアップを享受することができます。東北大学でも独自の奨学金制度を設け、優秀な学生への資金面でのサポートや留学アドバイジングなどの幅広い支援を行っています。将来の新たなドアを開ききっかけ、それが海外留学です。

2 海外留学の3つの心得

2A 留学目的

留学を考える、そのスタートは「海外でこれまでに経験したことのない経験をしてみたい」という軽い気持ちが理由でももちろん構いません。しかし、その留学体験を活かしてあなたが最大限に成長するためには、それだけでは足りません。そこで重要になるのは「そのプログラムに参加することで自分は何を達成したいのか」「そのために留学前にどんな準備をしておき、現地では何ができるようになりたいのか」という目的意識です。「何を達成するか」を留学準備段階から明確にすることで「そのために今自分がすべきことは何か」が見えてくるでしょう。例えば、長期目標と短期目標の両面から留学目的を具現化することができます。「この大学のこの先生の下で数学に関する知識と研究手法を学び、将来は海外の大学院に進学したい」といった長期目標を立てることもできます。「最初の3ヶ月でできる限り友達を作り、英語に毎日触れ、英語が簡単に聞き取ることができるようにする」といった短期目標を掲げることもできるでしょう。自分の目標、専門分野、環境や興味によって独自の留学目的を決定し、将来の自分像を鮮明にしながら留学に臨みましょう。

2B 情報収集

留学を考え始めたら、とにかく様々な情報を収集してください。例えば、東北大学グローバルラーニングセンターからは留学関連の最新情報が常に発信されています。そこで報告会・説明会や語学試験、アドバイジング等の留学に関する情報を定期的に収集し、関連イベントにも積極的に足を運んでみましょう。また留学先の国や学校について、授業のことだけではなく文化や歴史、生活様式等も含めて書籍やwebサイト等で自ら積極的に情報収集することも重要です。そして、言うまでもなく、留学する際には語学レベルの向上は必須です。留学を成功させるためには大学の授業やワークショップに参加できるレベルの語学力が不可欠です。ただし、留学を考え始めた当初からそのレベルの語学力を獲得している人は多くありません。まずは自分の語学力を把握し、そこから目標を定めて学習していくことが重要です。また現段階の能力にふさわし

い留学方法やプログラムを検討することも大切となるでしょう。目標とするスコアの獲得のために東北大学グローバルラーニングセンターの語学試験や学習サポートを利用し、必要な語学力獲得を目指しましょう。また、海外留学の実現には十分な資金も必要となってきます。参加するプログラム、留学先、留学期間によって大きく異なってきますので、保護者の方とも相談のうえ、早い段階で必要な費用を調べ、準備しておきましょう。東北大学では個人の費用負担を軽減するため、多くの奨学金制度を設けています。それらをホームページ等でしっかり調べて積極的に活用しましょう。

2C キャリア・プランニング

あなたは海外留学と将来のキャリアを同一線上に描くことができますか？ 将来のキャリアに留学経験を結び付けたいと考える人は少なくありませんが、それを実践するのはそれほど簡単なことではありません。現実的には、留学はあくまでもグローバルキャリアにおいてのスタートラインでしかないということを認識しておく必要があるかもしれません。しかし、その経験による人生観や職業観、世界観や価値観の拡大といった「成長体験」を持つことはどのフィールドで活躍する際にも大きな強みになります。留学は学びの場であると同時に、将来様々な場面で活躍するために自分のキャパシティを広げ、進むべき道を見出すための一歩でもあるのです。東北大学ではグローバルキャリアセミナーなど、グローバルな視野を持ち国内外の第一線で活躍する方々や、グローバルに事業を展開している企業・組織の方々をお招きし、「グローバルキャリア」について考えるイベントも行っています。海外留学とキャリアプランニングの融合を実践するため、ぜひそれらのイベントに参加してみましょう。

(以上、東北大学グローバルラーニングセンターホームページを参照して執筆した)

東北大学生のための主な海外留学プログラム

(以下、東北大学グローバルラーニングセンターホームページから抜粋)

① 海外研修(スタディアブロードプログラム / SAP)

海外に行くのが初めての人、長期留学をためらっている人、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身に付けておきたい人、専門分野を海外で学びたい人などのさまざまな要望に応えるプログラムです。内容はプログラムによって異なりますが、現地学生や留学生との交流なども盛り込まれています。夏と春の長期休業期間を利用した短期間の研修のため、授業への影響や留年の心配がありません。留学先:アメリカ、カナダ、イギリス、ベトナム、インドネシア、マレーシア、オーストラリア、ニュージーランドなど。期間:2～5週間(夏・春)

*授業料等のプログラム費(参加学生1人につき平均20万円程度)は、東北大学が負担しますが、渡航費や生活費は参加学生が負担します。参加学生には6～8万円の奨学金が支給されます。

②海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休業期間中に実施する2週間程度以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせたものです。プログラム参加を通して、海外での経験や知識を深めると同時に、計画力、情報収集力、行動力を身につけることを目指します。

留学先: 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学
期間: 2週間程度以上

③ファカルティレッド (FL) プログラム

プログラム担当教員が設定した体験学習やフィールドワーク、特色ある英語や現地語講座等に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに、現地学生やコミュニティメンバーとの交流、寮生活など、日本では得られない貴重な体験を通じて、国際的な視野を育むことを目指します。

留学先: アメリカ、カナダ、スペイン、ドイツ、ロシア、オーストラリア等
期間: 2週間程度

④ショートプログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休業期間中に実施する短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものを指します。

留学先: 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学
期間: 1～8週間程度

⑤交換留学

東北大学と学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期または1年間留学する制度です。東北大生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生と共に専門教育を学びます。

留学先: 大学間学術交流協定校
期間: 1学期～1年間

*1年間の総費用は約100万円から300万円程度です。これらは渡航費、生活費、保険料の諸経費等で、東北大学の年間授業料は含まれていません。文部科学省や民間企業が主催する奨学金が近年増えてきているので早めの申請準備をお勧めします。

第 12 章

メディアを利用した英語学習

この章では、おそらく皆さんにとってもっとも身近な存在である「インターネット」と「テレビ、ラジオ」を介して利用できるリソースを紹介します。

1 インターネット上のリソース

1A TED (Technology, Entertainment, Design)

TED とはアメリカ合衆国のニューヨーク市に本部がある非営利団体で、毎年、カナダのバンクーバーで大規模な世界的講演会「TED Conference」を開催（主催）しています。講演会の内容は、2006 年からインターネット上で無料で動画配信されており、各種講演や有名人のスピーチなどを視聴することができます。字幕をオン・オフできる機能もあるので、いろいろな形で利用可能です。

<https://www.ted.com/>

1B YouTube

おそらく皆さんもよく知っているサイトでしょう。興味や関心に沿った娯楽目的で視聴している場合が多いと思いますが、Discovery Channel など、楽しみながら英語の勉強にもなる動画もたくさんアップされています。

1C BBC Learning English

BBC (British Broadcasting Corporation : 英国放送協会) はイギリスの公共放送局ですが、英語学習者向けに自局が放送したニュース番組を教材とした英語講座を提供しています。英語の母語話者による生の英語を視聴しながら、英語表現などを身につけることができます。また、英語の文法を楽しみながら学ぶことのできる「Grammar Gameshow」などのコンテンツもあります。

<http://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/>

1D VOA Learning English

VOA (Voice of America) はアメリカ合衆国政府が運営する国営放送です。英語学習者向けにニュース番組を教材とした英語講座を提供しており、英語の母語話者による生の英語を視聴することができます。主に非英語母語話者向けのコンテンツですから、平易な英語を使って、明瞭な発音でゆっくりと話しているので、リスニングが苦手な人も比較的少ない負担で視聴することができます。そして、リスニングにある程度自信がついたら、英語母語話者の話すスピードについてゆけるよう、「VOA News」を視聴してみるのもよいでしょう。スクリプトや重要単語リストも用意されています。政治や経済などの堅い内容のものから、芸能や趣味といった内容のものまで幅広いコンテンツが用意されているので、興味のあるところから取り組んでみるとよいでしょう。

<https://learningenglish.voanews.com/>

1E ESLPOD

第二外国語として英語を勉強するためのポッドキャストのなかで、ESLPOD はもっともよく知られたものだと思います。月曜日と金曜日にはESLPODが、水曜日には「English Cafe」が放送されています。ESLPOD は、まず2人の会話を聞いてから、その解説があり、スピードをあげた会話をもう一度聞く、という構成です。解説では、難しい単語などを丁寧に説明してくれます。また、「English Cafe」は、有名人や歴史に沿ってアメリカの文化を紹介する内容ですが、かなり難しい単語も登場するので、どちらかと言えば英語上級者に向けと言えるでしょう。

<https://www.eslpod.com/index.html>

2 テレビ放送、ラジオ放送

2A NHK

NHK では、(英語に限らず) 多数の語学番組を放送しています。英語の学習については、テレビ番組では、比較的レベルの高い『ABC ニュースシャワー』や『ニュースで英会話』をはじめ、ドラマ仕立てで楽しめる『おとなの基礎英語』、『しごとの基礎英語』、コメディータッチの『ボキャブラライダー on

TV』やアニメの『リトル・チャロ』などが放送されています。また、ラジオ番組では、『ワンポイント・ニュースで英会話』や『ボキャブライダー』といったテレビ番組と対応したものや、『ラジオ英会話』、『エンジョイ・シンプル・イングリッシュ』、『入門／実践ビジネス英語』などラジオ放送独自のものが放送されています。各自の大学生生活に直接関わるかどうかはさておき、放送時間が短いものも多いので、語彙力を鍛えたり、会話に役立つフレーズを覚えたり、日常的な会話のリスニング力を高めたりといった目的で気軽に取り組むことができるものが多いと思います。NHKの語学番組で扱われたキーフレーズを使って、テスト形式でリスニングなどの練習ができる『ゴガクル』というサービスも提供されています

<https://gogakuru.com/>

テレビ放送の場合、英語学習に特化した番組でなくとも、ドラマや映画などで英語で放送されているもの、音声英語に切り替えることができるもの、英語の字幕を表示できるものなどもありますので、こういった番組も学習者のレベルや使い方によっては有効な学習リソースとして活用できるでしょう。

2B 民放

放送局の性格からか、NHKほど豊富ではありませんし、『Go! Go! eigo』(BSフジ)、『Cat Chat えいご KIDS!』(BS TBS)など子供向けの番組が多くを占めているようですが、『ピンチで学ぶビジネス英語』(BSジャパン。放送終了)などの英語学習番組が放送されることもあります。しかし、民放の番組については、英語学習に特化した番組を視聴するというよりは、NHKの番組についても触れたように、ドラマや映画などで英語で放送されているもの、音声英語に切り替えることができるもの、英語の字幕を表示できるものなどを使って学習するのが一般的な活用法だと思います。民放では、このようなドラマや映画などが多数放送されています。

付録

アカデミック・ライティングで用いる句読点の使い方

英語では punctuation と呼ばれる句読点（記号）が多く使われます。それぞれに使い方のルールがありますから、守らなくてはなりません¹。

（例文中の * は、誤りを示します。）

1 . (ピリオド) period

1A センテンスを終える

Mike Smith was elected president.

1B 数字などを使い、列挙する

1. The President
2. The Council
3. The Board of Trustees

1C 省略形であることを示す

e.g.

これを e.x. と間違える例を多く見かける。e.g. と書くこと。

i.e.

etc.

¹ 本章の執筆は次の文献を参考にした。

Merriam-Webster's Guide to Punctuation and Style [2nd edition] (Springfield, MA: Merriam-Webster, 2001); Vincent F. Hooper, Cedric Gale, Ronald C. Foote, and Benjamin W. Griffith, *Essentials of English* [6th edition] (New York: Barron's, 2010); and Diana Hacker, *Rules for Writers: A Brief Handbook* [4th edition] (New York: Bedford/St. Martin's, 2000).

1D 引用などで、一部を省略する時

“I pledge allegiance . . . to the republic . . .”

原文では allegiance と to の間に単語があるが、引用の際に必要なと判断したために省略されている。同様に、republic の後にもセンテンスが続いているが、同じ理由から省略されている。

2 , (カンマ) comma

2A 連続した語句を分ける

Determiners, complementizers, and auxiliaries are all classified as functional categories.

* Determiners and complementizers and auxiliaries are all classified as functional categories.

主語を構成する名詞が2つなら、A and B で良いが、3つある場合は A, B, and C の形にする。

She ordered soup, eggs and bacon, and coffee for breakfast.

eggs and bacon は1つの料理であるため、and でつながれている。

2B 節を分ける

センテンスが短い場合は、読者の理解を妨げることがない限り、カンマを付けなくても構いません。カンマを付けるかどうかの基準は、あくまで読者の混乱を避けるためです。次の2例を比べてください。

Congress passed the bill, and the president signed it into law.

カンマを入れなくてはいけないわけではないが、カンマを入れる方がわかりやすい。

She was poor but she was hard-working.

2C 従属節が先に来る場合

Although she was exhausted, she finished her project by the deadline.

* Although she was exhausted she finished her project by the deadline.

従属節の終わりでカンマを入れなければいけない。

主節が先に来る場合には、カンマを付ける必要はありません。

She finished her project by the deadline though she was exhausted.

2D 文修飾語を使う場合

However, she caught the train.

* However she caught the train.

however は意味的に but と同じだが、カンマの使い方は異なる。But she caught the train. は正しいが、However she caught the train. は間違い。

It turned out, however, that neuroscientists have proven that most parts of our brains are . . .

*It turned out however that neuroscientists have proven that most parts of our brains are . . .

*It turned out however, that neuroscientists have proven that most parts of our brains are . . .

*It turned out, however that neuroscientists have proven that most parts of our brains are . . .

文中に however, therefore, nevertheless などの修飾語をはさむ時には、前後にカンマを付ける。

2E 語数の多いフレーズを、センテンスの主語に先行させるとき

During the long winter of 1881, the king suffered a severe illness.

カンマを付けなくても間違いではないが、読者の立場からすると読みにくくなるのでつける方がよい。

2F 非制限的要素を挿入するとき

Some intransitive verbs, like appear, exist, and occur, can be used in the there-construction.

Noam Chomsky, who has worked at MIT since 1955, is considered the pioneer of modern linguistics.

The 1968 epic science fiction film directed by Stanley Kubrick, *2001: A Space Odyssey*, received critical acclaim.

2001: A Space Odyssey は映画タイトル。主語の部分から作品を特定できるので、映画タイトルは補足的に加えられているに過ぎない。

2G 対比を行う場合

He wanted to be a doctor, not a politician.

* He wanted to be a doctor not a politician.

2H その他

メールなどで

Dear John,

Sincerely yours,

日付 / 曜日

Monday, September 17, 2018

地名（特に市と国・州・県などを分ける際に使う）

Los Angeles, California

Paris, France

Sendai, Miyagi

不必要なコンマ

不必要なコンマの使用は、むしろ読者の理解を妨げることにつながってしまう場合があるので注意すること。

悪いコンマの使用例

* He went to the office, and checked his mailbox.

* Another researcher insisted, that the formula was wrong.

* The fact that the experiment had failed many times, was

a good enough reason for the university to stop funding his research.

* Tom, and Steve passed the exam.

* He hated writing assignments, because he was bad at spelling.

修正例

--He went to the office and checked his mailbox.

--Another researcher insisted that the formula was wrong.

--The fact that the experiment had failed many times was a good enough reason for the university to stop funding his research.

--Tom and Steve passed the exam.

--He hated writing assignments because he was bad at spelling.

3 ? (疑問符) question mark

他の句読点と並んだときの処理の仕方については注意が必要です。

“When do they arrive?” she asked.

* “When do they arrive?” she asked.

Has she earned a Ph.D.?

* Has she earned a Ph.D?

A professor will be talking about a paper titled “Economic Stagnation or Equilibrium?”

講演タイトルに？が含まれている。なお、この場合、センテンスの終わりにピリオドはつけない。

4 ! (感嘆符) exclamation point

学術英語を書くときは原則として使いませんが、強い感情を表したいときに使われます。!の前には、スペースを入れません。

Nonsense! I don't believe you!

5 : (コロン) colon

コロンは基本的に、後に続く内容を強調する場合に使います。

5A センテンスの後に、リスト、引用、強調する語などを続ける

I will talk about the following four points in today's lecture:
history, culture, dialect, and politeness.

Remember the words of Albert Einstein: "It's not that I'm so smart, it's just that I stay with problems longer."

5B 2つめのセンテンスが1つめのセンテンスを要約する

Love is like a flower: It is sweet, but often short lived.

5C 論文などで、メインタイトルとサブタイトルを分ける

Southwest Stories: Tales From the Desert

6 ; (セミコロン) semi colon

6A 密接に関連する2つのセンテンスをつなぐ

Learning English is a lot like learning to play baseball; you have to both study and practice if you want to get better.

The worst feeling isn't when you fail; it is when you give up.

上の例の場合、セミコロンの代わりに、ピリオドを使うことも可能。しかし、2つのセンテンスに密接な関連性がある場合には、セミコロンが好んで使われる。

6B 連続する要素を分ける

The van Gough exhibition will travel to Los Angeles, California; Minneapolis, Minnesota; and Boston, Massachusetts.

* The van Gough exhibition will travel to Los Angeles, California, Minneapolis, Minnesota, and Boston, Massachusetts.

「都市名、州」の組み合わせが3つ連続しているが、都市と州を分けるカンマとは違うレベルでセミコロンが使われている。なお、州名を省いて都市名だけを3つ連続させるなら、セミコロンを使う必要はない。

The van Gough exhibition will travel to Los Angeles, Minneapolis, and Boston.

7 — (ダッシュ) dash

7A 詳細な内容を追加情報として書く

When learning an academic subject—biology, for instance—it is important to learn word parts to help you remember the terminology.

academic subject の一例として、biology を挙げている。なお、ダッシュを作る場合、ハイフンを2回打つことで、上記のように一本の線に自動的に変わる

7B リストを挙げたり、語の定義を与える

The fund sought to acquire controlling positions—a minimum of 25% of outstanding voting securities—in other companies.

Thomas Edison created at least four different inventions that you've heard of—the light bulb, the motion-picture recorder, the alkaline battery, and the phonograph.

この例におけるダッシュは、: (コロン) に置き換えることも可能。

8 - (ハイフン) hyphen

8A 複合語を作る場合

sugar-free

a well-written essay

cost-effective

8B 二桁 (21 から 99) の数字を表す

twenty-one

ninty-nine

8C 生存年や一定期間を表記する

John Brown (1800-1859) was one of the earlier American abolitionists.

The years 1929-1935

8D 分数を表記する

One-fifth of my income goes to the apartment rent.

9 ' (アポストロフィ) apostrophe

9A 所有を示す

I would appreciate anyone's suggestions.

Arkansas's capital is Little Rock.

Mr. Simmons's car

最後の2例に注意。Arkansas がアメリカの州で、それに'sをつけて所有格にする。Simmons さんに'sをつけて、Mr. Simmons's car とする。

9B 単語の一部を省略する

they're

int'l [international]

gov't [government]

ただし、アカデミック・ライティングでは、「所有」を示す以外の目的でアポストロフィを使わないのが慣例。

10 () (丸括弧) parenthesis

10A 例、説明、補足情報などを加える

The roles for the project (group leader, narrator, treasurer, and secretary) were decided by group discussion.

スペースの取り方に注意。project の後にスペース。(と group の間はスペースなし。secretary と) の間もスペースなし。) と were の間にスペースを入れる。

10B 省略語を併記する

The dangers of the product were tested by the Food and Drug Administration (FDA).

Inside of the field of linguistics, SLA (Second Language Acquisition) has recently been getting more and more attention because of its practical applications.

なお、括弧の中には、省略語とオリジナルのどちらを入れることも可能。

11 [] (角括弧) bracket

著者による注記を示すために使います。

“The author [John Smith] rarely signed autographs for his fans.”

原文では the author となっている。これでは引用されたセンテンスで誰なのか分からないため、著者の判断で John Smith と追記した。

“He first visited America in 1943 [?] during an academic exchange.”

引用元の原文では、初めてアメリカに行ったのは 1943 年としているが、著者がこの事実に疑問を持っているため (もしかしたら 1944 年かもしれない)、[?] をつけている。

He dryly observes that the Gravelly investors had bought stocks because “they want[ed] to see themselves getting richer.”²

引用部分の原文は、“they want to see themselves getting richer.”である。しかし、the Gravelly investors had bought stocks のあとに続けるためには動詞 want の時制を変える必要がある。[ed] は、著者による追加であることを示す。

But tucked away on page 11 we find this fascinating note: “In

² Merriam-Webster's Guide to Punctuation and Style [second edition] (Springfield, MA: Merriam-Webster, 2001), 4.

addition, we anticipate that *sitting these new plants in marginal neighborhoods will decrease the risk of organized community opposition*" [italics added].³

引用部分のイタリック体部分に関して、原文がそうになっているのではなく、著者がこの部分を強調するために字体を変更したことが、[italics added] によって示されている。

12 " " (引用符) double quotation marks

12A 雑誌記事や短編（フィクション、学術論文）のタイトル

Edgar Allan Poe's "The Murder in the Rue Morgue" is still a very popular book.

12B 直接話法

小説などでよく使われます。

Mr. Smith replied, "I don't think that's a very good idea."

12C 引用の中に引用符を使う

"I've just read Shelley's 'Ode to the West Wind,'" she said.

Ode to the West Wind は 英国詩人 Shelley (1792-1822) の書いた作品なので、通常なら "Ode to the West Wind" とするべきだが (12A)、会話文の中で使われているので、一重引用符を使って 'Ode to the West Wind' とする。

12D 他の句読記号と併用するときはスペースの取り方に注意

He called his friend "old frog"; he didn't mean it as an insult.

"How are you?" I asked.

How can I tell that "Whatever is, is right"?

Beware of "the valley of the shadow of death"!

スペースの取り方に注意すること。引用符と次に来る句読点 (!, ?) の間にはスペースを入れないのがルール。

³ ibid., 5.

12E 強調

The words “historic” and “historical” are frequently confused.

historic, historical の似かよった語を目立たせることで、使い分ける必要を促している。この場合、“ ” の代わりに、イタリック体を使うこともできる。

The words *historic* and *historical* are frequently confused.

A series of words in a row that have the same first consonant sound is called “alliteration.”

専門語を示す場合も “ ” で囲むことが多い。上の例と同様に、イタリック体あるいはボールドで示すことも可能。

A series of words in a row that have the same first consonant sound is called *alliteration*.

A series of words in a row that have the same first consonant sound is called **alliteration**.

13 / (斜線) slash

13A per, to, versus の意味で使う

100 kilometers/hour [per]

cost/benefit analysis [to]

teacher/student issue [versus]

13B or, and の意味で使う

Everyone should decide his/her project title by next week. [or]

The May/June issue of *Journal of English Literature* [and]

Journal of English Literature は隔月発行で、「May/June 号」で 1 冊。

13C 省略形で書く

w/o [without]

c/o [care of]

I/O [input/output]

斜線の前後にはスペースを入れないのが通例。

14 *italic* (斜体)

14A 書籍、映画、新聞、劇作品、小説などのタイトル

William Shakespeare's *Hamlet*

The Japan Times reported that . . .

14B 強調

He has issued over 34 *complaints* to the city, and still received no help.

15 CAPITALS (大文字)

15A 略語

NASA [National Aeronautics and Space Administration]

C [Celsius]

FYI [for your information]

15B 固有名詞

the White House

the white house だと「白壁の家」を表す

Tohoku University

15C 書籍、映画、新聞、劇作品、小説、音楽などのタイトル

すべての内容語は最初の文字を大文字にします (機能語を除く)。

The famous song, "It's the End of the World as We Know It", was featured in several movies in the 1990s.

タイトルの単語を大文字にしない雑誌や書式もある（APA など）

よく使われる省略記号

etc.
i.e.
e.g.
cf.
et al.
ibid.

スペースの取り方

(* は、誤りを示す。)

The Food and Drug Administration (FDA) has issued a report on . . .

* The Food and Drug Administration(FDA)has issued a report on . . .

Cream the shortening and sugar; add the eggs and beat well.

* Cream the shortening and sugar;add the eggs and beat well.

* Cream the shortening and sugar ;add the eggs and beat well.

* Cream the shortening and sugar ; add the eggs and beat well.

Where are you from?

* Where are you from ?

総監修

安藤晃

監修

北原良夫 橘由加

編集統括

竹林修一

編集統括補佐

三上傑

執筆者 (50 音順、数字は執筆担当章)

北原良夫 (8、12)

ライアン・スプリング (3、7、付録)

竹林修一 (1、2、3、4、5、6、7、付録)

橘由加 (9、10)

平塚貴晶 (11)

三上傑 (5、8、付録)

リチャード・メレス (1、2、4、5、6、7)

表紙デザイン

岩渕美歩 (ETOKAKU)

協力

林雅子

(言語・文化教育センター 日本語グループ)

本書に関してご意見をお寄せください。

shuichi.takebayashi.e3@tohoku.ac.jp

竹林修一 (言語・文化教育センター)

Pathways to Academic English

2018 年 4 月 1 日 初版発行

発行所

東北大学高度教養教育・学生支援機構

言語・文化教育センター

980-8576 仙台市青葉区川内 41

電話 022-795-3819

印刷・製本

東北大学生生活協同組合キャンパスサポートセンター

ISSN 2433-8982



東北大学高度教養教育・学生支援機構
言語・文化教育センター